金西図書

行政部費
強震記録№1

土木研究所資料

第217号

土木構造物における強震記録（1966）

昭和41年12月

建設省土木研究所

土木研究所資料第217号

正誤表

ページ	行	誤	正	備考
4	上から 28	6. 治水課	2. 治水課	
12	下から 8	46.	(46)	
15	下から 3.4			表-1 の如く訂正
55.56				注 1
87				表-2 の如く訂正

表-1

観測点	地震発生年月日時分	マグニチュード M	震央	H km	震度	DATA No.	1 (gal)	2 (gal)	3 (gal)	4 (gal)	5 (gal)	6 (gal)
(14)	41.6.2.18:28					※ 14-G.L-1	N-S 21.46	E-W 11.48	U-D 6.76			
本四(垂水)	41.6.29 21:22		東経 135° 30′ 北緯 34° 48′	20	神戸・大阪 II	※ 14-G.L-2	5.14	6.78	3.34			

表-2

データ No. 14-GL-1

設置場所	神戸（垂水）	震源地	—
データ No	14-G.L-1	地震の深さ	—
型式	電磁式地震計	観測点付近の震度	—
地震発生年月日時分	41.6.2 18:28		—

データ No. 14-G.L-2

設置場所	神戸（垂水）	震源地	東経 135° 30′ 北緯 34° 48′
データ No.	14-G.L-2	地震の深さ	H = 20 Km
型式	電磁式地震計	観測点付近の震度	神戸・大阪 II
地震発生年月日時分	41.6.29 21:22		

注）1. 55ページの諸言表と56ページの諸言表を入れ換える
すなわち 55ページの地震記録のデータ No. は 901-G.L-8 であり
56ページ 〃 〃 901-G.L-11 である。

目　　次

まえがき

1　強震計・地震計の設置現況 …… 1

1.1　強震計設置計画および設置現況 …… 1

1.2　電磁式地震計設置現況 …… 5

2　強震記録 …… 6

2.1　強震記録整理表 …… 6

2.2　強震記録 …… 8

あとがき …… 89

付録　強震計・地震計を設置した構造物の概要 …… 91

1. 強震計・地震計の設置現況

1.1 強震計設置計画及び設置現況

建設省土木研究所では昭和３９年に図・１および表・１に示す全国的な（但し北海道を除く）強震観測網計画を立案した。

この計画は建設省の原局の指導のもとに地方建設局・地方自治体・各公団等の工事担当者によって，強力に実現されつつあり昭和３９年１０月８地点であった強震計の設置点は昭和４１年１０月現在では３６地点に達しており，今後更に５９地点が計画されている。

図１　強震計設置計画図

昭和39年10月

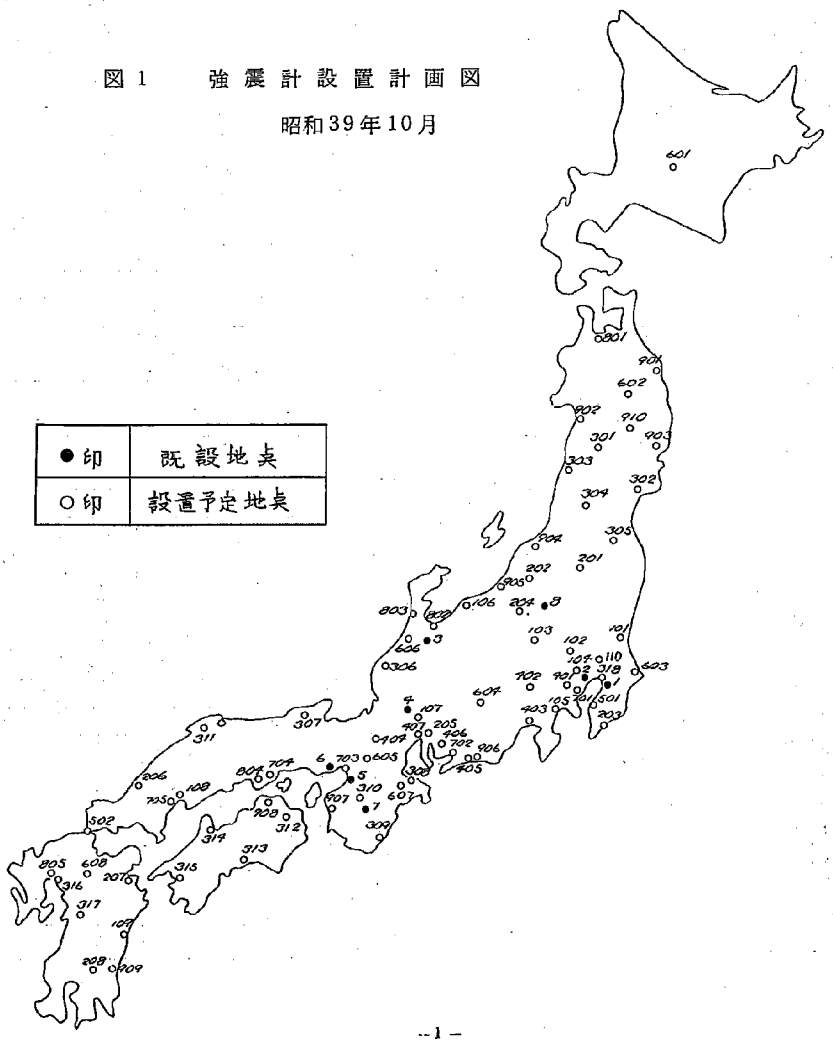


表1　強震計設置一覧表

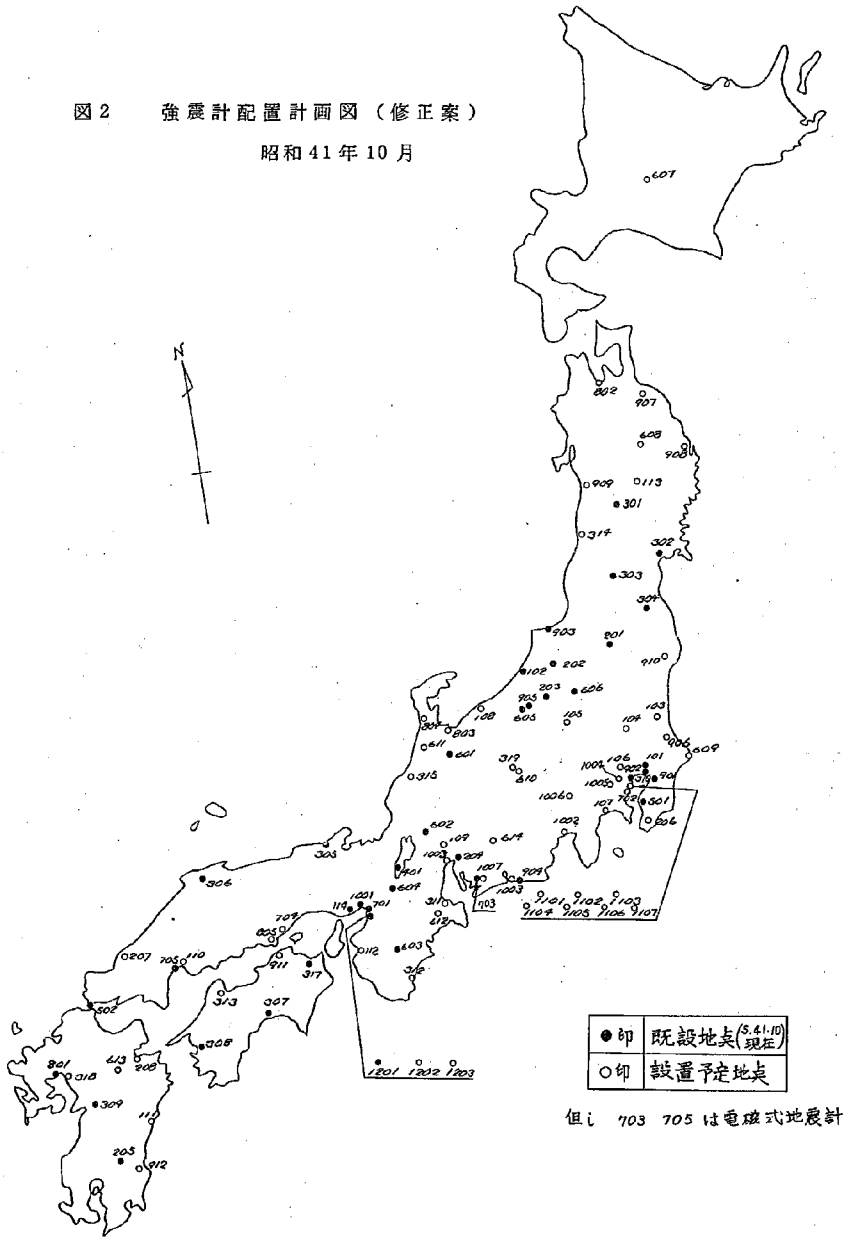
昭和39年10月原案

仮No.	構造物名	県名	台数	設置年
既設地点				
1	土研千葉支所	千葉	1	S37-3
2	西新井橋	東京	3	S37-3
3	室牧ダム	富山	1	36-8
4	横山ダム	岐阜	2	37-7
5	安治川橋	大阪	3	38-3
6	尼崎高架橋	兵庫	2	38-3
7	猿谷ダム	奈良	1	33-3
8	藤原ダム	群馬	1	—
1. 一級国道課				
仮No.	構造物名	県名	台数	予定年
101	郡珂川橋	茨城	2	
102	新利根川橋	埼玉	2	
103	高崎高架橋	群馬	2	
104	草加	埼玉	2	
105	大磯高架橋	神奈川	2	
106	姫川橋	新潟	2	
107	木曽川橋	岐阜	2	
108	肱山橋	広島	2	
109	美々津橋	宮崎	2	
110	新葛飾橋	千葉	2	
2. 二級国道課				
201	小谷橋	福島	2	S.39
202	魚沼橋	新潟	2	40
203	房州大橋	千葉	2	42
204	横倉沢橋	長野	2	39
205	新八幡橋	愛知	2	40
206	高津橋	島根	2	39
207	鶴崎橋	大分	2	42
208	石瀬戸橋	宮崎	2	39
3. 地方道課				
301	雄平橋	秋田	2	39
302	開北橋	宮城	2	39
303	清川橋	山形	2	40
304	押切橋	〃	2	39
305	伊達橋	福島	2	40
306	新保橋	福井	2	39
307	港大橋	兵庫	2	39
308	豊浜大橋	三重	2	40
309	赤城橋	和歌山	2	39
310	岸上橋	〃	2	39
311	妙見橋	島根	2	40
312	瀬詰橋	徳島	2	40
313	五台山橋	高知	2	39
314	石槌橋	愛媛	2	40
315	板島橋	〃	2	40
316	新田橋	福岡	2	S.41
317	乙女橋	熊本	2	39
318	新平井橋	東京	3	40
4. 高速道路課				
401	中央道	東京	2	40
402	〃	山梨	2	41
403	東名富士川	静岡	2	41
404	琵琶湖大橋	滋賀	1	39
405	浜松	静岡	2	42
406	豊橋	愛知	2	42
407	名古屋(木曽川)	〃	2	40
5. 道路企画課				
501	東京湾環状	千葉	1	40
502	第二関門	福岡	2	40
6. 開発課				
601	金山ダム	北海道	1	
602	四十四田ダム	岩手	1	
603	利根川河口堰	千葉	2	
604	小渋ダム	長野	2	
605	矢ケ瀬ダム	京都	1	S.39
606	犀川ダム	石川	1	
607	君ケ野ダム	三重	1	
608	下筌ダム	熊本	2	
7. 治水課				
701	東京高潮堰	東京	1	
702	豊川	愛知	1	
703	大阪高潮	大阪	2	S.40
704	岡山	岡山	1	
705	太田川	広島	1	
8. 海岸課				
801	青森	青森	1	42
802	富山	富山	1	42
803	金沢松任	石川	1	42
804	岡山	岡山	1	40
805	有明海	佐賀	1 2	40 41
9. 土木研究所				
901	久慈町	岩手		
902	秋田市	秋田	2	
903	大船渡市	岩手	2	
904	昭和大橋	新潟	2	39
905	直江津市	〃	2	
906	新天竜川橋	静岡	2	39
907	和歌山市	和歌山	2	
908	高松市	香川	2	
909	宮崎市	宮崎	2	
910	花巻市	岩手	2	

昭和４１年１０月現在の設置状況は図・２及び表・２に示す通りである。これらの図表に於ては，その後の追加設置計画も示されている。又設置点番号に修正が施されている。

図２　強震計配置計画図（修正案）

昭和41年10月



但し　703　705 は電磁式地震計である。

表 2　強震計設置位置一覧表

昭和41年10月修正案

No.	構造物名	県名	台数	設置年	予定年
	1. 国道一課				
101	新葛飾橋	千葉	2	41-3	
102	米山大橋	新潟	1 2	40 41	
103	耶珂川橋	茨城	2		
104	新利根川橋	埼玉	2		42-3
105	高崎高架橋	群馬	2		
106	草加〃	埼玉	2		42
107	大磯高架橋	神奈川	2		
108	姫川橋	新潟	2		
109	木曽川橋	岐阜	2		
110	旅山橋	広島	2		
111	美々津橋	宮崎	2		
112	紀ノ川大橋	和歌山	2		42-3
113	和賀川第一橋	岩手	2		42
114	尼崎高架橋	兵庫	2	38-3	
	2. 国道二課				
201	小谷橋	福島	2	39	
202	魚沼橋	新潟	2	40	
203	横倉沢橋	長野	2	39	
204	新八幡橋	愛知	2	40	
205	石瀬戸橋	宮崎	2	39	
206	房州大橋	千葉	2		42
207	高津橋	島根	2		42.1
208	鶴崎橋	大分	2		42
209					
	3. 地方道課				
301	雄平橋	秋田	2	39	
302	開北橋	宮城	2	39	
303	押切大橋	山形	2	39	
304	伊達橋	福島	2	40	
305	港大橋	兵庫	2	39	
306	妙見橋	島根	2	40	
307	五台山橋	高知	2	39	
308	板島橋	愛媛	2	40	
309	乙女橋	熊本	2	39	
310	新平井橋	東京	3	40	
311	豊浜大橋	三重	2		42.2
312	赤本橋	和歌山	2		41.11
313	石雄橋	愛媛	2		42.2
314	清川橋	山形	2		42
315	新保橋	福井	2		—
316					
317	瀬詰橋	徳島	2		41.11
318	新田橋	福岡	2		—
319	四徳大橋	長野	2		41
320					
321					

No.	構造物名	県名	台数	設置年	予定年
	4. 高速道路課				
401	琵琶湖大橋	滋賀	1	39	
402					
403					
	5. 道路企画課				
501	東京湾環状	千葉	1	40	
502	第二関門	福岡	2	40	
503					
504					
	6. 開発課				
601	室牧ダム	富山	1	36-8	
602	横山ダム	岐阜	2	37-7	
603	猿谷ダム	奈良	1	33-3	
604	天ケ瀬ダム	京都	1	39-8	
605	据花ダム	長野	1	41-5	
606	藤原ダム	群馬	1	不明	
607	金山ダム	北海道	1		
608	四十四田ダム	岩手	1		
609	利根川河口堰	千葉	2		
610	小渋ダム	長野	2		
611	犀川ダム	石川	1		
612	君ケ野ダム	三重	1		
613	下筌ダム	熊本	2		
614	矢作ダム	愛知	2		
615					
616					
	6. 治水課				
701	淀川堤防	大阪	2	41-8	
702	東京高潮堰	東京	1		
703	豊川	愛知	1式	* 41-3	
704	岡山	岡山	1		
705	太田川	広島	1式	* 40	
706					
707					
	8. 海岸課				
801	有明海	佐賀	1	40.6	
802	青森	青森	1		42
803	富山	富山	1		42
804	金沢松任	石川	1		42
805	岡山	岡山	1		40
806					
807					
	9. 土木研究所				
901	土研千葉支所	千葉	1	37-3	
902	西新井橋	東京	3	37	
903	昭和大橋	新潟	2	39	
904	新天竜川橋	静岡	2	39	

No.	構造物名	県名	台数	設置年	予定年
905	落合橋	長野	3	40.12	
906	鹿島	茨城	1		42.3
907	八戸市	青森	2		42〜45
908	宮古市	岩手	2		
909	秋田	秋田	2		
910	平市	福島	2		
911	高松市	香川	2		
912	宮崎市	宮崎	2		
913					
914					
915					
	10. 日本道路公団				
1001	安治川橋	大阪	3	38-3	
1002	東名富士川	静岡	2		41
1003	〃浜松	〃	2		42
1004	中央道	神奈川	2		42.3
1005	中央道	東京	2		42.3
1006	中央道	山梨	2		42.3
1007	豊橋	愛知	2		42
1008	木曽川橋	〃	2		42
1009					
1010					
	11. 首都高速道路公団				
1101	千代田区岩本町	1号線	2		
1102	港区芝海岸通	〃	2		
1103	太田区森ケ崎町	〃	2		
1104	港区青山高樹町	3号線	2		
1105	豊島区池袋	5号線	2		
1106	墨田区堤通り	6号線	2		
1107	江東区大島町	7号線	2		
	12. 阪神高速道路公団				
1201	東区横堀町	1号線	2	40	
1202	旭区生江町	3号線	2		
1203	西成区玉出町	4号線	2		
1204					
1205					
	13. 北海道開発庁				
1301					
1302					
1303					
1304					
1305					
1306					
1307					
1308					

注　1. *印は電磁式地震計の設置箇所（703，705）

2. 設置年の欄に記載されているものはすでに設置済みであることを示す。

1.2　電磁式地震計の設置現況

電磁式地震計の設置現況を図・3および表・3に示す。

表 3　電磁式地震計設置一覧表

番	構造物	県名	設置年	番	構造物	県名	設置年
1	湯田ダム	岩手	不明	16	琵琶湖大橋	滋賀	38
2	皆瀬ダム	秋田	〃	17	若戸大橋	福岡	36
3	鳴子ダム	宮城	〃	18	有明海締切堤防（大矢野）	熊本	38
4	川俣ダム	栃木	〃	19	豊川放水路土堤防	愛知	41.3
5	室牧ダム	富山	〃	20	利根川堤防（栗橋）	埼玉	40
6	笹生川ダム	石川	〃	21	太田川堤防（広島）	広島	40
7	横山ダム	岐阜	〃	22	千曲川堤防（松代）	長野	41
8	天ケ瀬ダム	京都	〃				
9	猿谷ダム	奈良	〃				
10	綾北ダム	宮崎	〃				
11	新葛飾橋	千葉	42.3予定				
12	駿河大橋	静岡	34				
13	吉田大橋	愛知	34				
14	本四（垂水）	兵庫	37				
15	本四（砂弥）	香川	37				

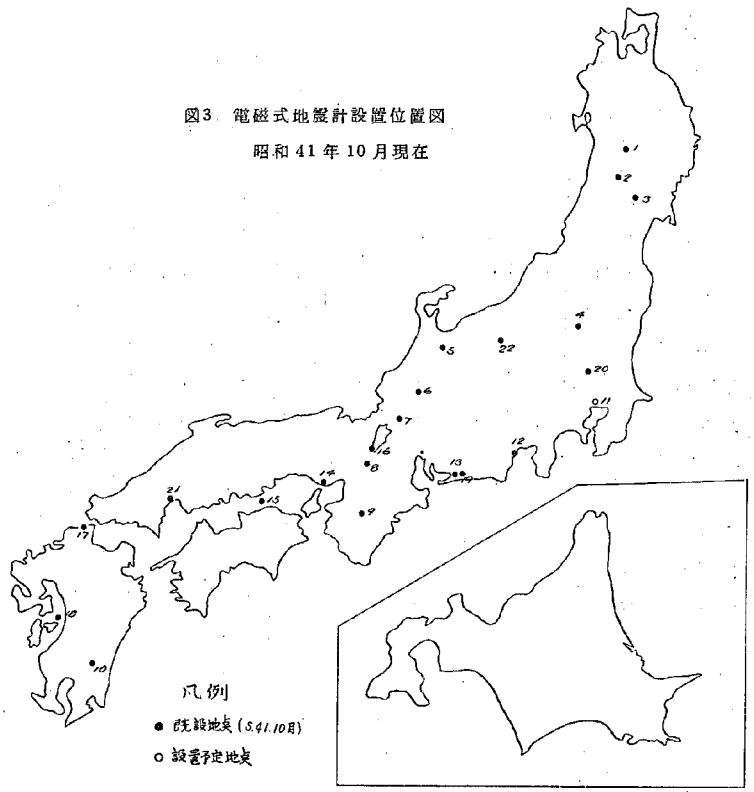


図3　電磁式地震計設置位置図

昭和41年10月現在

2. 強　震　記　録

2.1　強震記録整理表

すでに示した各種の土木構造物において，観測された地震記録の数および本資料に掲載した記録の数を表・4に示す。

表・4　強　震　記　録　数

観測点 No.		設置年	強震計・地震計の台数 地盤 強震計	地盤 地震計	構造物 強震計	構造物 地震計	全記録数 G.L	全記録数 構造物	全記録数 計	掲載記録数 G.L	掲載記録数 構造物	掲載記録数 計	備考
101	新葛飾橋	41	1	—	1	—	2	2	4	1	1	2	
102	米山大橋	40.41	1	—	2	—	9	{0 0	9	2	{0 0	2	
201	小谷橋	39	1	—	1	—	0	1	1	0	1	1	
202	魚沼橋	40	1	—	1	—	13	6	19	4	4	8	
203	横倉沢橋	39	1	—	1	—	5	11	16	1	1	2	
205	石瀬戸橋	39	1	—	1	—	0	7	7	0	1	1	
302	開北橋	39	1	—	1	—	2	2	4	2	2	4	
303	押切大橋	39	1	—	1	—	1	8	9	1	1	2	
304	伊達橋	40	1	—	1	—	5	5	10	2	2	4	
305	港大橋	39	1	—	1	—	3	2	5	2	2	4	
309	乙女橋	39	1	—	1	—	0	5	5	0	1	1	
501	東京湾環状	40	1	—	1	—	10	—	10	3	—	3	
605	椛花ダム	41	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	別冊
801	有明海	40	1	—	1	—	1	—	1	1	—	1	
901	土木研究所	37	1	—	1	—	18	—	18	7	—	7	
902	西新井橋	37	1	—	2	—	14	{25 11	50	5	{4 6	15	
903	昭和大橋	39	1	—	1	—	4	5	9	2	2	4	
904	新天竜川橋	39	1	—	1	—	1	0	1	1	0	1	
905	落合橋	40	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	別冊
1001	安治川橋	38	1	—	2	—	1	{1 1	3	1	{1 1	3	
114	尼ケ崎高架橋	38	1	—	1	—	5	1	6	1	1	2	
12	駿河大橋	34	—	2成分	—	4成分			1			1	
13	吉田大橋	34	—	2 〃	—	4 〃			1			1	
14	本四(垂水)	37	—	3 〃	—	—			2			2	
18	大矢野島	38	—	3 〃	—	—			10			2	
合計									201			73	

又個々の構造物での記録について，その地震の概要および最大加速度等を整理したものを表－5に示す。この表は次のような内容をもっている。

1) 「観測点」は強震計・地震計を設置した場所を示したもので，構造物名あるいは，地名で示される。なお数字は観測点を表わす番号であり，これについては図2,3ならびに表2,3に示してある。

2) 「地震発生時刻」，「マグニチュード」，「震央」，「震央深さ」，「震度」は当該地震の概要を示したものであり，原則として気象庁の「地震月報」に従った。

しかし地震以外の振動源（例えば車両）によって作動している場合もあって気象庁の資料と対応がつきかねるものもかなりあり，これらはブランクとなっている。

3) 「地盤での記録（G. L)」，「構造物での記録（Pier）」はその観測点において強震計ないしは地震計を設置した部位を示したものであり，（　　）内は設置部位の略号を示す。尚設置部位の詳細については附録（91ページ以下）を参照されたい。

4) 「Data No」は得られた記録の番号を示したもので，観測点名及び設置部位及びその部位での一連番号からなる。

尚このData Noに※印がついたものについてのみ，2.2（8ページ以下）に波形記録が示されている。全記録では記録量が莫大となるため今後種々の解析を進める上において重要と考えられる比較的加速度の大きい記録についてのみ波形記録を示している。

5) 「最大加速度（gal)」は，記録から読みとった各方向の（通常水平2，鉛直1の3方向）の最大加速度をgalで示したものである。微小とあるのは最大が5 gal程度以下の事である。方向は振子の方向であり，通常構造物の主系に合わせている場合が多い。例えば，橋梁の場合だと橋軸（路線）方向，橋軸直角方向および鉛直方向となっており，又ダム堤防等の場合は堤軸方向，堤軸直角方向，および鉛直方向となっている。しかし構造物の方向性が確定していないような場合は，東西，南北及び鉛直方向に設置されていることが多い。

6) 「備考」こゝには，その他の注意事項，例えば震央の地域名あるいは車両による振動であると思われる等の事柄をかいている。

2.2 強 震 記 録

表4および5に示したようにデータ数は，非常に多く（201データ），この中から，比較的，加速度の大きい73 データについて以下に波形記録を示す。これらは表5においてData 番に番印のついたものである。

表 5　強震記録整理表

（その 1 ）

観測点	地震発生時刻 年月日時分	マグニチュード (M)	震央	震源深さ (Km)	震度	地盤での記録 (G.L) Data 瓜	最大加速度(gal) 橋軸方向	上下方向	橋軸直角方向	構造物での記録 (Pier) Data 瓜	最大加速度(gal) 橋軸方向	上下方向	橋軸直角方向	構造物での記録 ( ) Data 瓜	最大加速度(gal) 方向	方向	方向	備考
(101) 新高飾橋	不明									101-P_5-1								原は掲載記録
	41.4.3 13:43	5.8	東経 141°31′ 北緯 36°16′	20	銚子Ⅱ，東京Ⅱ	※ 101-G.L-1	5	微小	5	※ 101-P_5-2	10	微小	8					茨城県沖
	不明					101-G.L-2												
(102) 米山大橋	41.4.5 17:51	5.4	東経 138°19′ 北緯 36°35′	0	長野Ⅴ，小千谷Ⅱ，長岡Ⅰ	※ 102-G.L-1	微小	微小	微小									松代
	41.5.6 19:08	5.0	東経 137°15′ 北緯 36°31′	0	長野Ⅳ，直江津Ⅱ	102-G.L-2	〃	〃	〃									〃
	41.5.19 21:51	4.2	東経 北緯 不明	0	長野Ⅳ	102-G.L-3	〃	〃	〃									〃
	41.6.12 9:43	4.5	東経 北緯 不明	0	長野Ⅳ	102-G.L-4	〃	〃	〃									〃
	41.8.3 3:48	5.0	東経 138°00′ 北緯 36°36′	0	長野Ⅳ，新潟Ⅰ	102-G.L-5	〃	〃	〃									〃
	41.8.28 13:09	不明	東経 138°12′ 北緯 35°30′	0	長野Ⅳ，新潟Ⅱ	102-G.L-6	〃	〃	〃									〃
	41.9.8 1:20	〃	東経 138°48′ 北緯 37°12′	10	高田Ⅱ，新潟Ⅰ	102-G.L-7	6	〃	5									
	41.9.14 10:14	〃	東経 138°12′ 北緯 36°36′	0	長野Ⅳ，新潟Ⅰ	102-G.L-8	微小	〃	微小									松代
	41.9.22 13:15	〃	東経 138°36′ 北緯 37°36′	0	新潟Ⅰ	※ 102-G.L-9	4	〃	10									
(201) 小谷橋	調査中									※ 201-P-1	微小	微小	微小					
(202) 魚沼橋	41.1.9 7:39	5.2	東経 138°31′ 北緯 37°10′	0	小千谷Ⅰ 高田Ⅱ，長野Ⅱ	※ 202-G.L-1	36	微小	38	※ 202-P_3-1	(96)	微小	(45)					新潟県南部
	41.1.20 10:44	5.3	東経 138°07′ 北緯 37°53′	0	秋田Ⅳ，新潟Ⅱ 米山Ⅱ	202-G.L-2	微小	〃	微小		(19)	(6)	(23)					
	41.1.23 20:15	5.1	東経 138°13′ 北緯 36°31′	0	松代Ⅴ 十日Ⅱ，小千谷Ⅱ	202-G.L-3	〃	〃	〃									松代
	41.4.5 17:51	5.4	東経 138°19′ 北緯 36°35′	0	長野Ⅳ，小千谷Ⅱ 長岡Ⅰ	202-G.L-4	〃	〃	〃	202-P_3-2	微小	微小	微小					〃
	41.5.6 19:08	5.0	東経 137°15′ 北緯 36°31′	0	長野Ⅳ，小千谷Ⅱ	202-G.L-5	5	〃	〃	※ 202-P_3-3	(49)	〃	15					〃
	41.8.3 3:48	5.0	東経 138°00′ 北緯 36°36′	0	長野Ⅳ，新潟Ⅰ	202-G.L-6	微小	〃	〃	202-P_3-4	微小	〃	微小					〃
	41.8.28 13:09	不明	東経 138°12′ 北緯 36°30′	0	長野Ⅳ，新潟Ⅱ	202-G.L-7	〃	〃	〃	※ 202-P_3-5	(20)	〃	8					〃
	不明	—	—	—	—	202-G.L-8	〃	〃	〃									
	〃	—	—	—	—	※ 202-G.L-9	13	〃	9									

（その２）

観測点	地震発生時刻 年月日時分	マグニチュード(M)	震央	震源深さ(Km)	震度	地盤での記録（G. L） Data 番	最大加速度(gal) 橋軸方向	上下方向	直角方向	構造物での記録(Pier) Data 番	最大加速度(gal) 橋軸方向	上下方向	直角方向	構造物での記録（　） Data 番	最大加速度(gal) 方向	方向	方向	備考
(202)	不明	—	—	—	—	202-G.L-10	微小	微小	微小									
魚沼橋	41.9. 8 1:20		東経 138°48′ 北緯 37°12′	10	高田Ⅱ，新潟Ⅰ	※ 202-G.L-11	50	14	44	※ 202-P_3-6	63	13	63					新潟県南部
	41.9.14 10:14				長野Ⅳ，新潟Ⅰ	202-G.L-12	—	微小	微小									
	41.9.22 13:15		東経 138°36′ 北緯 37°36′	40	高田Ⅱ，新潟Ⅰ	※ 202-G.L-13	—	〃	6									信濃川下流域
(203)	不明					203-G.L-1	微小	微小	微小	203-P-1	微小	微小	微小					○地盤Data番 203-G.L-1～203-G.L-4はブルドーザー(除雪)による振動
	〃					203-G.L-2	〃	〃	〃	203-P-2	〃	〃	〃					
横倉沢橋	〃					203-G.L-3	〃	〃	〃	203-P-3	〃	〃	〃					
	〃					204-G.L-4	〃	〃	〃	203-P-4	〃	〃	〃					
	〃									203-P-5	〃	〃	〃					○Pier Data番 203-P-1～203-P-10はブルドーザーによる振動
	〃									203-P-6	〃	〃	〃					
	〃									203-P-7	〃	〃	〃					
	〃									203-P-8	〃	〃	〃					
	〃									203-P-9	〃	〃	〃					
	〃									203-P-10	〃	〃	〃					
	41.4.5 17:51	5.4	東経 138°19′ 北緯 36°35′	0	長野Ⅴ，長岡Ⅰ	※ 203-G.L-5	5	微小	5	※ 203-P-11	10	〃	6					松代
(205)	不明									205-P-1	9	微小	微小					全記録自動車による振動
	〃									205-P-2	9	〃	〃					
石瀬戸橋	〃									※ 205-P-3	13	〃	〃					
	〃									205-P-4	微小	〃	〃					
	〃									205-P-5	15	〃	〃					
	〃									205-P-6	11	〃	〃					
	〃									205-P-7	微小	〃	〃					
(302)	41.6.24 6:52		東経 141°48′ 北緯 38°00′	60	仙台，石巻Ⅱ	※ 302-G.L-1	16	微小	13	※ 302-P-1	60	微小	34					
開北橋	41.7.18 13:39		東経 141°54′ 北緯 38°12′	60	仙台，石巻Ⅱ	※ 302-G.L-2	微小	〃	微小	※ 302-P-2	(24)	〃	(15)					

（その３）

観測点	地震発生時刻 年月日時分	マグニチュード (M)	震央	震源深さ (Km)	震度	地盤での記録 (G.L) Data 瓜	最大加速度(gal) 橋軸方向	上下方向	直角方向	構造物での記録 (Pier) Data 瓜	最大加速度(gal) 橋軸方向	上下方向	直角方向	構造物での記録（　） Data 瓜	最大加速度(gal) 方向	方向	方向	備考
(303)										303－P－1	微小	微小	微小					地震対応つかず
押切大橋	不明									※ 303－P－2	6	〃	6					301-P-1，3～8は自動車の振動
	〃									303－P－3	微小	〃	微小					
	〃									303－P－4	—	〃	〃					
	〃									303－P－5	—	〃	〃					
	〃									303－P－6	—	〃	〃					
	〃									303－P－7	—	—	〃					
	〃									303－P－8	微小	微小	〃					
	〃					※ 303-G.L-1	5	微小	4									
(304)	調査中					304-G.L－1	微小	微小	微小	304－P－1	11	微小	15					40.10～41.11の地震
伊達橋	〃					304-G.L－2	〃	〃	〃	304－P－2	12	〃	10					
	〃					※ 304-G.L－3	15	〃	(13)	※ 304－P－3	微小	〃	微小					
	〃					※ 304-G.L－4	(16)	〃	(8)	※ 304－P－4	24	〃	25					
	〃					304-G.L－5	8	〃	8	305－P－5	8	〃	8					
(305)	不明					305-G.L－1	微小	微小	微小									
港大橋	41.4.25 14:09	3.7	東経 136° 40′ 北緯 35° 16′	0	京都Ⅱ，舞鶴Ⅱ	※ 305-G.L－2	4	4	5	※ 305－P－1	6	微小	微小					
	41.6.29 21:22	不明	東経 135° 30′ 北緯 34° 48′	20	鳥取Ⅱ，大阪Ⅱ	※ 305-G.L－3	微小	微小	微小	※ 305－P－2	16	〃	〃					
(309)	不明									309－P_3－1	4	微小	微小					全部自動車による振動
乙女橋	〃									309－P_3－2	4	〃	〃					
	〃									※ 309－P_3－3	5	〃	—					
	〃									309－P_3－4	4	〃	—					
	〃									309－P_3－5	5	〃	—					

（その４）

観測点	地震発生時刻 年月日時分	マグニチュード (M)	震央	震源深さ (Km)	震度	地盤での記録（G.L） Data 瓜	最大加速度(gal) N-S方向	U-D方向	E-W方向	構造物での記録（　） Data 瓜	最大加速度(gal) 方向	方向	方向	構造物での記録（　） Data 瓜	最大加速度(gal) 方向	方向	方向	備考
(501) 東京湾環状	41.8.14 15:38	5.0	東経 141° 05′ 北緯 36° 36′	40	東京Ⅰ	501-G.L-1	微小	微小	微小									
	41.4. 3 13:43	5.8	東経 141° 31′ 北緯 36° 16′	20	東京Ⅲ，銚子Ⅲ	501-G.L-2	〃	〃	〃									
	41.5.17 9:59	5.1	東経 140° 37′ 北緯 35° 41′	40	東京Ⅱ，銚子Ⅳ	501-G.L-3	〃	〃	〃									
	41.6. 3 23:37	不明	東経 140° 12′ 北緯 35° 00′	70	東京Ⅰ，銚子Ⅰ	501-G.L-4	〃	〃	〃									
	41.7.14 15:18	〃	東経 140° 18′ 北緯 35° 18′	60	東京Ⅲ，銚子Ⅱ	※ 501-G.L-5	5	〃	〃									千葉県中部
	不明	〃	東経 — 北緯 —	—	—	501-G.L-6	微小	〃	〃									
	41. 8.19 21:46	〃	東経 不明 北緯 不明	40	東京0，銚子Ⅱ	※ 501-G.L-7	(25)	微小	(25)									茨城県沖
	41. 8.29 5:03	〃	東経 139° 54′ 北緯 35° 30′	65	横浜Ⅱ，千葉Ⅱ	501-G.L-8	微小	〃	微小									
	41.10.08 21:00	〃	東経 140° 36′ 北緯 35° 18′	40	東京Ⅲ，銚子Ⅱ	501-G.L-9	〃	〃	〃									
	41.10.28 22:20	〃	東経 140° 00′ 北緯 35° 45′	75	東京Ⅱ，銚子Ⅱ	※ 501-G.L-10	8	〃	〃									
(901) 土木研究所構内	不明	—	—	—	—	901-G.L-1	微小	微小	微小									
	〃	—	—	—	—	901-G.L-2	〃	〃	〃									
	〃	—	—	—	—	901-G.L-3	〃	8	10									
	38.8.4 20:44	5.1		40	東京，銚子Ⅱ	※ 901-G.L-4	76.75	34.63	74.62									九十九里沖
	38.9.14 19:06	4.9	東経 139° 11′ 北緯 35° 53′	20	東京，秩父Ⅱ	※ 901-G.L-5	24	23	28									
	不明	—	—	—	—	901-G.L-6	微小	微小	微小									
	39.6.16 13:01	7.5	東経 139° 11′ 北緯 38° 21′	40	新潟Ⅴ，東京Ⅲ	※ 901-G.L-7	〃	〃	〃									新潟地震
	39.6.22 11:20	5.1	東経 140° 01′ 北緯 36° 15′	60	水戸Ⅲ，東京Ⅱ 銚子Ⅱ	※ 901-G.L-8	46	6	14									
	不明	—	—	—	—	901-G.L-9	9	微小	9									
	〃	—	—	—	—	901-G.L-10	微小	〃	微小									
	40.1.27 8:47	不明	東経 139° 46′ 北緯 36° 01′	60	熊谷Ⅱ，東京Ⅱ 銚子Ⅱ	※ 901-G.L-11	18	6	13									
	40.4. 6 14:33	—	—	—	—	901-G.L-12	微小	微小	微小									
	40.4.13 00:50	5.1	東経 139° 55′ 北緯 36° 59′	40	東京Ⅱ，銚子Ⅱ	※ 901-G.L-13	16	(25)	16									
	40.4.20 8:41	6.1	東経 138° 18′ 北緯 34° 53′	20	水戸Ⅱ，東京Ⅲ 静岡Ⅳ，浜松Ⅳ	901-G.L-14	微小	微小	微小									
	40.9.18 0:18	5.7	東経 141° 30′ 北緯 36° 14′	40	銚子Ⅱ，東京Ⅱ	901-G.L-15	13	〃	11									

（その５）

観測点	地震発生時刻 年月日時分	マグニチュード (M)	震央	震源深さ (Km)	震度	地盤での記録（G.L） Data 番	最大加速度(gal) N-S方向	U-D方向	E-W方向	構造物での記録（Pier） Data 番	最大加速度(gal) 方向	方向	方向	構造物での記録（Pier） Data 番	最大加速度(gal) 方向	方向	方向	備考
(901) 土木研究所構内	不明	—	—	—		901-G.L-16	微小	微小	微小									
	41.10. 8 21:02	不明	東経 140° 36′ 北緯 35° 18′	40	東京Ⅱ，銚子Ⅱ	※ 901-G.L-17	48	19	89									
	41.10.28 22:20	〃	東経 140° 00′ 北緯 35° 45′	140	東京Ⅱ，銚子Ⅱ	901-G.L-18	(25)	微小	(13)									
(902) 西新井橋						G.L	橋軸方向	上下方向	直角方向	P_7	橋軸方向	上下方向	直角方向	P_9	橋軸方向	上下方向	直角方向	地盤：足立第三中学校校庭
	37. 9.24 18:23	4.9	東経 139° 50′ 北緯 35° 27′	40	横浜Ⅱ，網代Ⅱ 東京Ⅱ，銚子Ⅰ					※ 902-P_7-1	微小	微小	11					
	37.11. 8 0:00	5.7	東経 141° 25′ 北緯 36° 45′	40	水戸Ⅱ，銚子Ⅱ 宇都宮Ⅱ					902-P_7-2	—	〃	6					
	37.11. 9 18:21	5.4	東経 140° 28′ 北緯 35° 55′	40	銚子，水戸，東京Ⅱ					902-P_7-3	—	〃	5					
	不明					902-G.L-1	—	—	—	902-P_7-4	微小	〃	微小	902-P_9-1	—	—	—	
	〃									902-P_7-5	〃	〃	〃	902-P_9-2	—	—	—	自動車による振動
	〃									902-P_7-6	〃	〃	〃	902-P_9-3	—	—	—	
	〃									902-P_7-7	〃	〃	〃					
	〃									902-P_7-8	〃	〃	〃					
	39. 3.25 11:43	5.3	東経 141° 04′ 北緯 36° 19′	40	水戸，東京，銚子Ⅱ					※ 902-P_7-9	10	〃	10	※ 902-P_9-4	6	微小	5	
	39. 4. 5 10:45	4.9	東経 140° 09′ 北緯 36° 07′	60	宇都宮Ⅱ水戸Ⅱ 東京Ⅱ，銚子Ⅰ					※ 902-P_7-10	11	〃	6	※ 902-P_9-5	10	〃	13	
	39. 6. 7 4:14					902-G.L- 2	—	—	—									
	39. 6.16 13:01					902-G.L- 3	—	—	—									
	39.10. 1 4:14	4.9	東経 139° 51′ 北緯 36° 06′	60	宇都宮Ⅱ東京Ⅱ 水戸Ⅱ，銚子Ⅱ	902-G.L- 4	微小	—	—					※ 902-P_9-6	13	微小	11	
	39.10.22 18:54	5.5	東経 141° 14′ 北緯 36° 38′	60	宇都宮Ⅱ東京Ⅱ 水戸Ⅱ，銚子Ⅱ	902-G.L- 5	〃	微小	微小									
	39.11.14 14:56	5.1	東経 140° 38′ 北緯 36° 28′	40	水戸Ⅱ，東京Ⅱ 宇都宮Ⅱ銚子Ⅱ	902-G.L- 6	〃	—	〃									
	39.11.15 9:55	5.1	東経 139° 49′ 北緯 36° 07′	60	水戸Ⅱ，東京Ⅱ 宇都宮Ⅱ銚子Ⅱ	※ 902-G.L- 7	19	—	16									
	不明	—	—	—	—	902-G.L- 8	微小	—	微小									
	〃	—	—	—	—	902-G.L- 9	〃	—	〃									
	〃	—	—	—	—	902-G.L- 10	〃	—	〃									
	40. 1.24 6:51	5.2	東経 141° 北緯 36°	60	水戸Ⅱ，東京0 宇都宮，銚子Ⅱ	※ 902-G.L- 11	16	—	31									

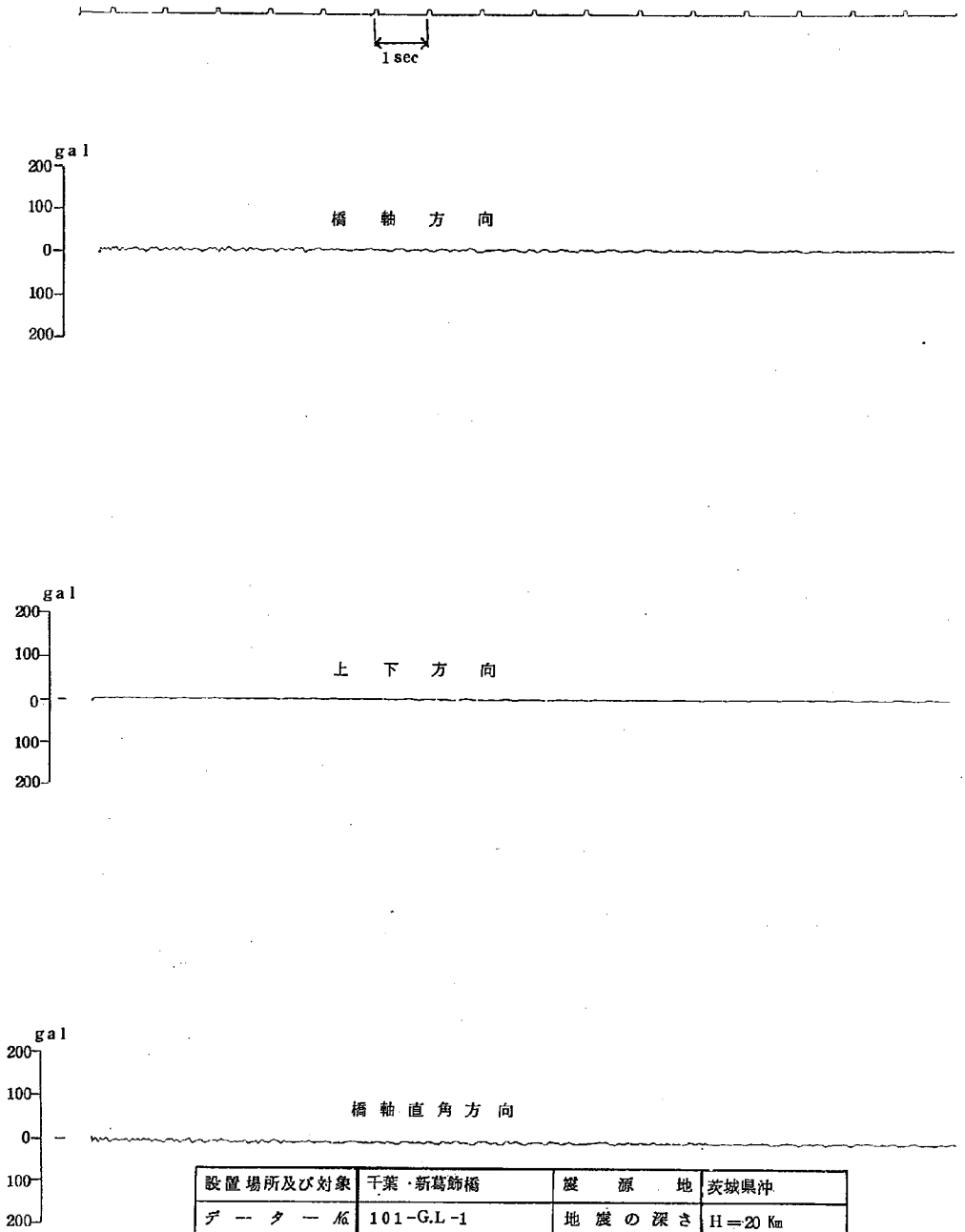
（その６）

観測点	地震発生時刻 年月日時分	マグニチュード (M)	震央	震源深さ (Km)	震度	地盤での記録（G.L） Data 瓜	最大加速度(gal) 橋軸方向	上下方向	直角方向	構造物での記録 (Pier) Data 瓜	最大加速度(gal) 橋軸方向	上下方向	直角方向	構造物での記録 (Pier9) Data 瓜	最大加速度(gal) 橋軸方向	上下方向	直角方向	備考
(902)	40.1.27	—	東経 — 北緯	—		※ 902-G.L-12	16	6	9									
	40.4. 5 14:31	5.5	東経 139° 55′ 北緯 36° 03′	60	水戸Ⅲ，東京Ⅳ 宇都宮Ⅳ銚子Ⅱ					902-P_7-11	微小	微小	微小					
	不明	—	—	—	—					902-P_7-12	〃	〃	〃					
西	〃	—	—	—	—	※ 902-G.L-13	15	5	15	902-P_7-13	〃	〃	〃	※ 902-P_9-8	13	微小	13	902-P_7-14 のDataはない。
	40.4.13 0:51	5.1	東経 139° 55′ 北緯 35° 59′	40	水戸Ⅲ，東京Ⅲ 宇都宮Ⅲ銚子Ⅱ					902-P_7-15	〃	〃	〃	902-P_9-9	微小	〃	微小	
新	40.4.20 8:41	6.1	東経 138° 18′ 北緯 34° 53′	20	静岡Ⅳ，浜松Ⅳ 東京Ⅲ，銚子Ⅰ					902-P_7-16	〃	〃	〃	※ 902-P_9-10	6	〃	5	大井川河口
	40.5.31 17:38	不明	東経 139° 52′ 北緯 35° 48′	120	宇都宮Ⅲ東京Ⅲ 水戸Ⅱ，銚子Ⅱ	※ 902-G.L-14	24	微小	15	※ 902-P_7-17	〃	〃	〃	※ 902-P_9-11	28	(28)	16	
井	40.9.18 0:18	5.7	東経 141° 30′ 北緯 36° 14′	40	銚子Ⅲ，東京Ⅱ					902-P_7-18	〃	〃	〃					
	不明	—	—	—	—					902-P_7-19	〃	〃	〃					
橋	41.1.13 22:42	4.3	東経 139° 57′ 北緯 36° 06′	60	東京Ⅰ，銚子Ⅰ					902-P_7-20	〃	〃	〃					
	不明	—	—	—	—					902-P_7-21	〃	〃	〃					
	41.2.18 9:27	5.1	東経 140° 39′ 北緯 36° 27′	60	東京Ⅱ，銚子Ⅰ					902-P_7-22	〃	〃	〃					
	不明	—	—	—	—					902-P_7-23	10	〃	9					
	41.4. 3 13:43	5.8	東経 141° 31′ 北緯 36° 16′	20	東京Ⅲ，銚子Ⅱ					902-P_7-24	微小	〃	微小					
	不明	—	—	—	—					902-P_7-25	〃	〃	〃					
						G.L	橋軸方向	上下方向	直角方向	P	橋軸方向	上下方向	直角方向		方向	方向	方向	
(903)	40.9. 1 1:11	4.5	東経 139° 24′ 北緯 38° 02′	60	新潟Ⅰ					903-P-1	微小	—	微小					
昭	41.1.20 10:44	5.3	東経 138° 07′ 北緯 37° 53′	0	秋田Ⅳ，新潟Ⅲ	※ 903-G.L-1	10	微小	6	※ 903-P-2	13	微小	19					
和	41.5. 6 0:13	5.0	東経 137° 15′ 北緯 36° 31′	0	長野Ⅳ小千谷Ⅲ	903-G.L-2	微小	〃	微小	903-P-3	微小	〃	微小					
大	41.9. 8 1:24	不明	東経 138° 48′ 北緯 37° 12′	10	新潟Ⅰ，高田Ⅱ	※ 903-G.L-3	〃	〃	4	※ 903-P-4	31	微小	25					
橋	41.9.22 13:15	不明	東経 138° 36′ 北緯 37° 36′	40	新潟Ⅰ	903-G.L-4	(13)	〃	(5)	903-P-5	微小	〃	微小					

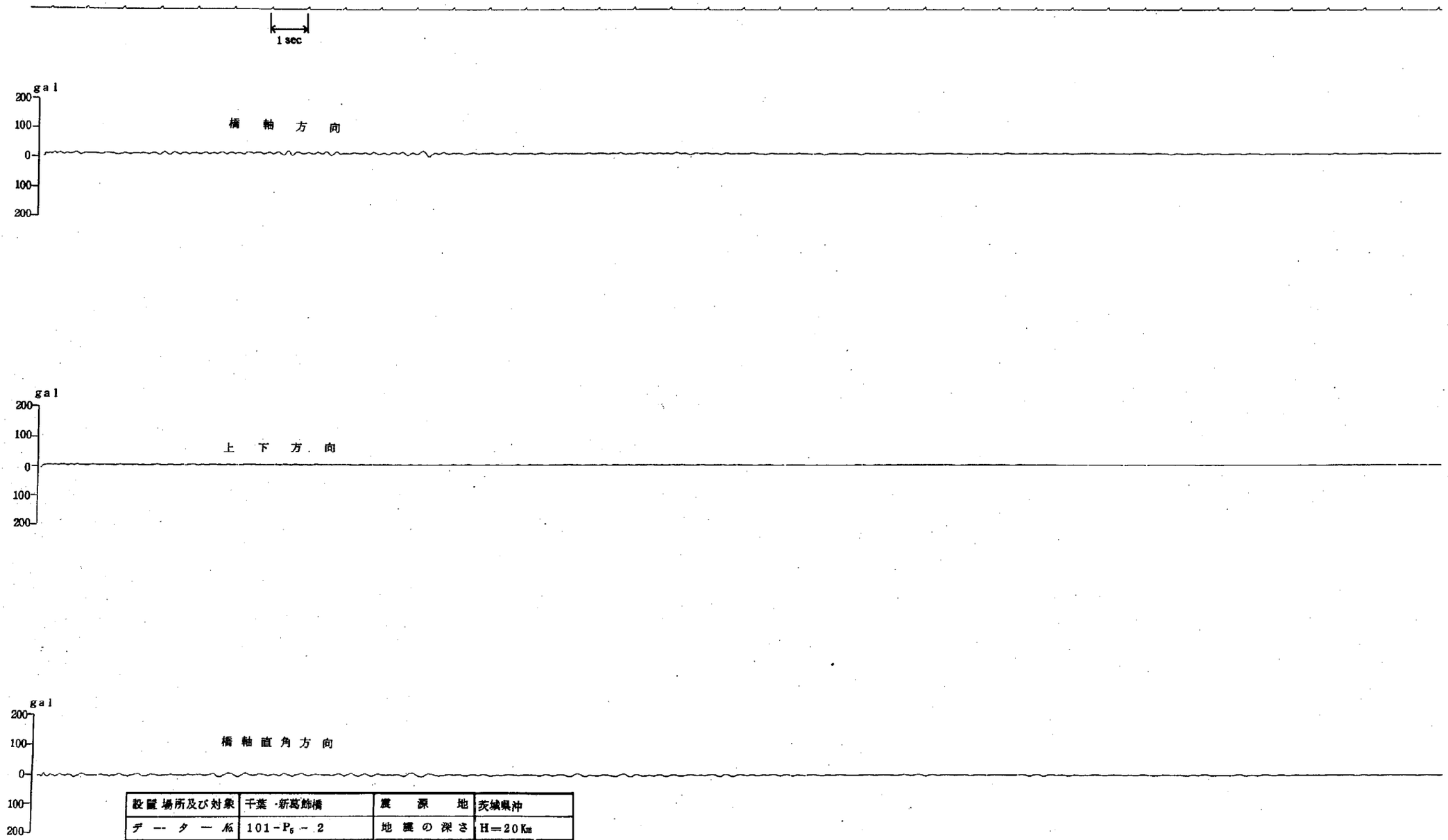
（その７）

観測点	地震発生時刻 年月日時分	マグニチュード (M)	震央	震源深さ (Km)	震度	地盤での記録（G.L） Data No.	最大加速度(gal) 橋軸方向	上下方向	直角方向	構造物での記録（Pier） Data No.	最大加速度(gal) 橋軸方向	上下方向	直角方向	構造物での記録（Pier） Data No.	最大加速度(gal) 橋軸方向	上下方向	直角方向	備考
(801) 有明海	41.11.12 21:01	6.0	東経 130°12′ 北緯 33°06′	10	佐賀，福岡Ⅲ	※ 801-G.L-1	N-40°-E 118	U-D 13	N-50°-W 83									有明海
(904) 新天竜川橋	40. 4.20 8:41	6.1	東経 138°18′ 北緯 34°53′	20	静岡Ⅳ，浜松Ⅳ 東京Ⅲ	※ 904-G.L-1	101	21	41									大井川河口
(1001) 安治川橋	38. 3.27 6:34	6.9	東経 135°40′ 北緯 35°47′	0	舞鶴Ⅳ，京都Ⅲ 大阪Ⅳ	※ 1001-G.L-1	21.88	14	34	※ 1001-P_2-1	28	微小	25	※ 1001-P_2-1	67	6	25	越前岬沖
(114) 尼ケ崎高架橋	38.3.27 6:34	6.9	東経 135°40′ 北緯 35°47′	0	舞鶴Ⅳ，京都Ⅲ 大阪Ⅳ	※ 114-G.L-1	27.95	13.50	37.58	※ 114-P-1	46	9	50					越前岬沖
	不明	—	—	—	—	114-G.L-2	微少	微少	微少									
	〃	—	—	—	—	114-G.L-3	6	〃	〃									
	〃	—	—	—	—	114-G.L-4	9	〃	9									
	〃	—	—	—	—	114-G.L-5	6	〃	微少									

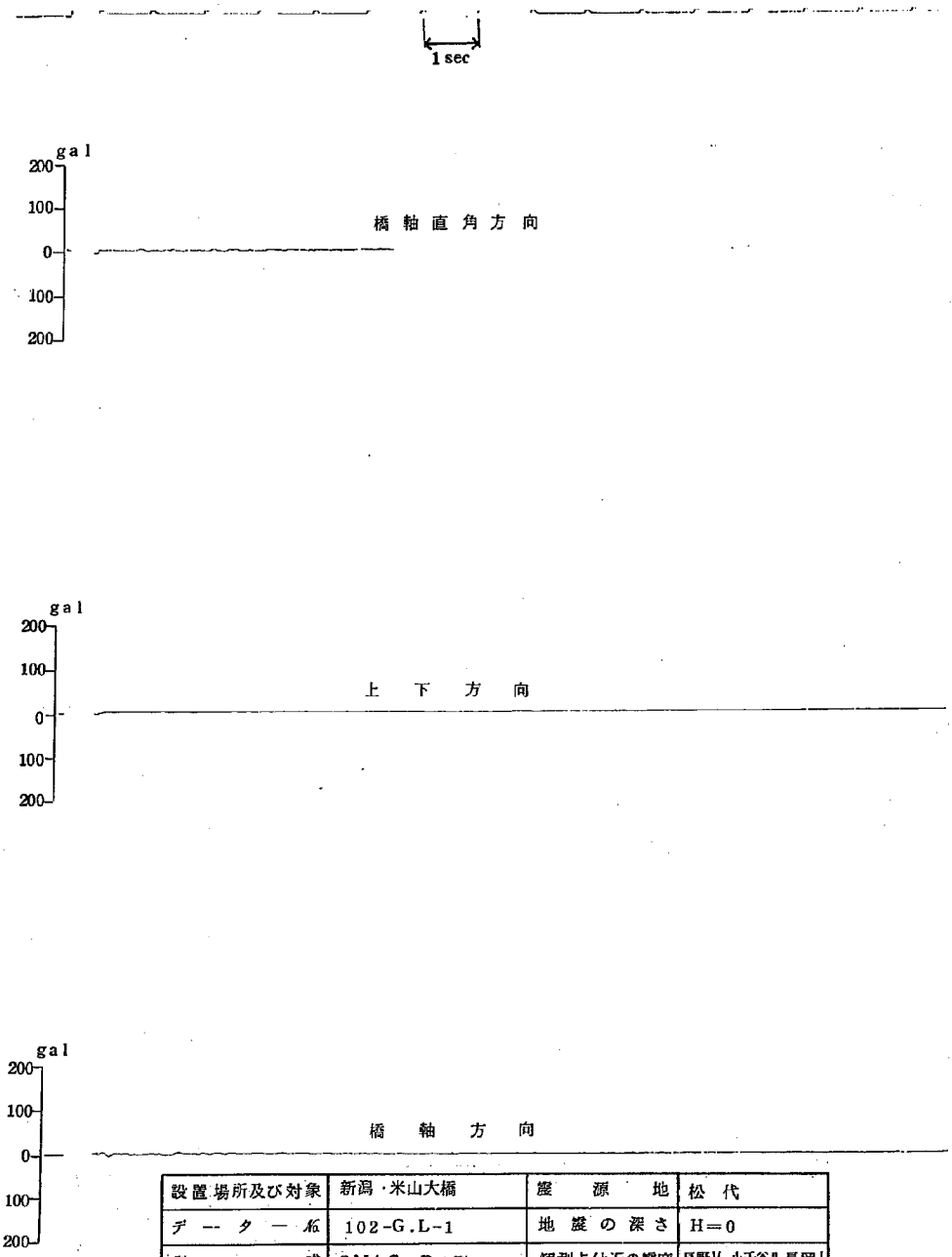
観測点	地震発生 年月日時分	マグニチュード M	震央	震源深さ H (Km)	震度	DATA No.	成分 / 最大	① gal	② gal	③ gal	④ gal	⑤ gal	⑥ gal
(12) 駿河大橋	40.4.20 8:42	6.1	東経 138°18′ 北緯 34°53′ （大井川河口）	20	浜松，静岡Ⅳ	※ 12-1		—	—	—	—	—	—
(13) 吉田大橋	36.8.19 14:33	7.0	北美濃	0	福井，名古屋，津Ⅳ 岐阜Ⅱ	※ 13-1		—	43.23	—	38.00	15.76	19.00
(14) 本四（垂水）	41.6. 2 18:28		東経 135°30′ 北緯 34°48′	20	神戸，大阪Ⅱ	※ 14-G.L-1		N-S —	E-W —	U-D —			
	41.6.29 21:22					※ 14-G.L-2		10.73	5.17	2.37			
(18) 大矢野島	41.5.16 22:06	5.1	東経 130°21′ 北緯 30°15′	60	枕崎Ⅱ	※ 18-G.L-1		N-S 7.76	E-W 7.76	U-D 5.63			
	不明	—	—	—	—	※ 18-G.L-2		5.84	7.87	2.99			



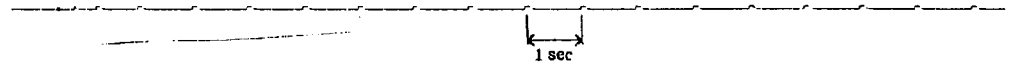
設置場所及び対象	千葉・新葛飾橋	震源地	茨城県沖
データー No.	101-G.L-1	地震の深さ	H=20 Km
型式	SMAC-B 2型	観測点付近の震度	東京Ⅲ・銚子Ⅱ
地震発生年月日時分	41.4.3 13:43	マグニチュード	M=5.8

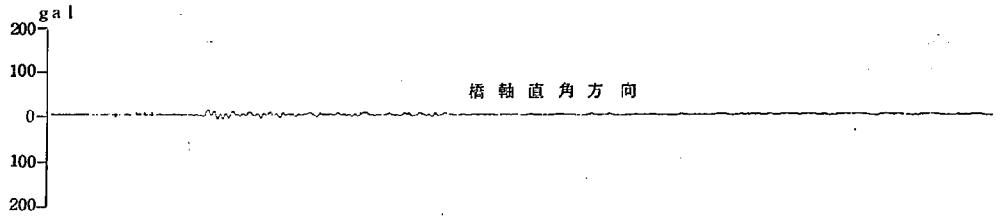


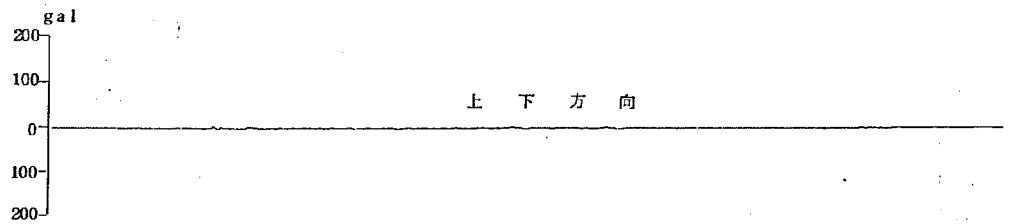
設置場所及び対象	千葉 -新葛飾橋	震源地	茨城県沖
データー名	101-P_5-2	地震の深さ	H=20Km
型式	SMAC-B2型	観測点付近の震度	東京Ⅱ，銚子Ⅱ
地震発生年月日時分	41.4.3 13:43	マグニチュード	M=5.8

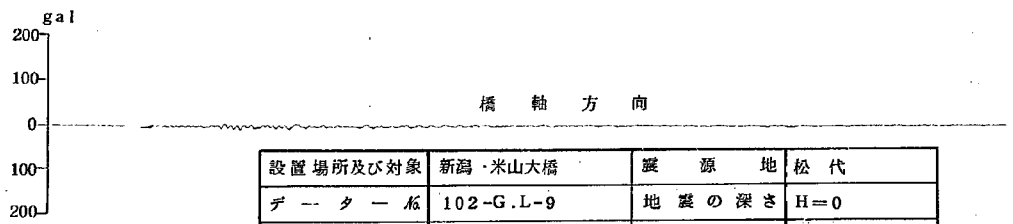


設置場所及び対象	新潟・米山大橋	震源地	松代
データー名	102-G.L-1	地震の深さ	H＝0
型式	SMAC－B 2型	観測点付近の震度	長野V。小千谷II.長岡I
地震発生年月日時分	41.4.5　17：51	マグニチュード	M＝5.4

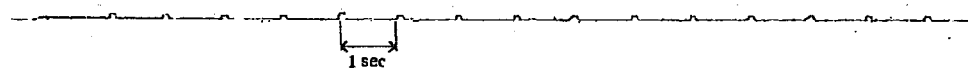


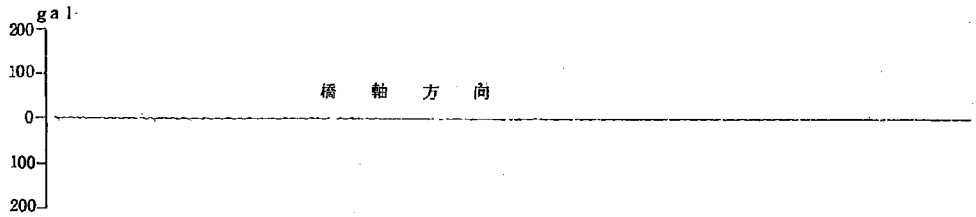


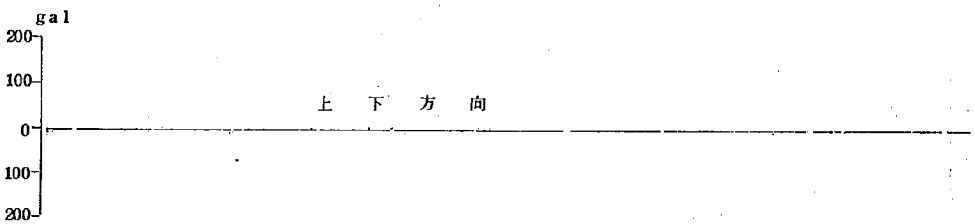


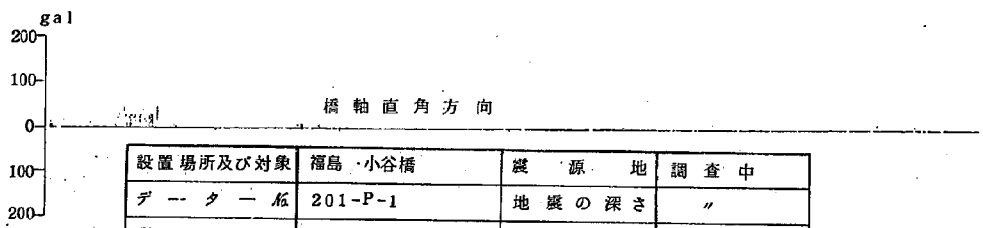


設置場所及び対象	新潟・米山大橋	震源地	松代
データー名	102-G.L-9	地震の深さ	H=0
型式	SMAC-B2型	観測点付近の震度	新潟 I
地震発生年月日時分	41.9.22 13:15		

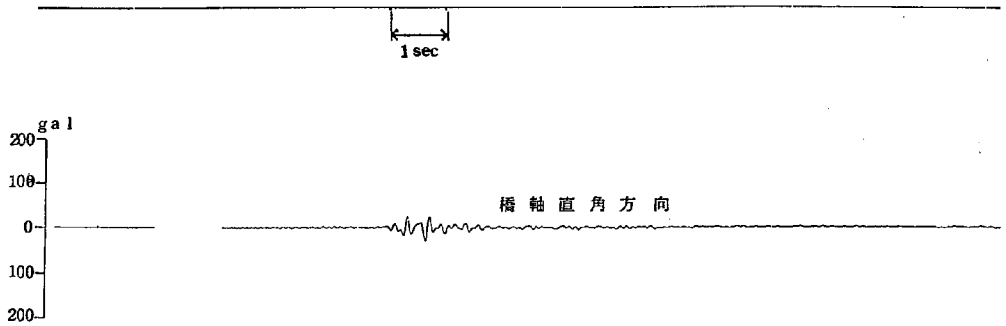


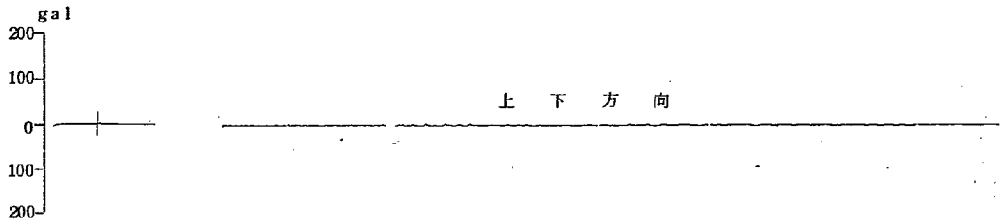


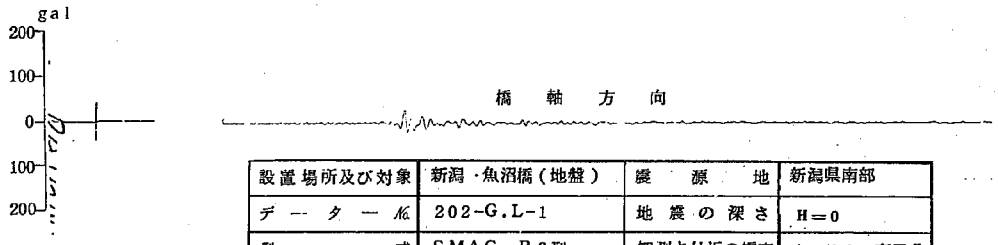




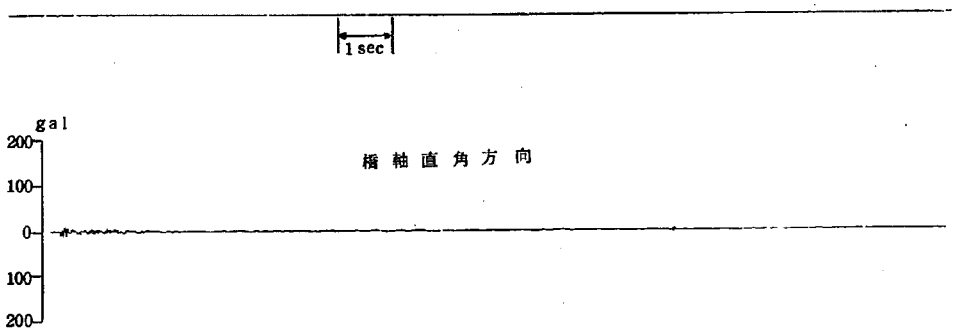
設置場所及び対象	福島・小谷橋	震源地	調査中
データー名	201-P-1	地震の深さ	〃
型式	SMAC-B2	観測点付近の震度	〃
地震発生年月日時分	調査中		

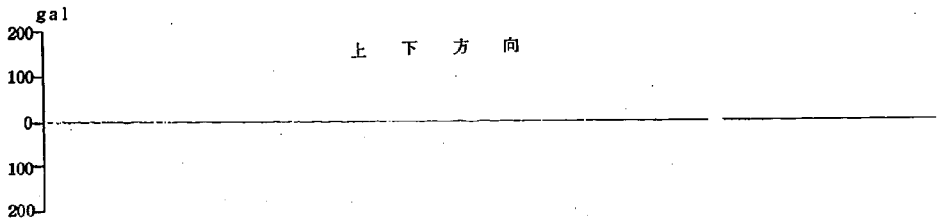


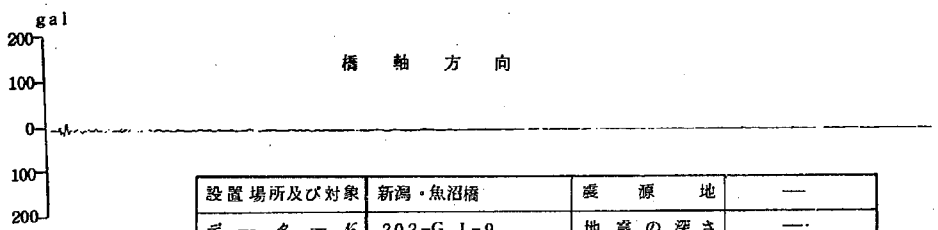




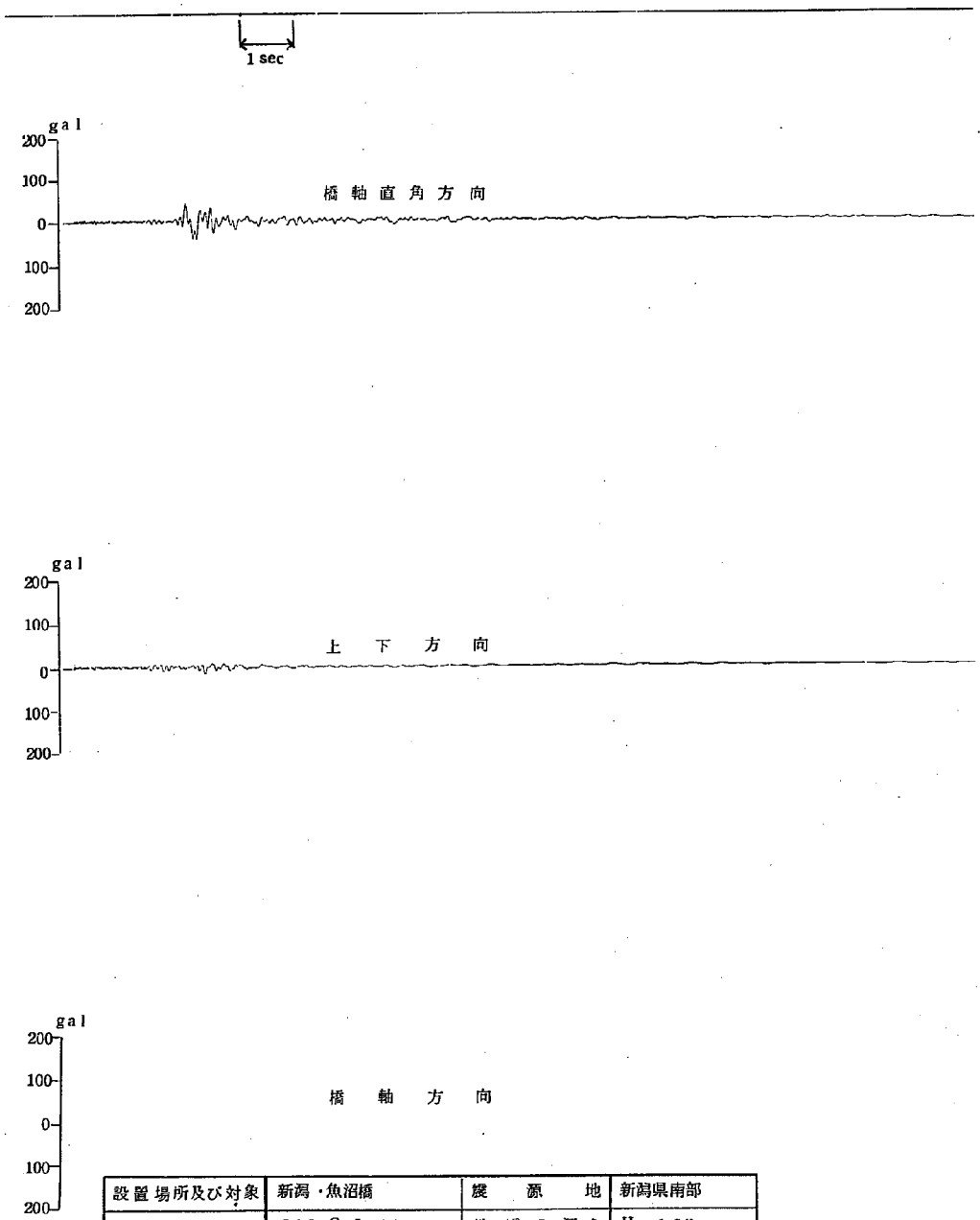
設置場所及び対象	新潟・魚沼橋（地盤）	震源地	新潟県南部
データ No.	202-G.L-1	地震の深さ	H＝0
型式	SMAC－B2型	観測点付近の震度	小千谷Ⅰ，高田Ⅱ
地震発生年月日時分	41.1.9　7：39	マグニチュード	M＝5.2



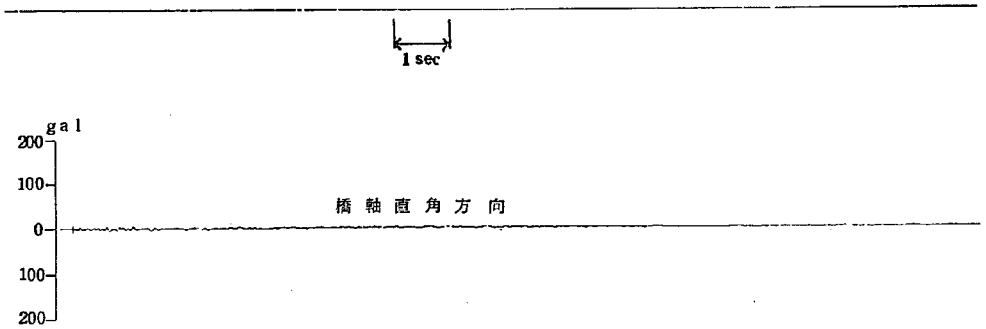


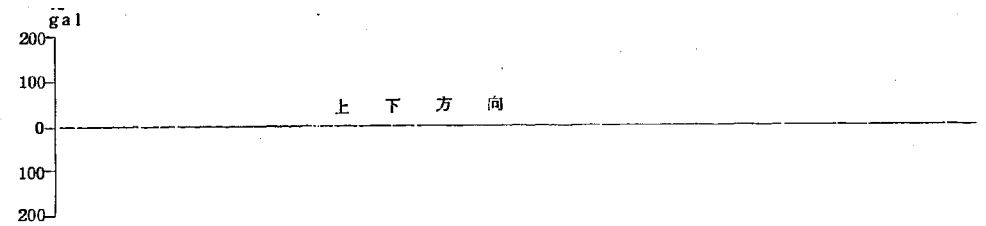


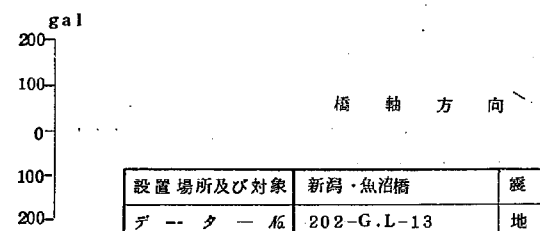
設置場所及び対象	新潟・魚沼橋	震源地	—
データー番	202-G.L-9	地震の深さ	—
型式	SMAC-B2型	観測点付近の震度	—
地震発生年月日時分	不明		



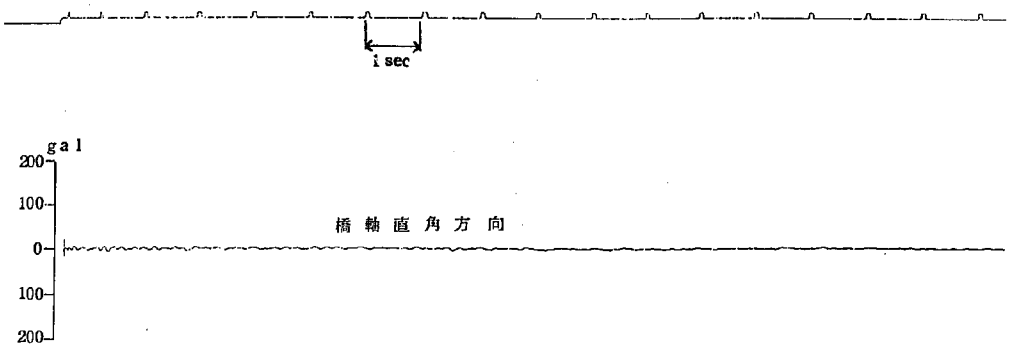
設置場所及び対象	新潟・魚沼橋	震源地	新潟県南部
データー名	202-G.L-11	地震の深さ	H＝10Km
型式	SMAC－B2型	観測点付近の震度	高田Ⅱ，新潟Ⅰ
地震発生年月日時分	41.9.8　1：20		

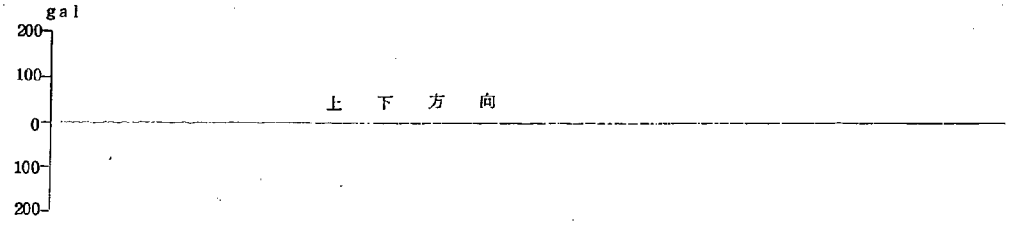


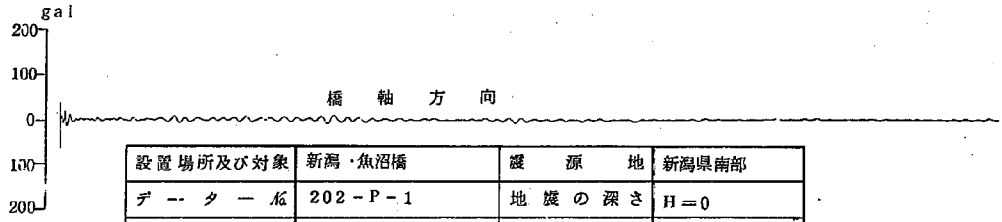




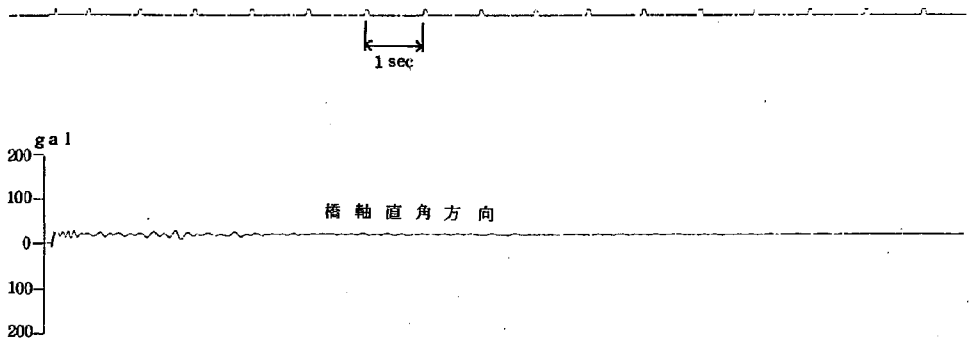
設置場所及び対象	新潟・魚沼橋	震源地	信濃川下流域
データ No.	202-G.L-13	地震の深さ	H＝40Km
型式	SMAC-B2型	観測点付近の震度	高田Ⅱ. 新潟Ⅰ
地震発生年月日時分	41.9.22 13:15		

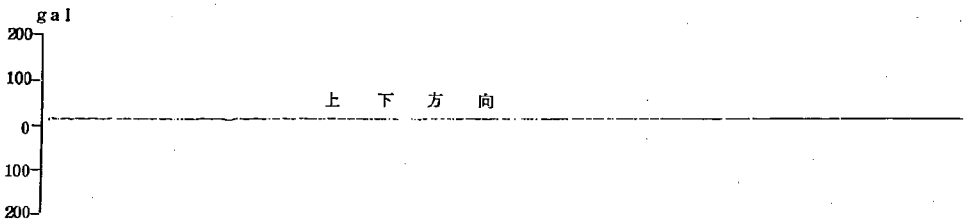


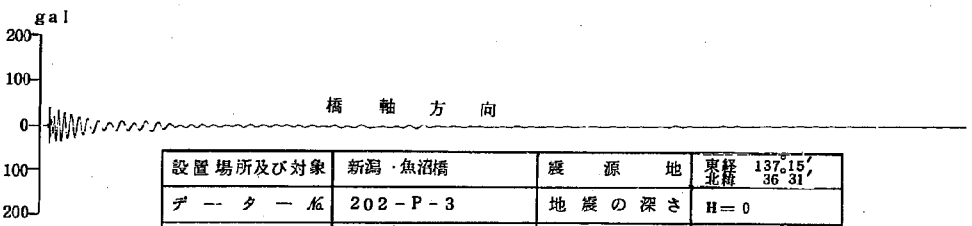




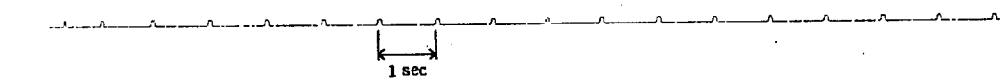
設置場所及び対象	新潟・魚沼橋	震源地	新潟県南部
データー No.	202－P－1	地震の深さ	H＝0
型式	SMAC－B 2型	観測点付近の震度	小千谷 I，高田 II
地震発生年月日時分	41.1.9　7：39	マグニチュード	M＝5.2

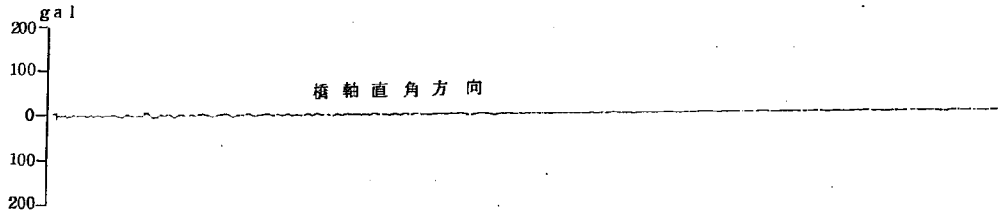


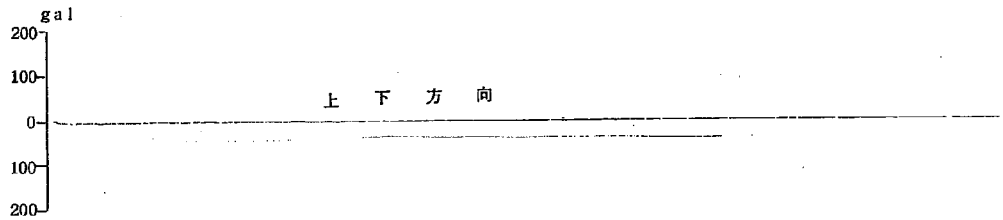


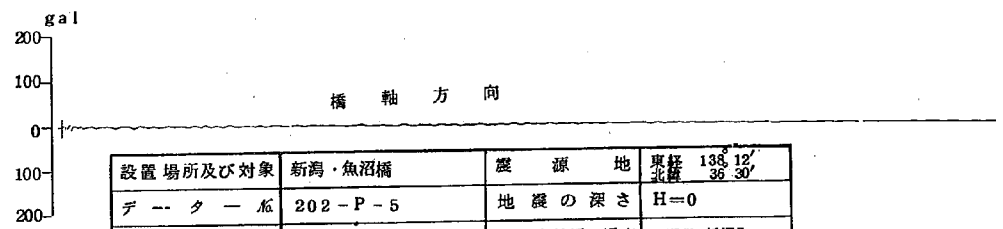


設置場所及び対象	新潟・魚沼橋	震源地	東経 137°15′ 北緯 36°31′
データーNo.	202-P-3	地震の深さ	H＝0
型式	SMAC-B2型	観測点付近の震度	小千谷Ⅱ 長野Ⅳ
地震発生年月日時分	41.5.6 19:08	マグニチュード	M＝5.0

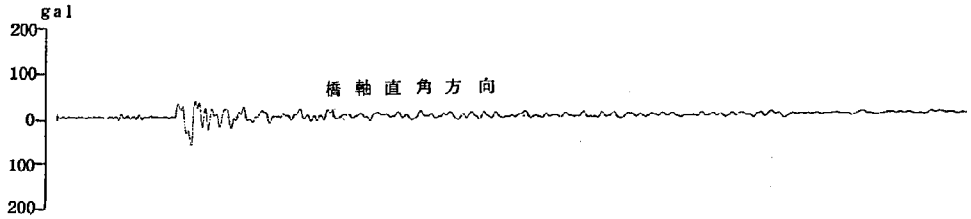


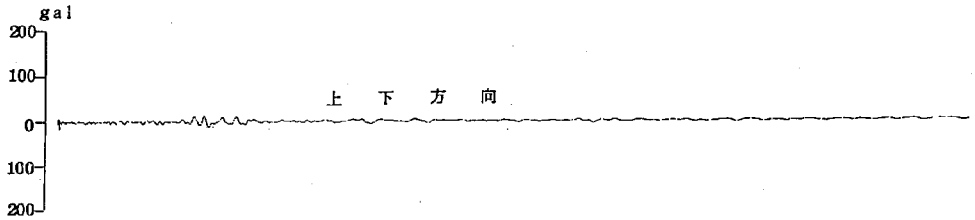


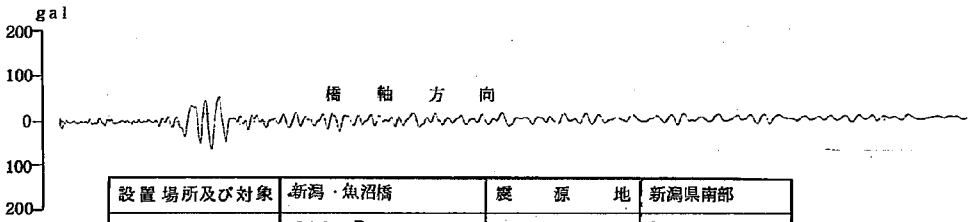




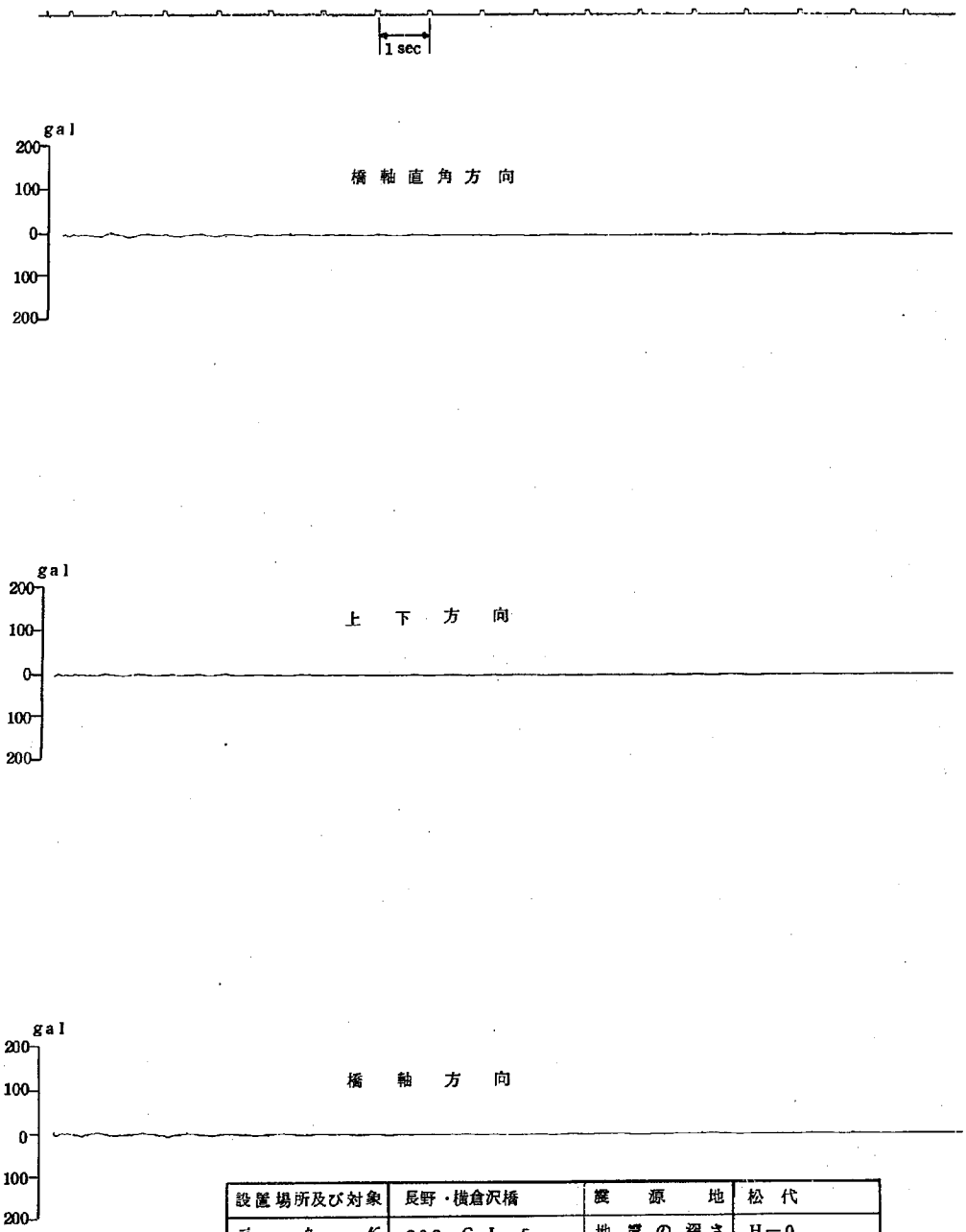
設置場所及び対象	新潟・魚沼橋	震源地	東経 138°12′ 北緯 36°30′
データー番	202－P－5	地震の深さ	H＝0
型式	SMAC－B2型	観測点付近の震度	長野Ⅳ 新潟Ⅱ
地震発生年月日時分	41.8.28 13：09		



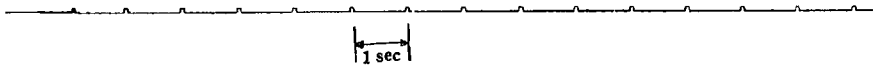


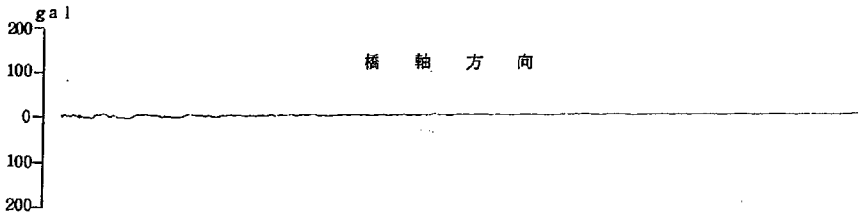


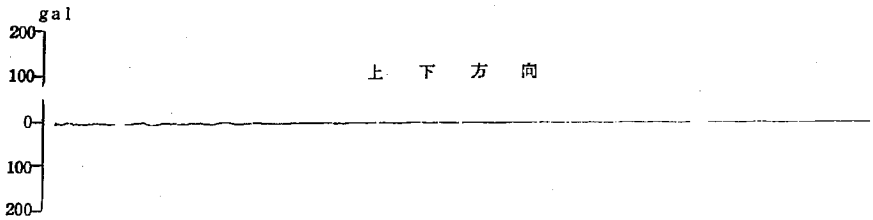
設置場所及び対象	新潟・魚沼橋	震源地	新潟県南部
データー番	202－P－6	地震の深さ	H＝10Km
型式	SMAC－B2型	観測点付近の震度	新潟Ⅰ，高田Ⅱ
地震発生年月日時分	4 1.9.8　1：20		

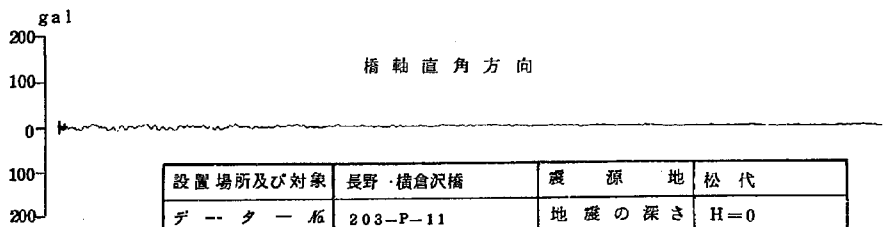


設置場所及び対象	長野・横倉沢橋	震源地	松代
データー名	203－G.L－5	地震の深さ	H＝0
型式	SMAC－B2型	観測点付近の震度	長野V
地震発生年月日時分	41.4.5　17:51	マグニチュード	M＝5.4

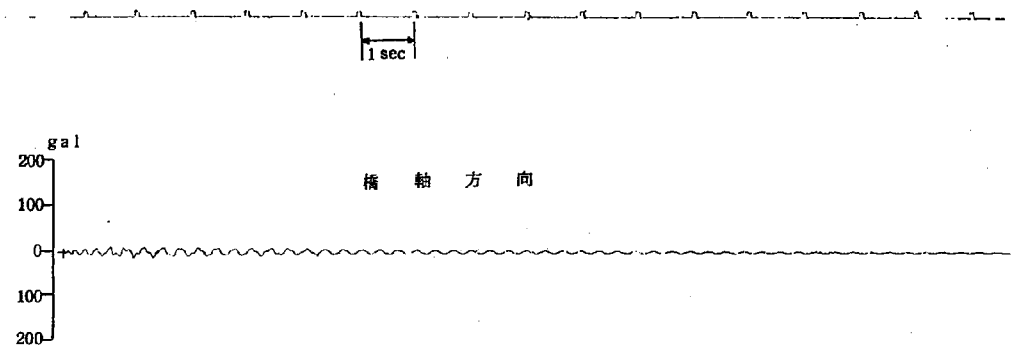


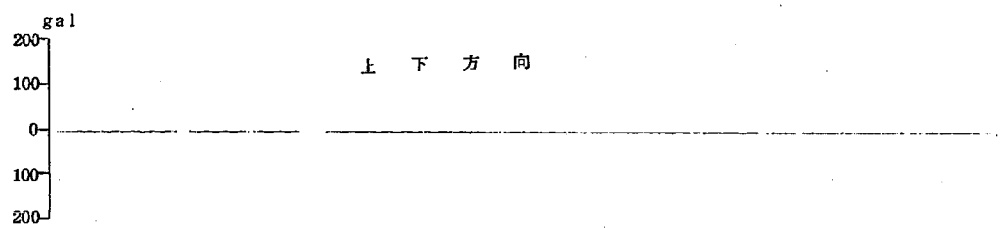


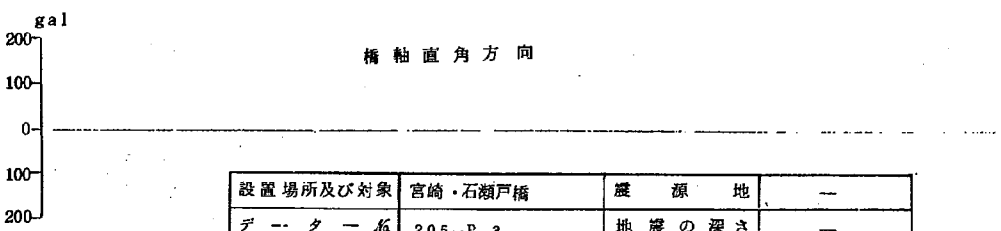




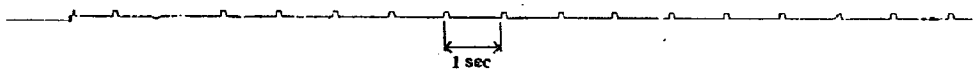
設置場所及び対象	長野・横倉沢橋	震源地	松代
データー名	203−P−11	地震の深さ	H＝0
型式	SMAC−B 2型	観測点付近の震度	長野 V
地震発生年月日時分	41.4.5　17:51	マグニチュード	M＝5.4

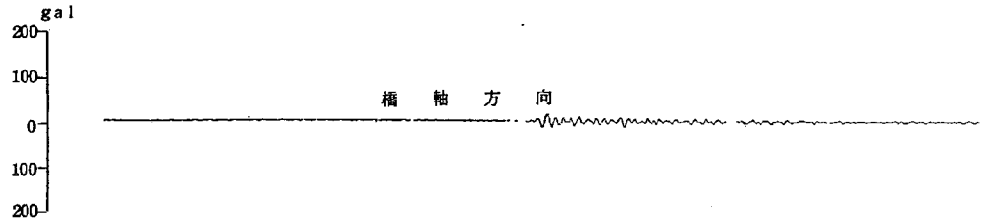


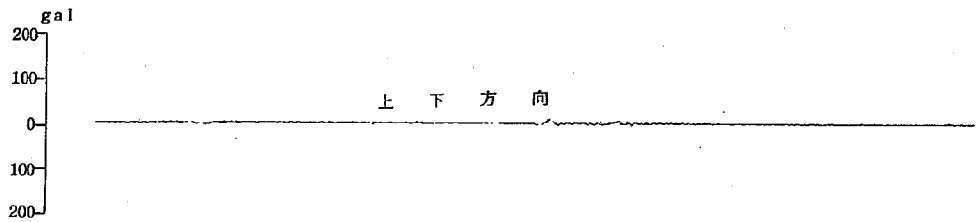


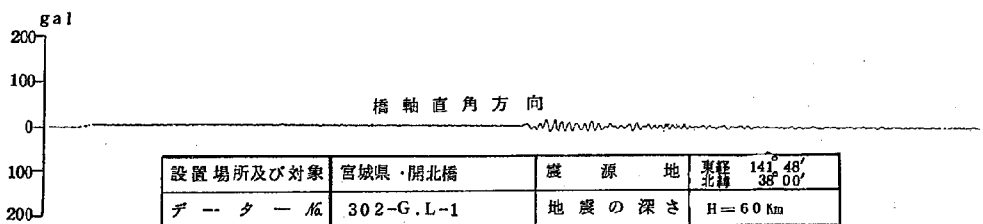


設置場所及び対象	宮崎・石瀬戸橋	震源地	—
データー名	205－P－3	地震の深さ	—
型式	SMAC－B2型	観測点付近の震度	—
地震発生年月日時分	—	自動車の振動によるもの	

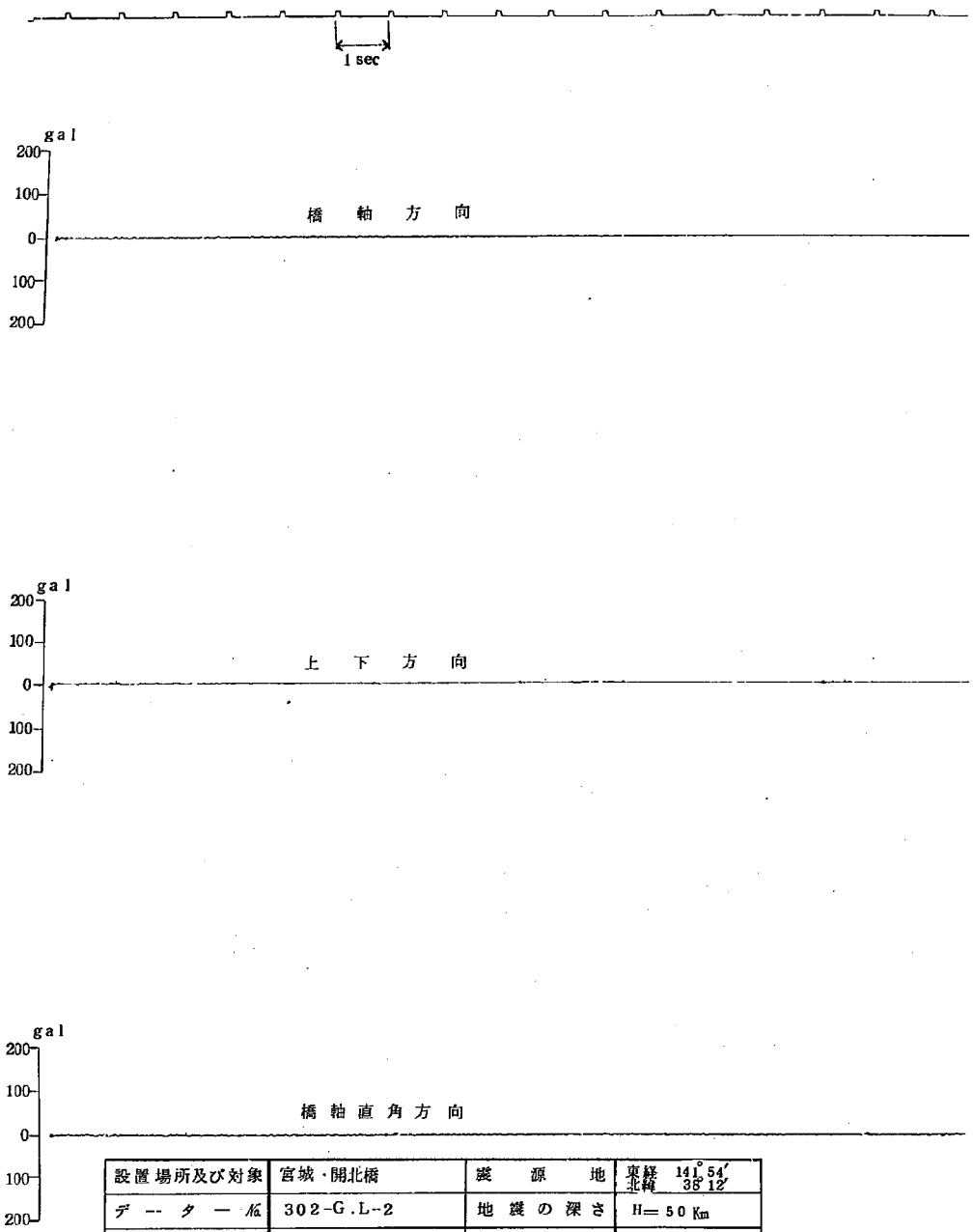




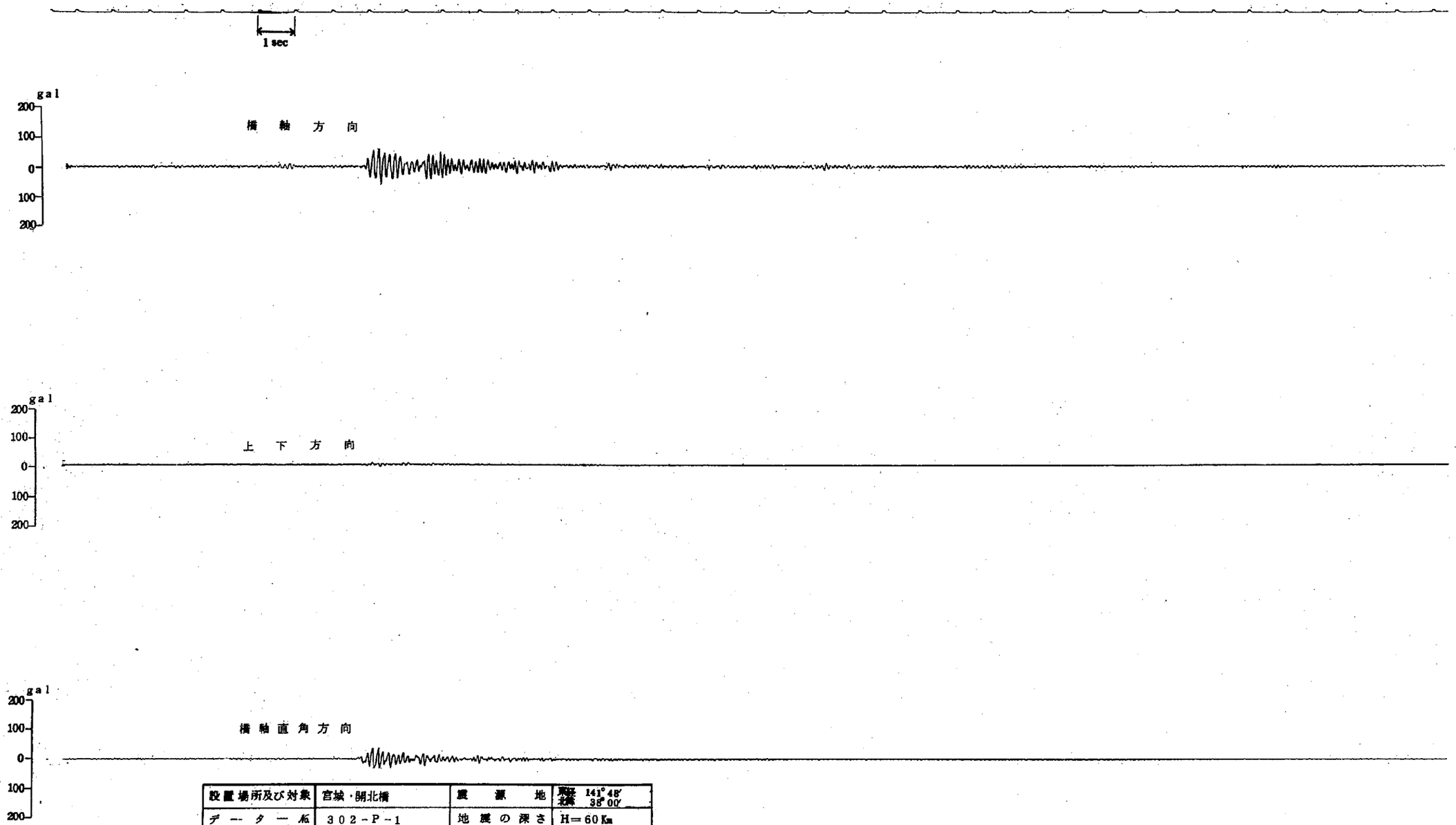




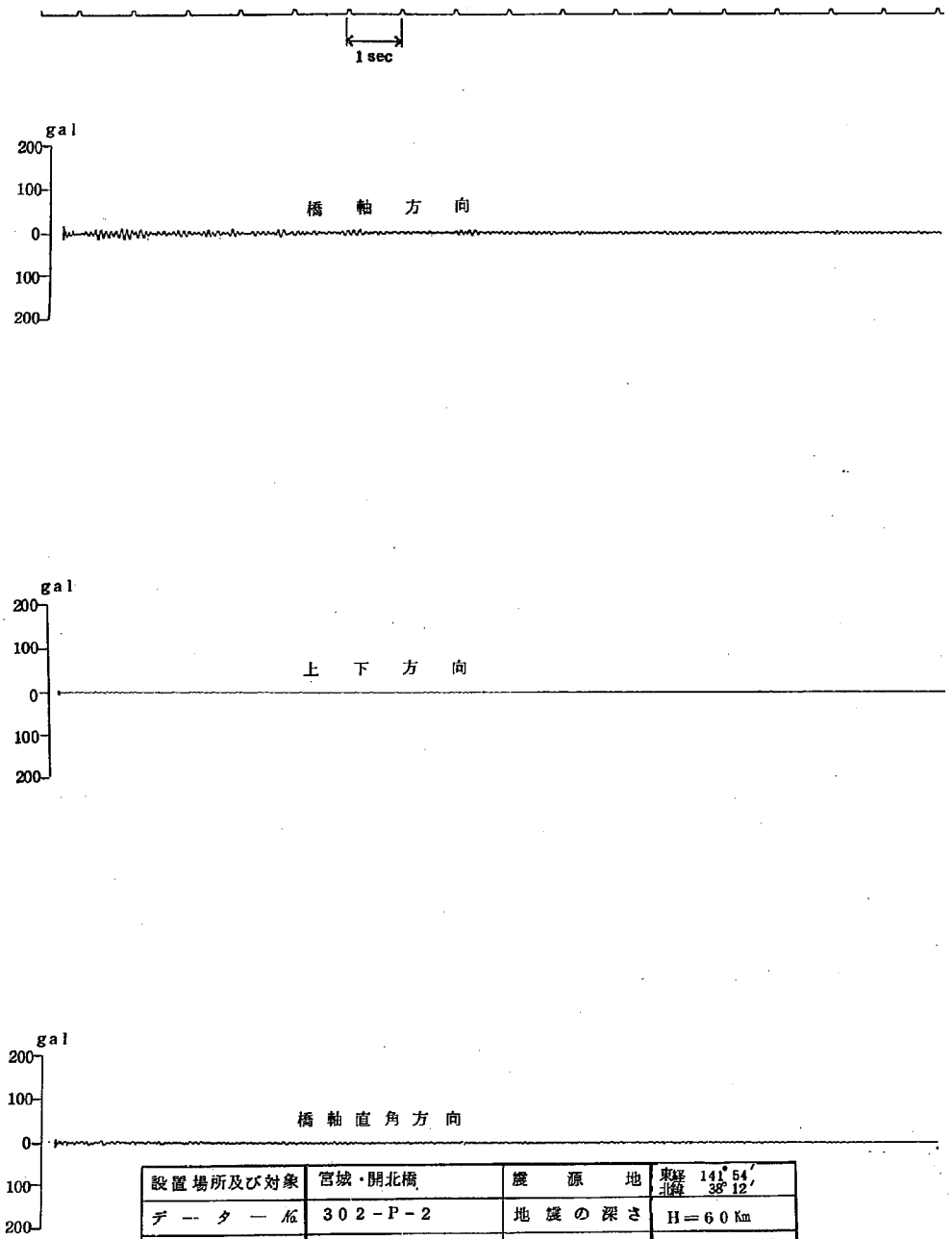
設置場所及び対象	宮城県・開北橋	震源地	東経 141° 48′ 北緯 38° 00′
データー No.	302-G.L-1	地震の深さ	H＝60 Km
型式	SMAC－B 2型	観測点付近の震度	仙台, 石巻Ⅱ, 山形Ⅱ
地震発生年月日時分	41.6.24　6：52		



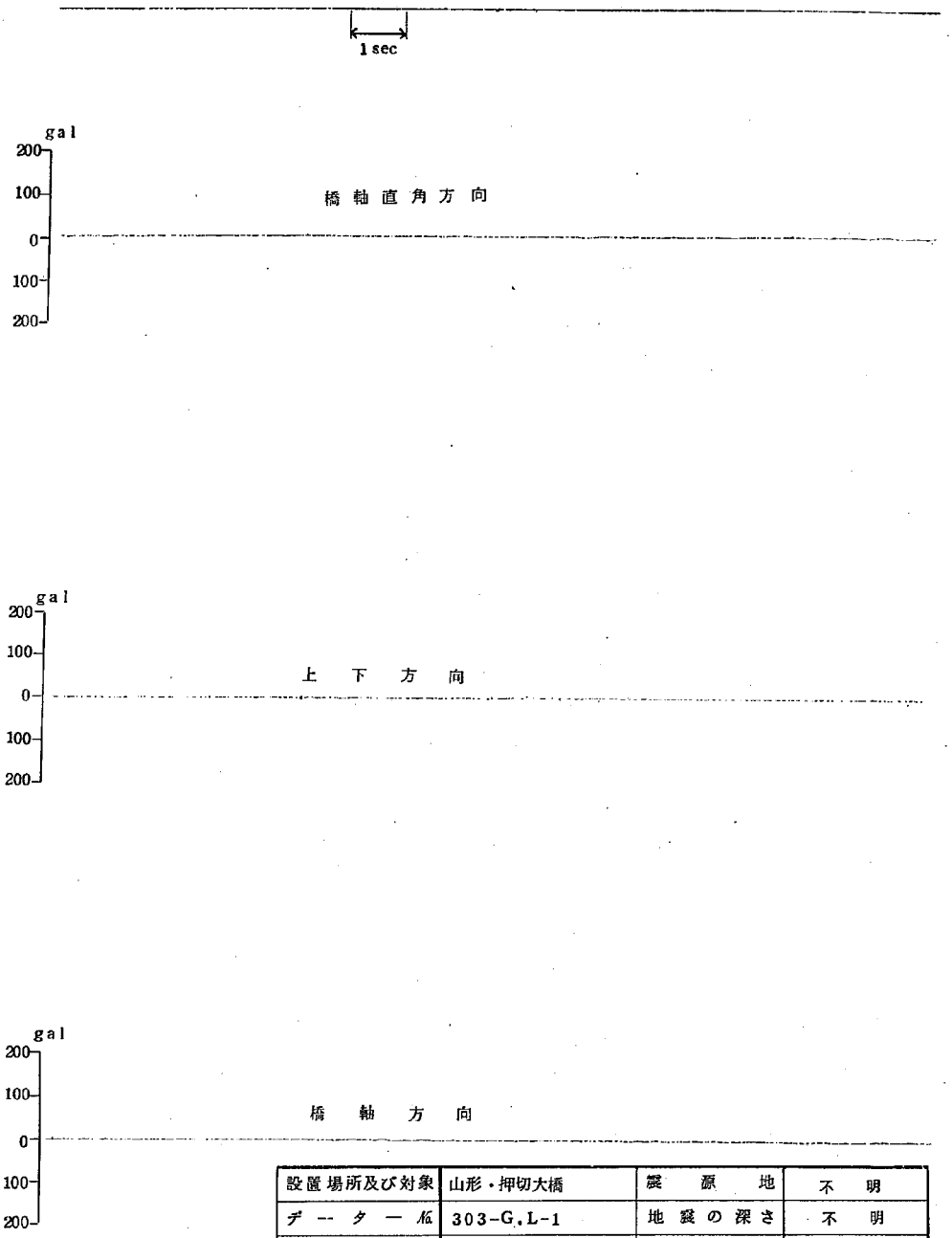
設置場所及び対象	宮城・開北橋	震源地	東経 141° 54′ 北緯 38° 12′
データー名	302-G.L-2	地震の深さ	H＝50 Km
型式	SMAC-B2型	観測点付近の震度	仙台, 石巻Ⅱ, 盛岡Ⅰ
地震発生年月日時分	41. 7. 18 13：39		



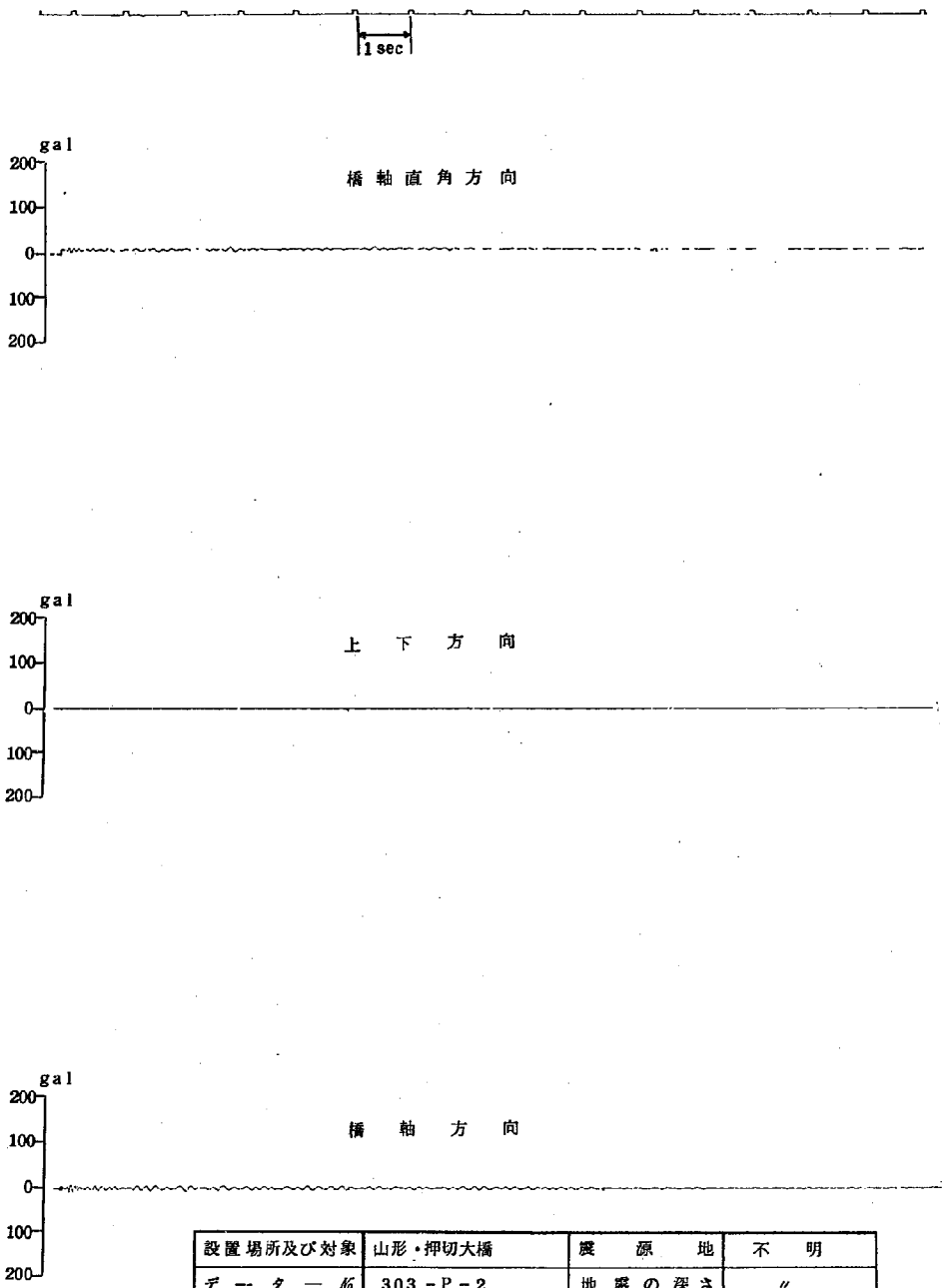
設置場所及び対象	宮城・開北橋	震源地	東経 141°48′ 北緯 38°00′
データー番	302-P-1	地震の深さ	H=60Km
型式	SMAC-B2型	観測点付近の震度	仙台、石巻Ⅲ、山形Ⅱ
地震発生年月日時分	41.6.24 6：52		



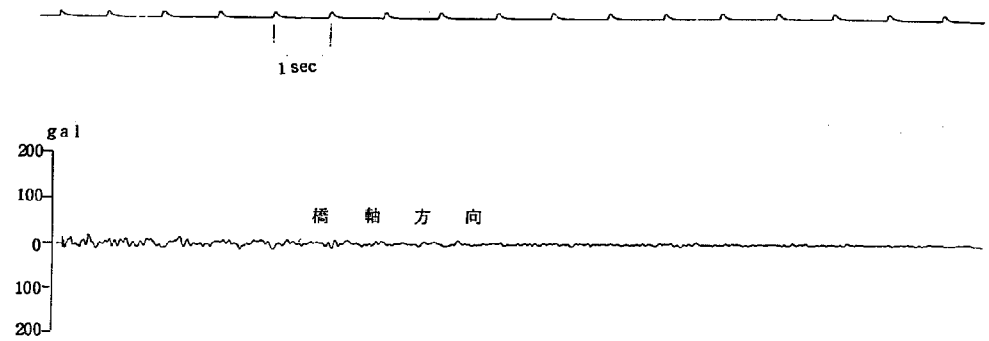
設置場所及び対象	宮城・開北橋	震源地	東経 141°54′ 北緯 38°12′
データ No.	302-P-2	地震の深さ	H＝60 Km
型式	SMAC-B 2型	観測点付近の震度	仙台, 石巻Ⅱ, 盛岡Ⅰ
地震発生年月日時分	41.7.18 13:39		

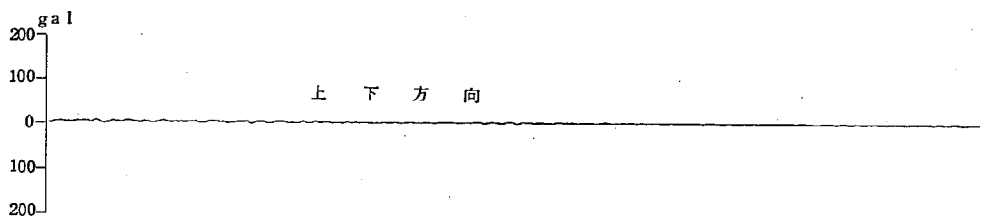


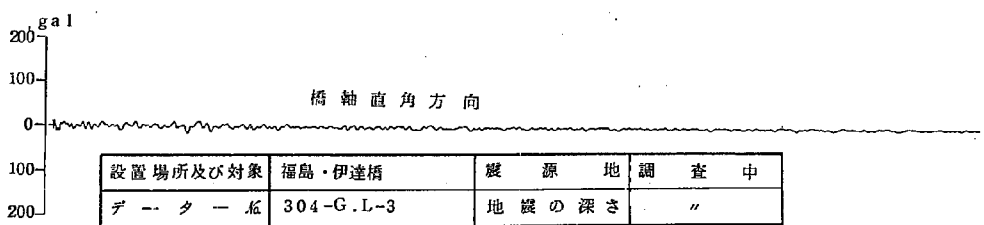
設置場所及び対象	山形・押切大橋	震源地	不明
データー番	303-G.L-1	地震の深さ	不明
型式	SMAC-B2型	観測点付近の震度	不明
地震発生年月日時分	不明		



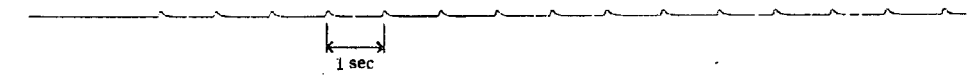
設置場所及び対象	山形・押切大橋	震源地	不明
データ番号	303-P-2	地震の深さ	〃
型式	SMAC-B2型	観測点付近の震度	〃
地震発生年月日時分	不明		

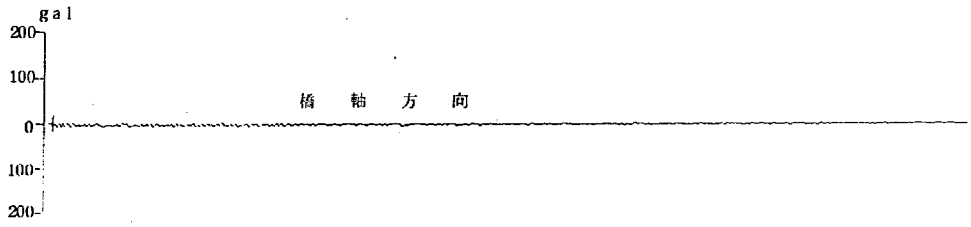


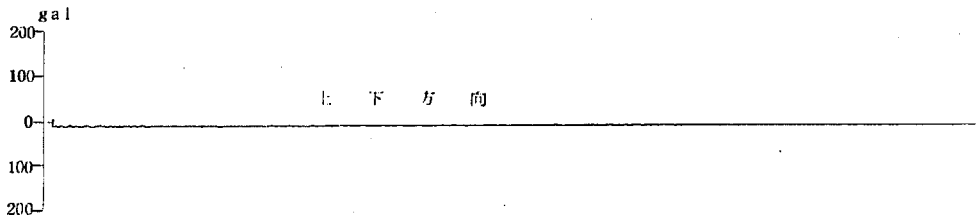


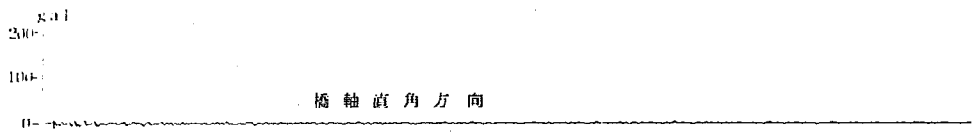


設置場所及び対象	福島・伊達橋	震源地	調査中
データー番	304-G.L-3	地震の深さ	〃
型式	SMAC-B2型	観測点付近の震度	〃
地震発生年月日時分	調査中		

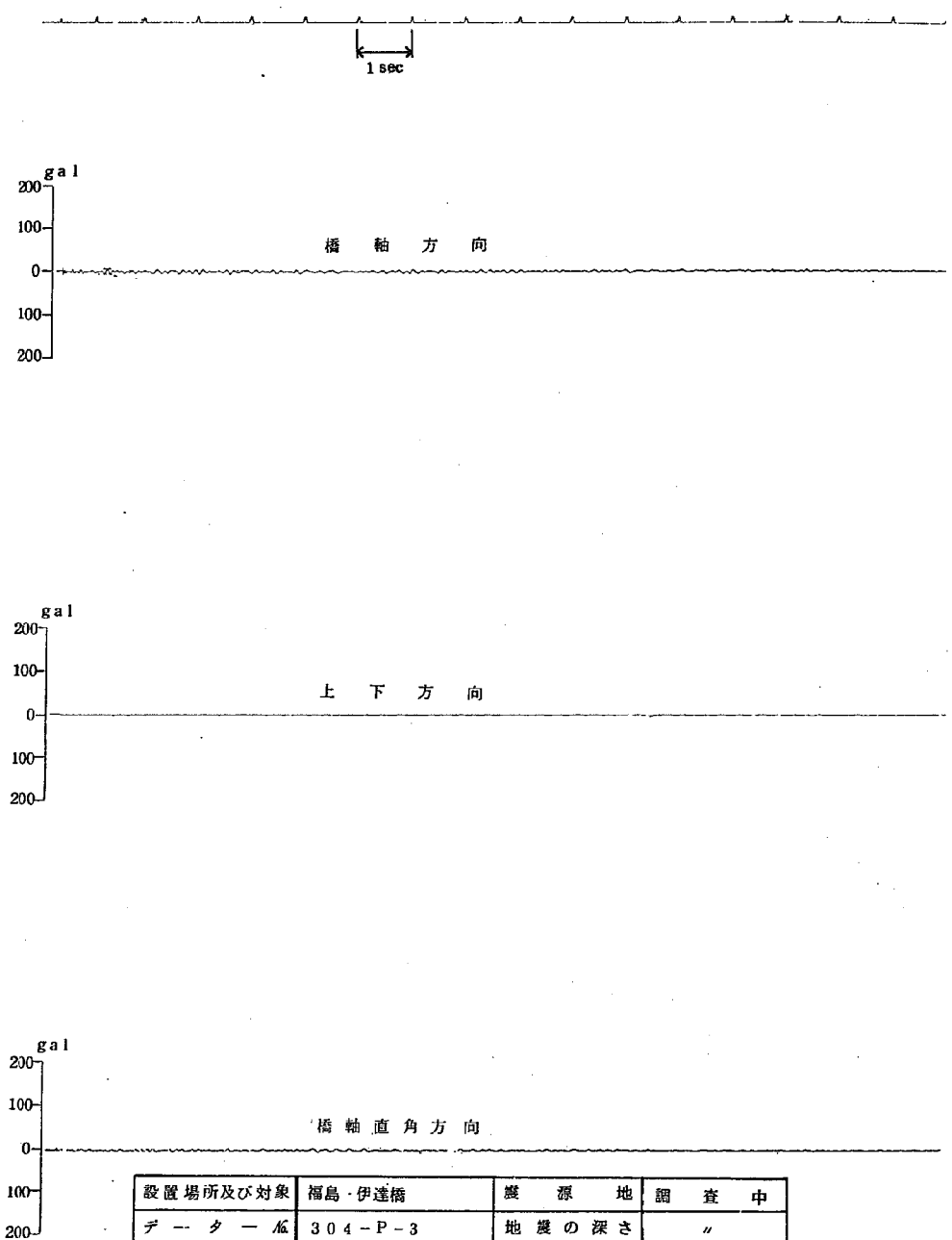




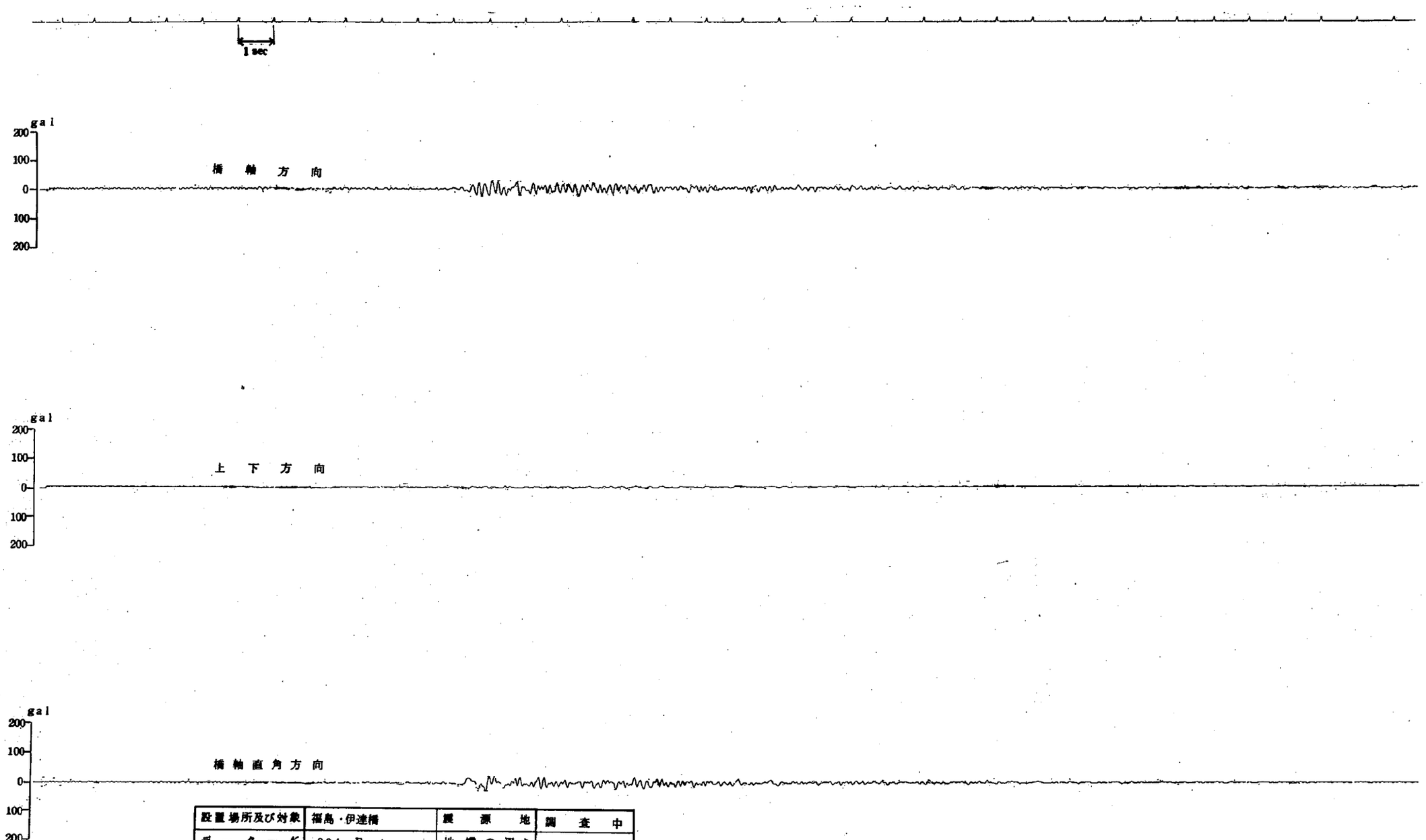




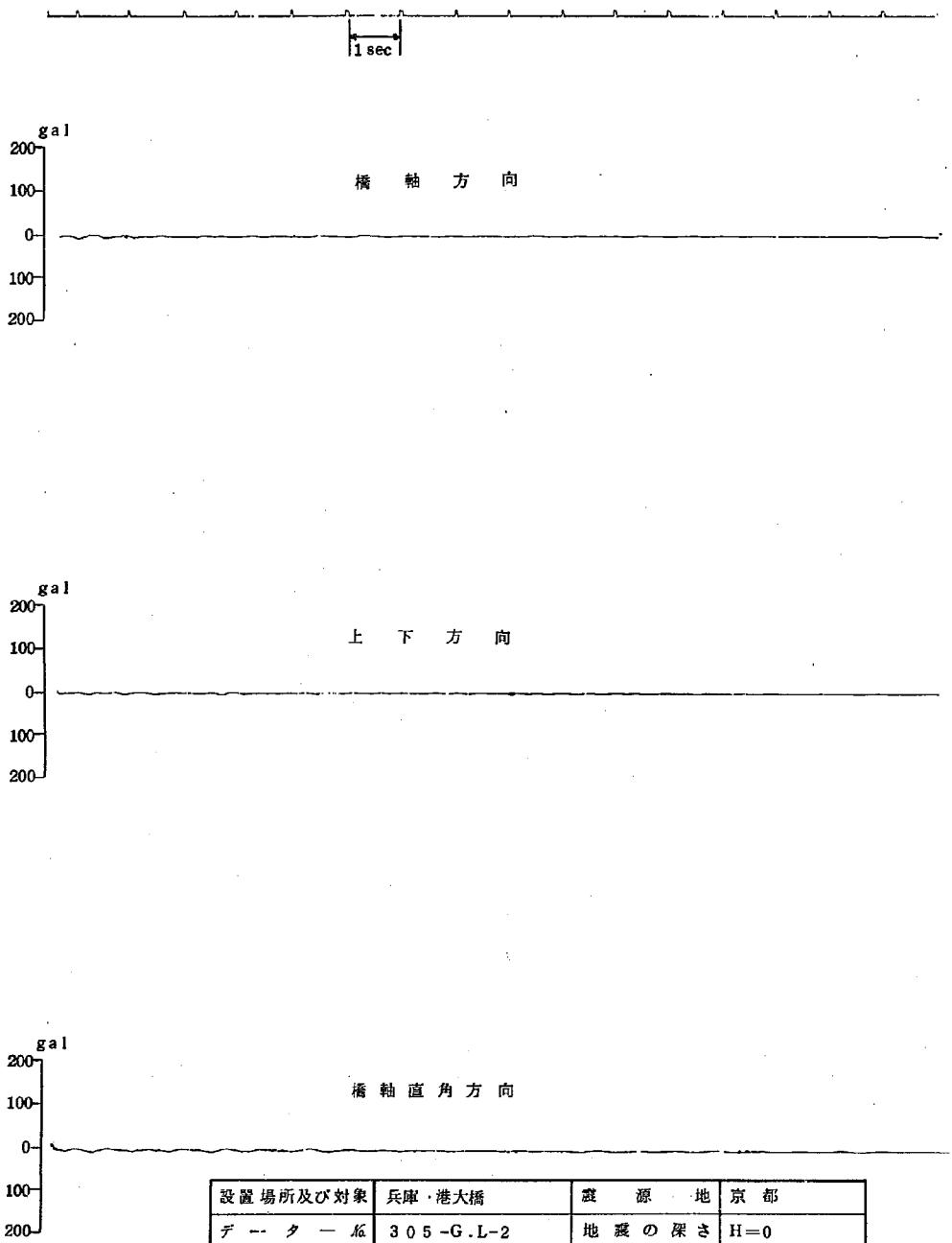
設置場所及び対象	福島・伊達橋	震源地	調査中
データー拡	304-G.L-4	地震の深さ	〃
型式	SMAC-B2型	観測点付近の震度	〃
地震発生年月日時分	調査中		



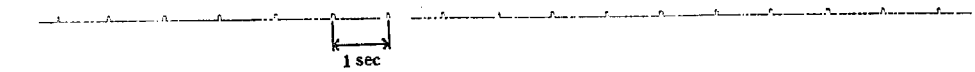
設置場所及び対象	福島・伊達橋	震源地	調査中
データー名	304－P－3	地震の深さ	〃
型式	SMAC－B2型	観測点付近の震度	〃
地震発生年月日時分	調査中		

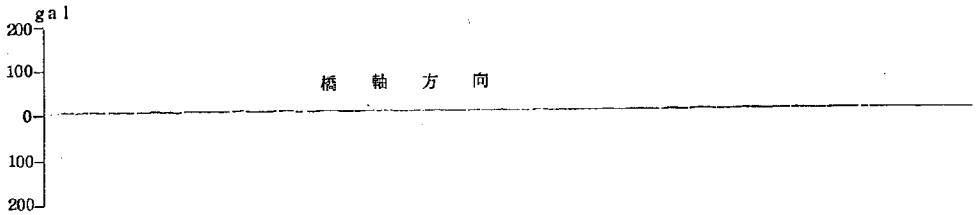


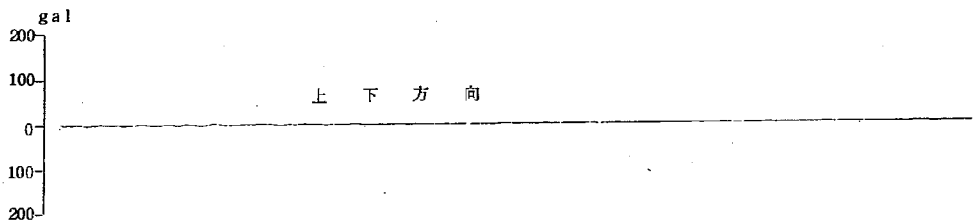
設置場所及び対象	福島・伊達橋	震源地	調査中
データー名	304－P－4	地震の深さ	〃
型式	SMAÇ－B2型	観測点付近の震度	〃
地震発生年月日時分	調査中		

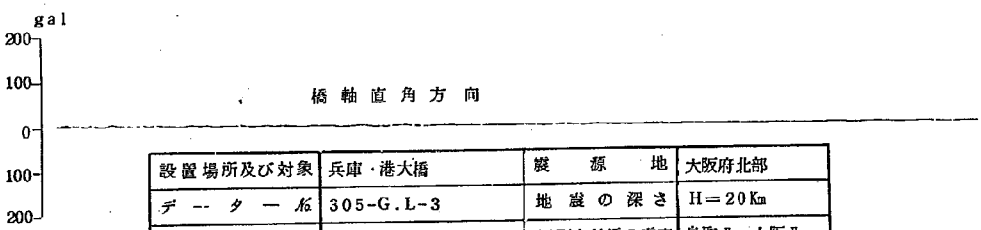


設置場所及び対象	兵庫・港大橋	震 源 地	京 都
デ ー タ ー 名	305-G.L-2	地 震 の 深 さ	H=0
型 式	SMAC-B2型	観測点付近の震度	京都Ⅱ，舞鶴Ⅱ
地震発生年月日時分	41.4.25 14:09	マグニチュード	M=3.7

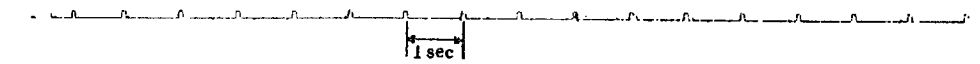


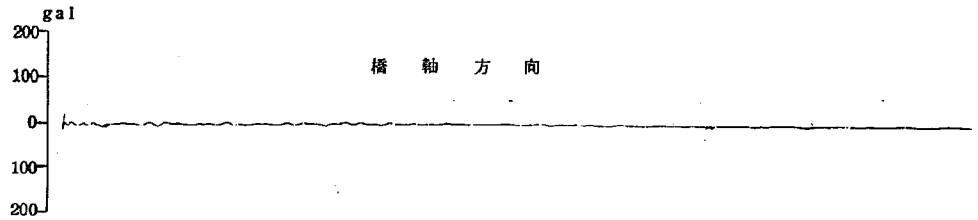


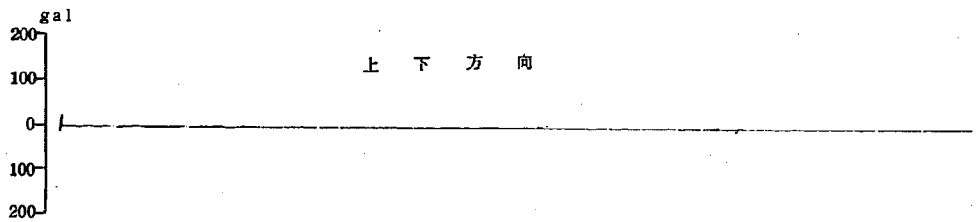


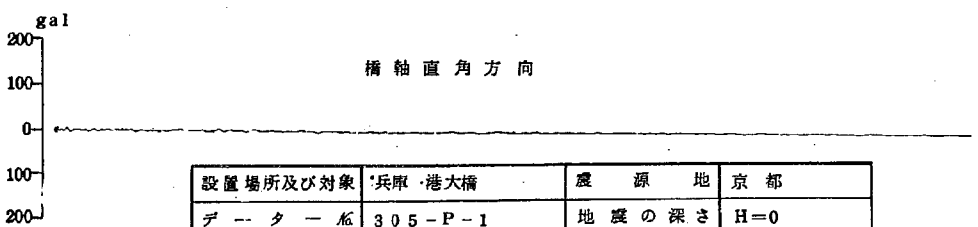


設置場所及び対象	兵庫・港大橋	震源地	大阪府北部
データー名	305-G.L-3	地震の深さ	H＝20Km
型式	SMAC-B2型	観測点付近の震度	鳥取Ⅱ，大阪Ⅱ
地震発生年月日時分	41.6.29　21:22		

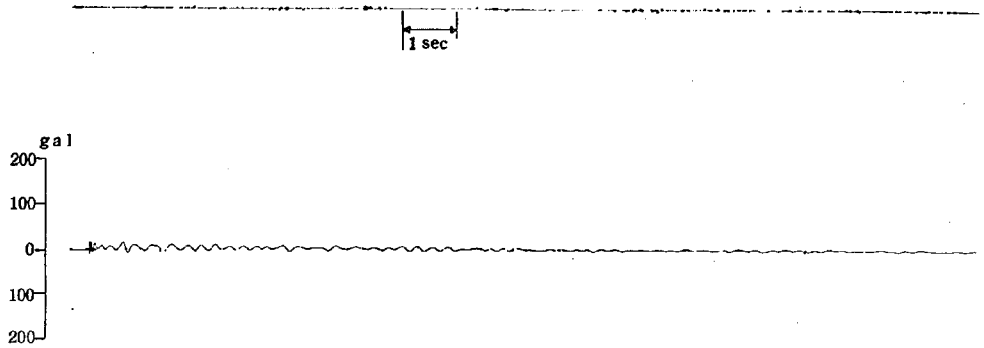


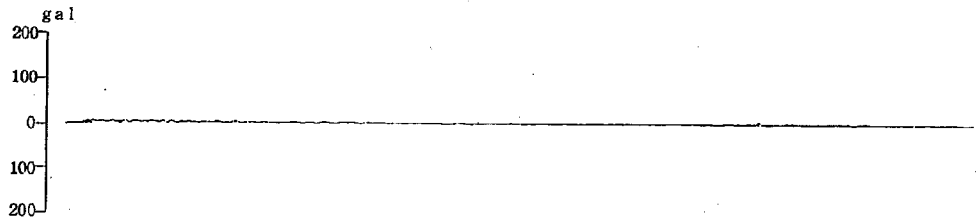


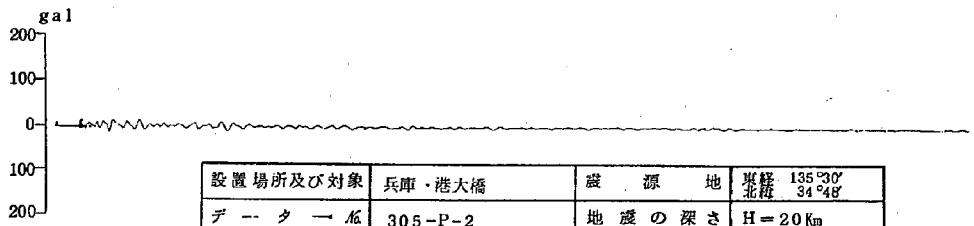




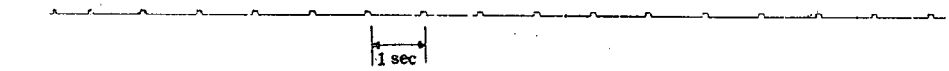
設置場所及び対象	兵庫・港大橋	震 源 地	京 都
デ ー タ ー 名	305－P－1	地 震 の 深 さ	H＝0
型 式	SMAC－B2型	観測点付近の震度	京都Ⅱ，舞鶴Ⅱ
地震発生年月日時分	41.4.25 14：09	マグニチュード	M＝3.7

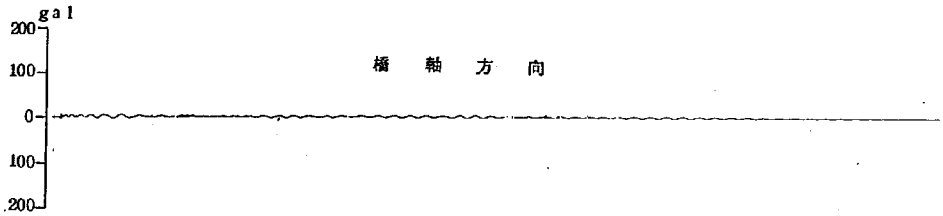


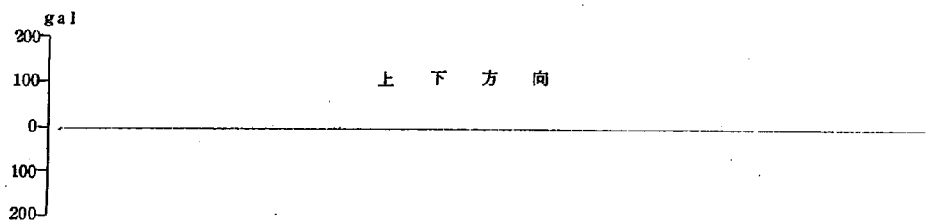


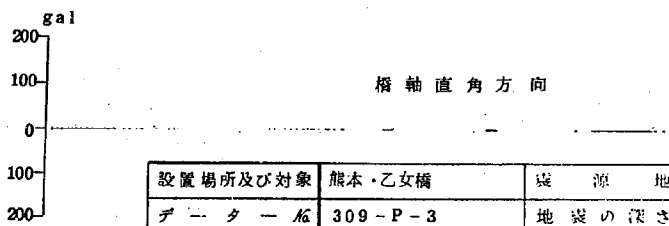


設置場所及び対象	兵庫・港大橋	震源地	東経 135°30′ 北緯 34°48′
データー番	305-P-2	地震の深さ	H＝20Km
型式	SMAC-B2型	観測点付近の震度	鳥取Ⅱ，大阪Ⅱ
地震発生年月日時分	41.6.29　21:22		

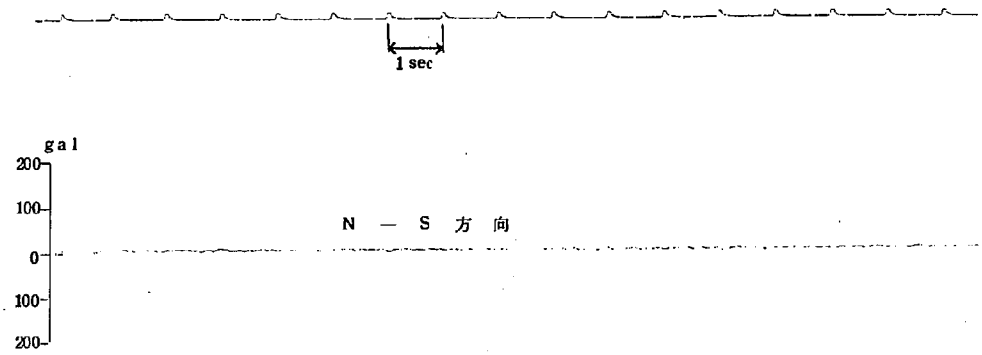


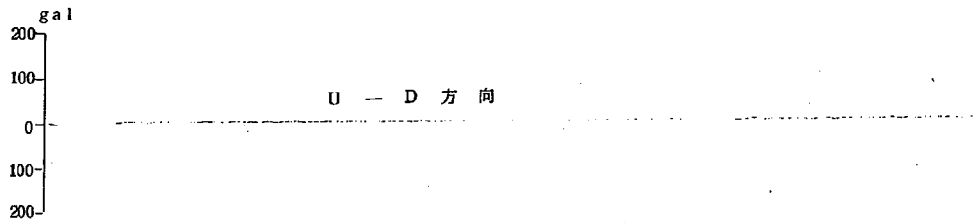


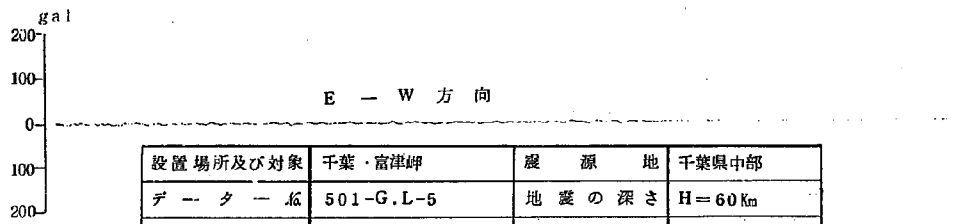




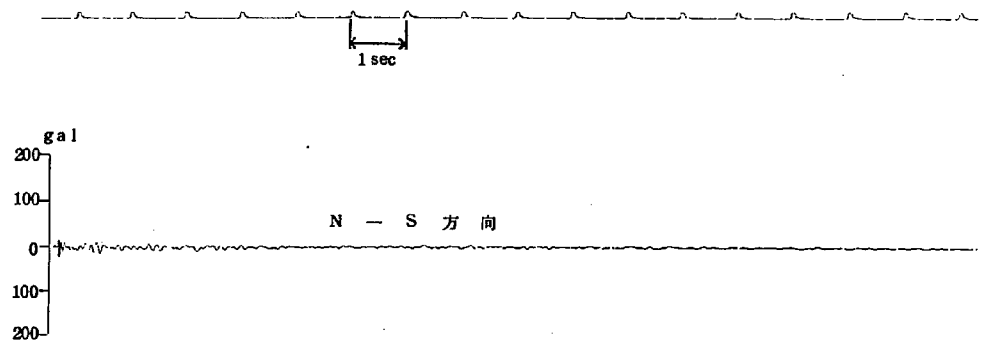
設置場所及び対象	熊本・乙女橋	震源地	不明
データー番	309－P－3	地震の深さ	〃
型式	SMAC－B 2型	観測点付近の震度	〃
地震発生年月日時分	不明		

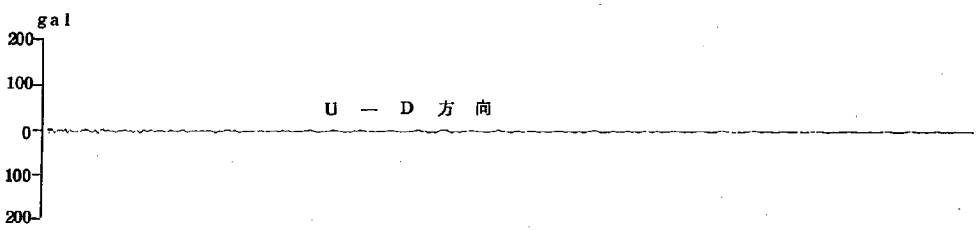


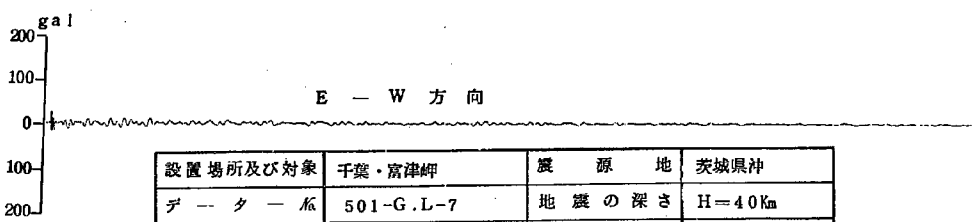




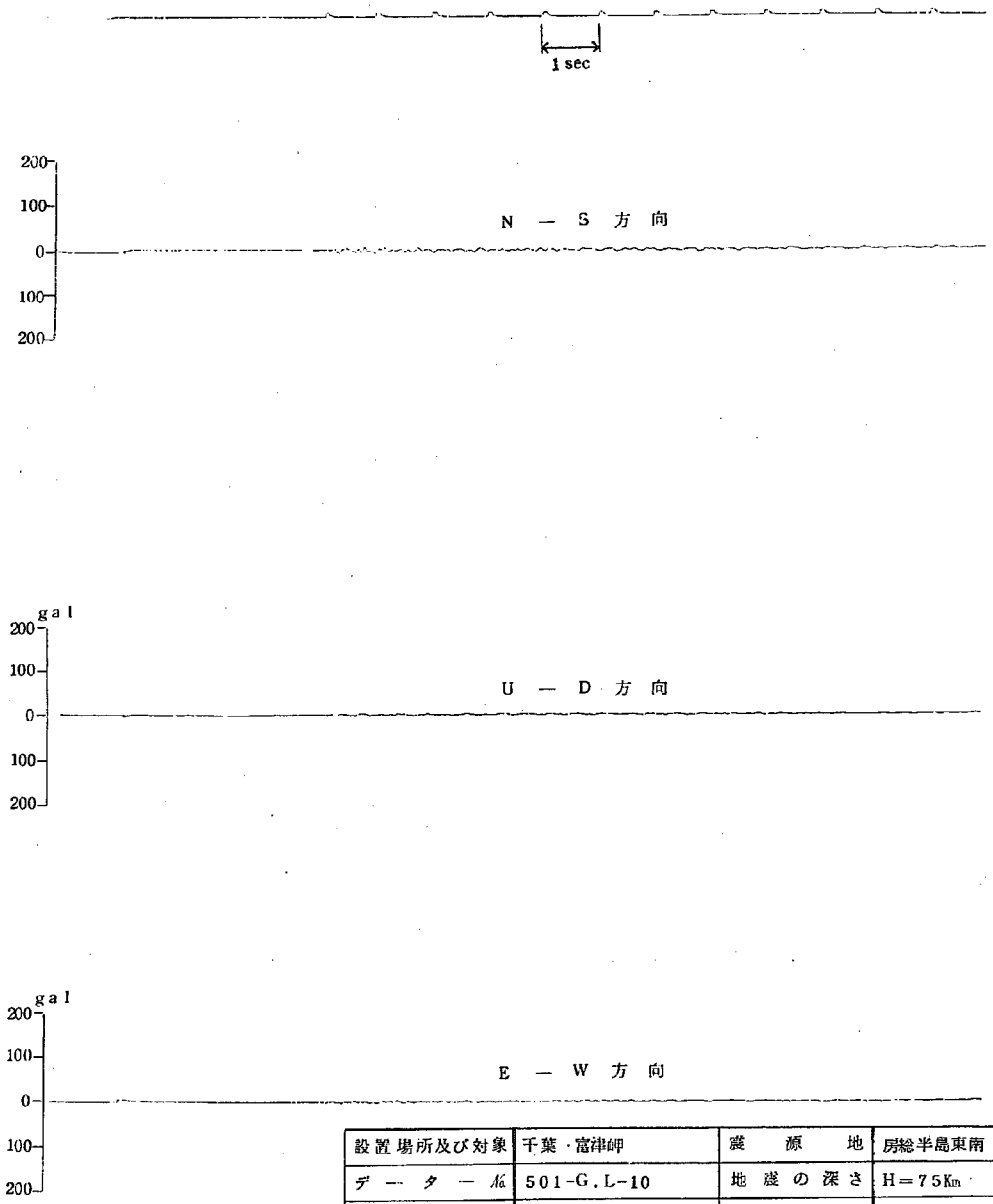
設置場所及び対象	千葉・富津岬	震源地	千葉県中部
データー No.	501-G.L-5	地震の深さ	H＝60Km
型式	SMAC-B2型	観測点付近の震度	銚子Ⅱ，東京Ⅱ
地震発生年月日時分	41.7.14　15:18		



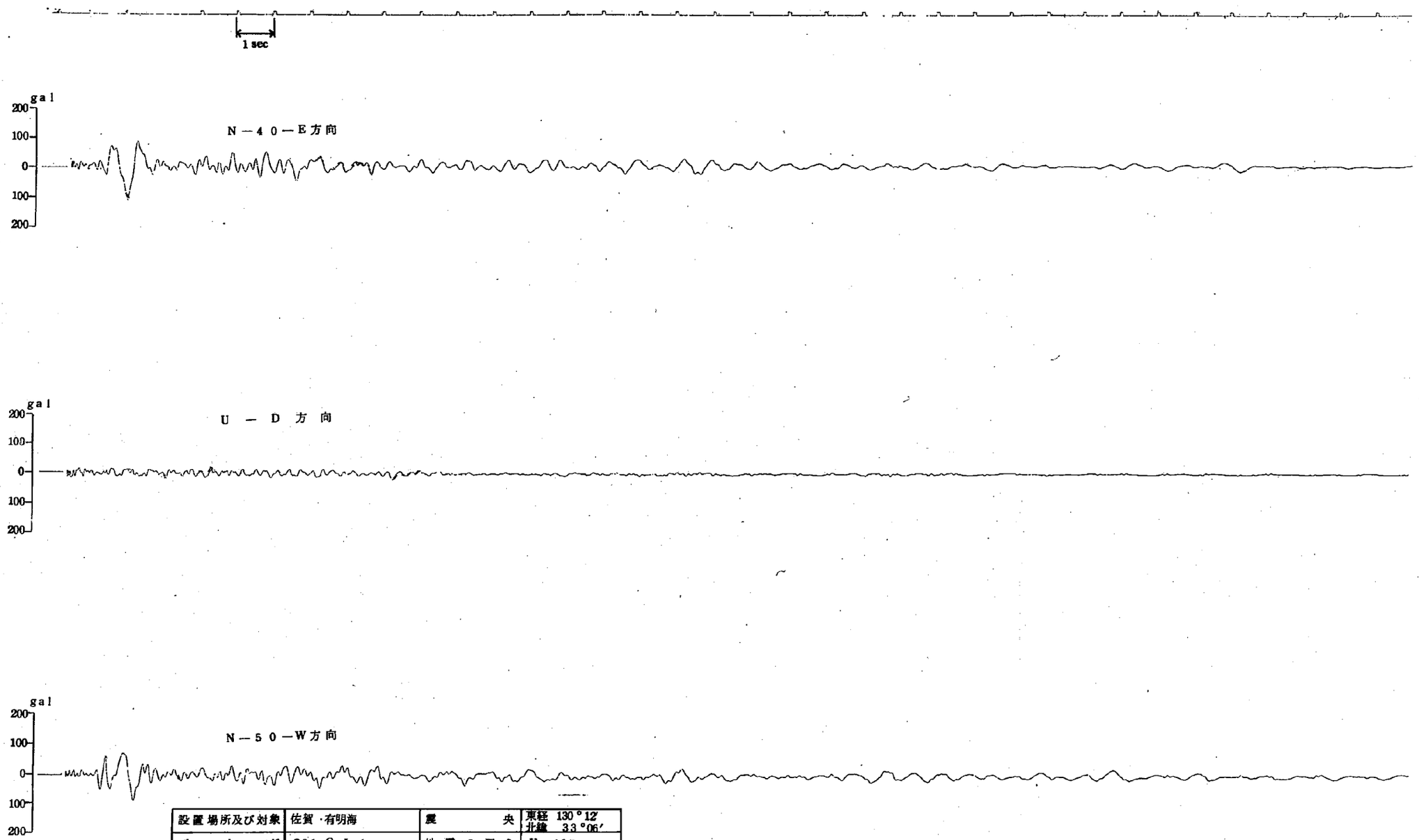




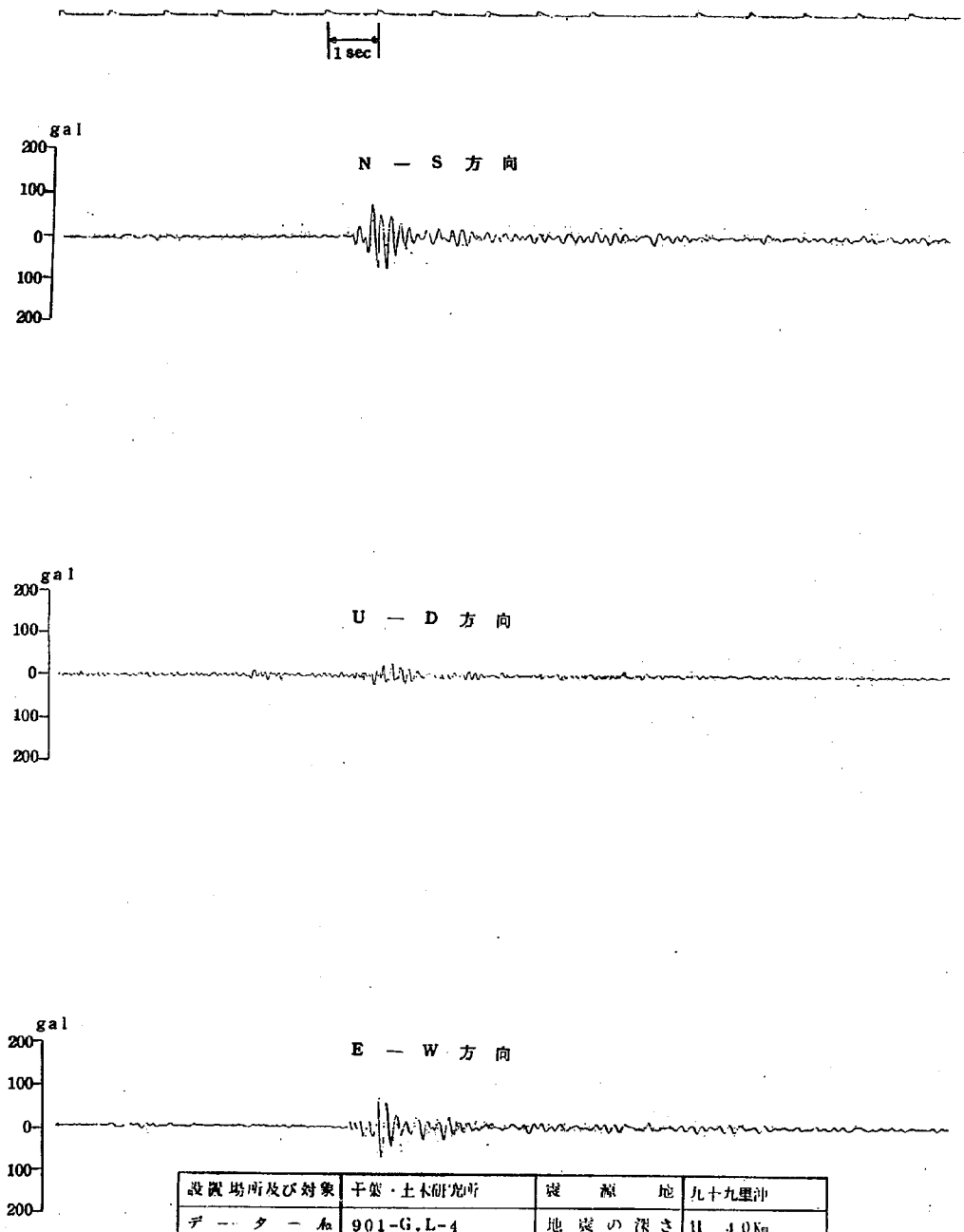
設置場所及び対象	千葉・富津岬	震源地	茨城県沖
データー番	501-G.L-7	地震の深さ	H=40Km
型式	SMAC-B2型	観測点付近の震度	銚子. 水戸 II
地震発生年月日時分	41.8.19 21:46		



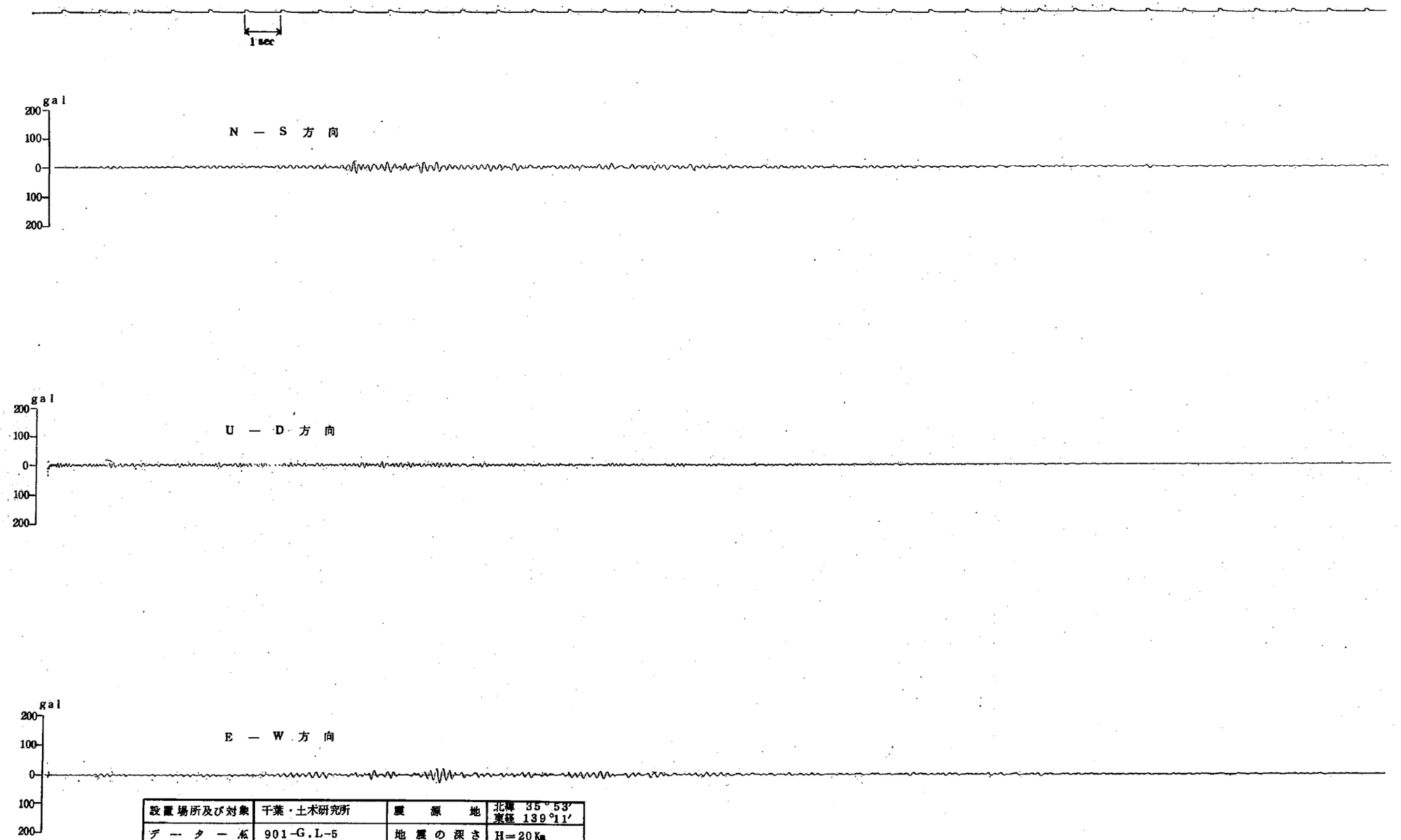
設置場所及び対象	千葉・富津岬	震源地	房総半島東南
データー名	501-G.L-10	地震の深さ	H＝75Km
型式	SMAC－B 2型	観測点付近の震度	銚子Ⅱ，東京Ⅱ
地震発生年月日時分	41.10.28　22：20		



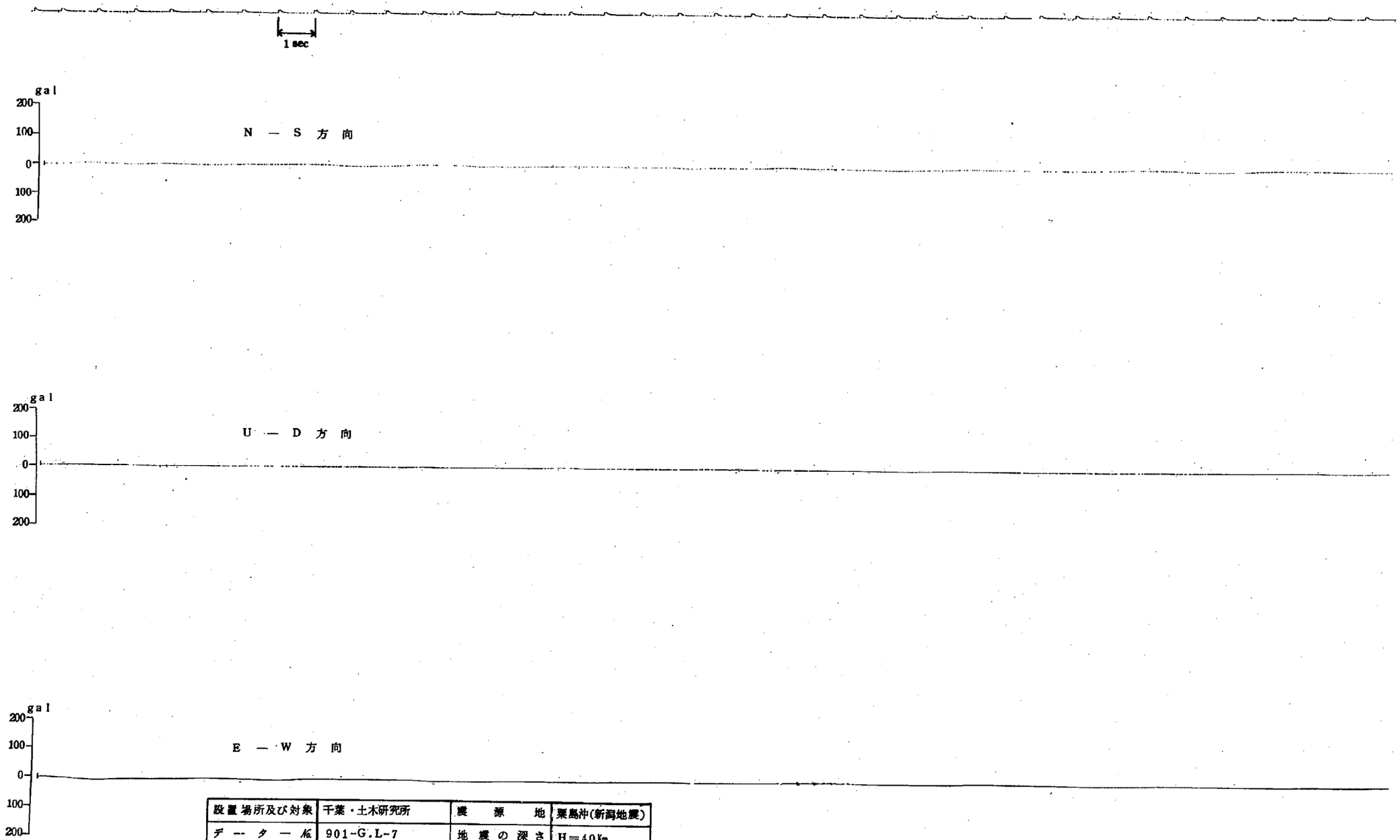
設置場所及び対象	佐賀・有明海	震央	東経 130°12′ 北緯 33°06′
データー名	801-G,L-1	地震の深さ	H＝10Km
型式	SMAC－B2型	マグニチュード	M=6.0
地震発生年月日時分	41.11.12 21:01	各地の震度	佐賀・福岡Ⅱ



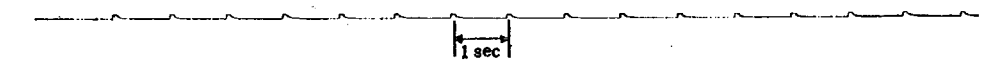
設置場所及び対象	千葉・土木研究所	震源地	九十九里沖
データー No.	901-G.L-4	地震の深さ	11.10km
型式	SMAC-B2型	観測点付近の震度	東京，銚子II
地震発生年月日時分	38.8.4 20:44	マグニチュード	M 5.1

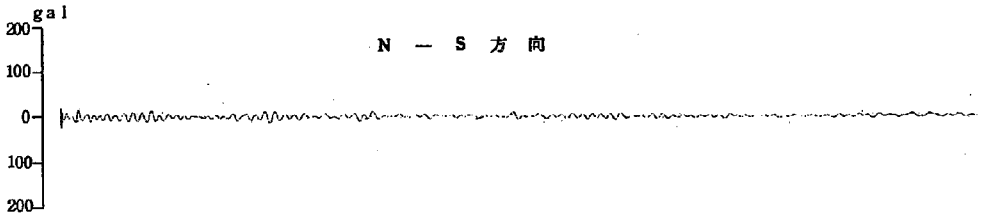


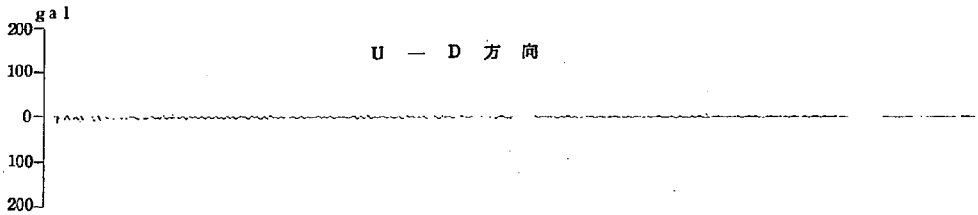
設置場所及び対象	千葉・土木研究所	震源地	北緯 35°53′ 東経 139°11′
データー点	901-G.L-5	地震の深さ	H=20Km
型式	SMAC-B2型	観測点付近の震度	東京Ⅱ，秩父Ⅱ
地震発生年月日時分	38.9.14 19:06	マグニチュード	M=4.9

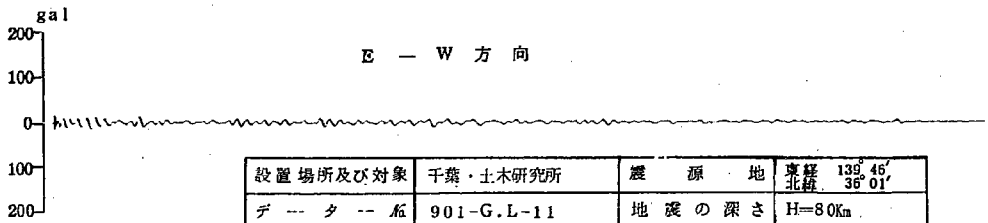


設置場所及び対象	千葉・土木研究所	震源地	粟島沖(新潟地震)
データー No.	901-G.L-7	地震の深さ	H＝40Km
型式	SMAC-B2型	観測点付近の震度	新潟Ⅴ，東京Ⅱ
地震発生年月日時分	39.6.16　13:01	マグニチュード	M＝7.5

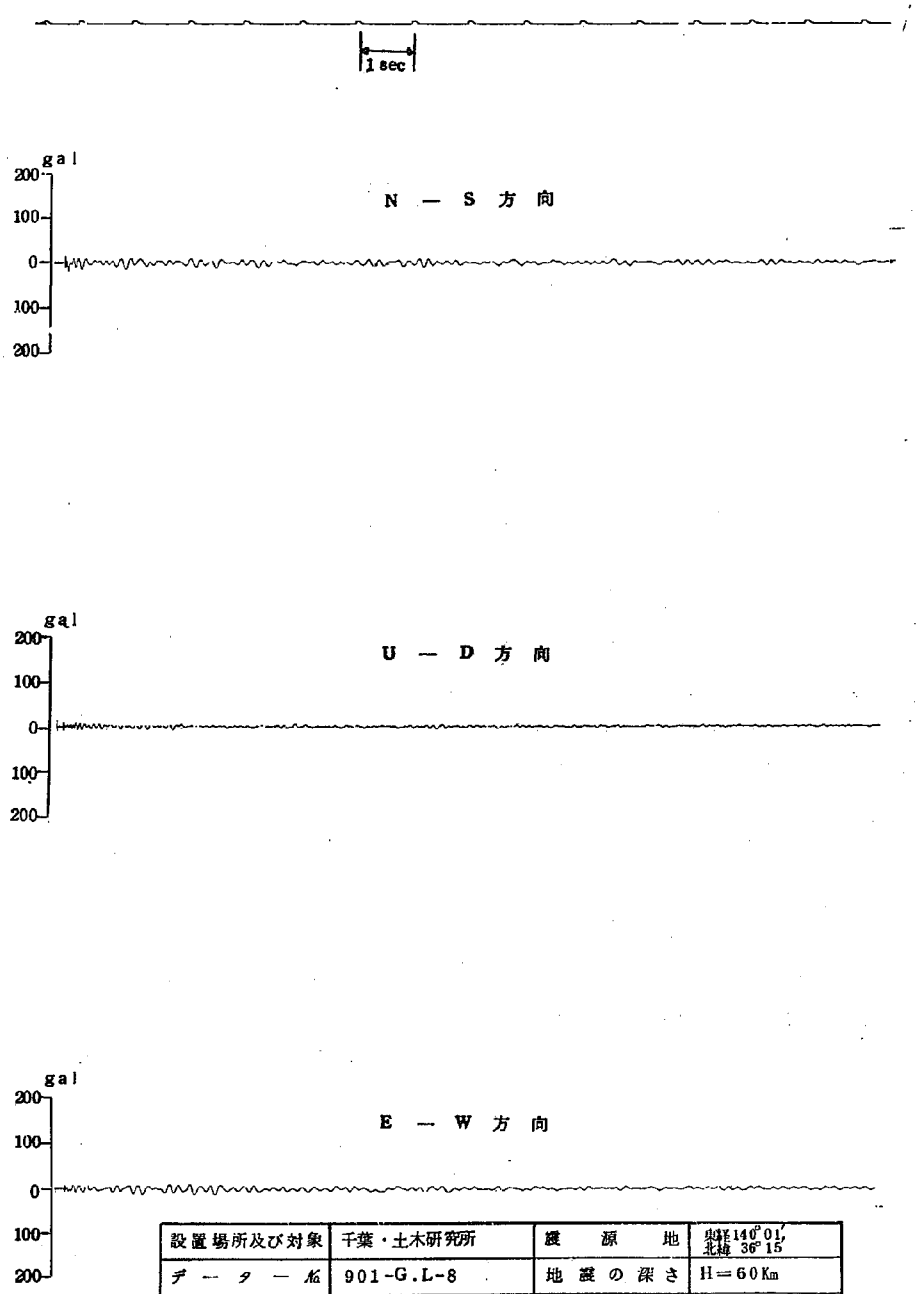




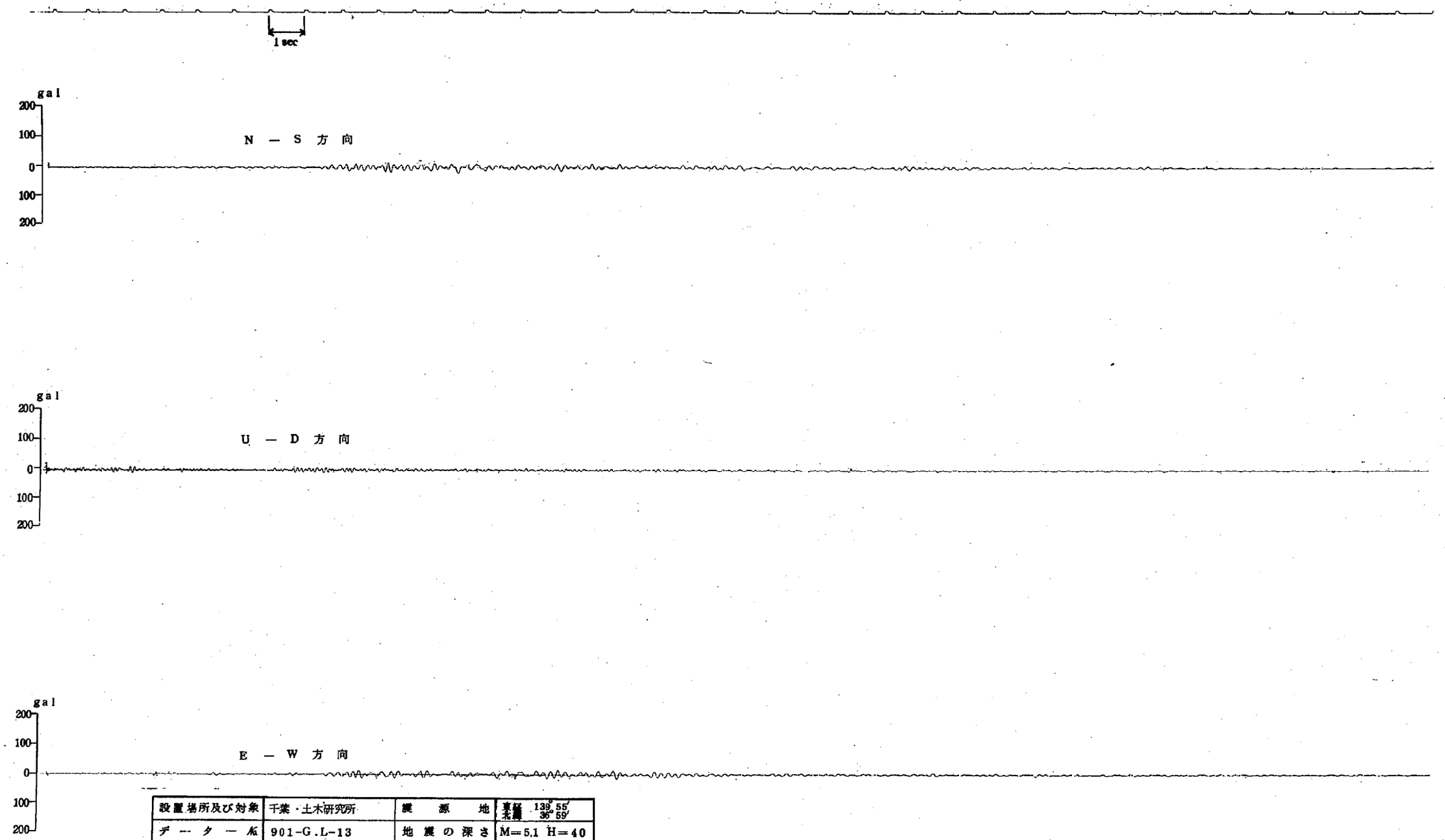




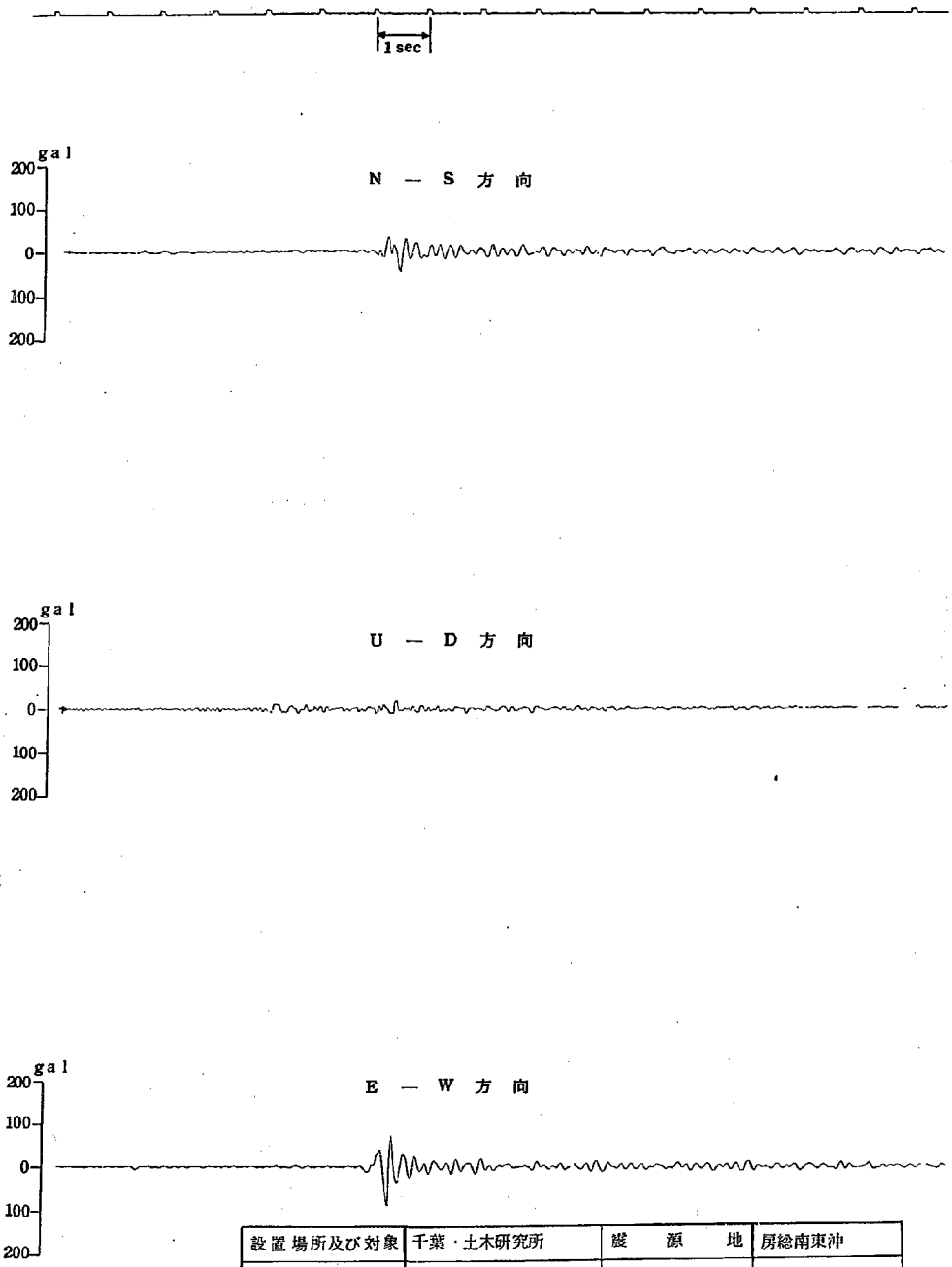
設置場所及び対象	千葉・土木研究所	震源地	東経 139°46′ 北緯 36°01′
データ番号	901-G.L-11	地震の深さ	H=80Km
型式	SMAC-B2型	観測点付近の震度	熊谷Ⅲ 東京・銚子Ⅱ
地震発生年月日時分	40.1.27 8:47		



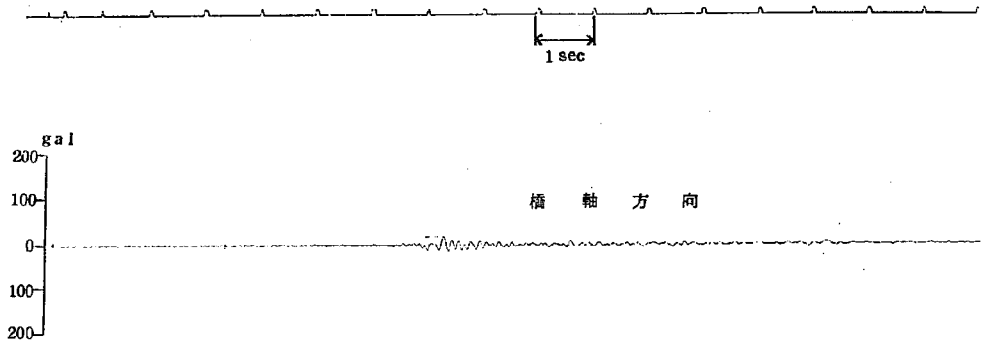
設置場所及び対象	千葉・土木研究所	震源地	東経 140°01′ 北緯 36°15′
データー名	901-G.L-8	地震の深さ	H＝60Km
型式	SMAC－B2型	観測点付近の震度	水戸Ⅱ，東京Ⅱ
地震発生年月日時分	39.6.22　11：20	マグニチュード	M＝5.1

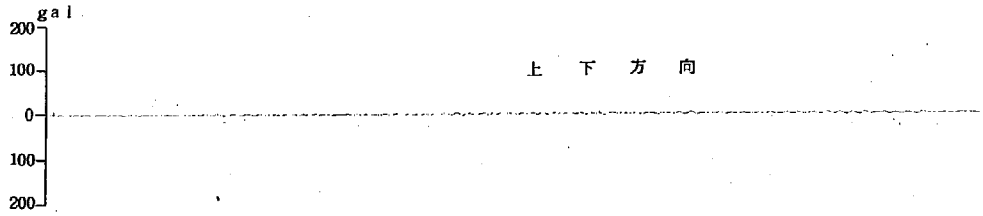


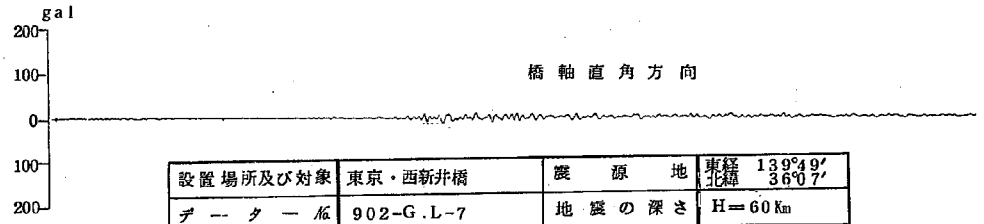
設置場所及び対象	千葉・土木研究所	震源地	東経 139° 55′ 北緯 36° 59′
データー番	901-G.L-13	地震の深さ	M=5.1 H=40
型式	SMAC-B2型	観測点付近の震度	銚子Ⅱ 東京Ⅱ
地震発生年月日時分	40.4.13 00:50		



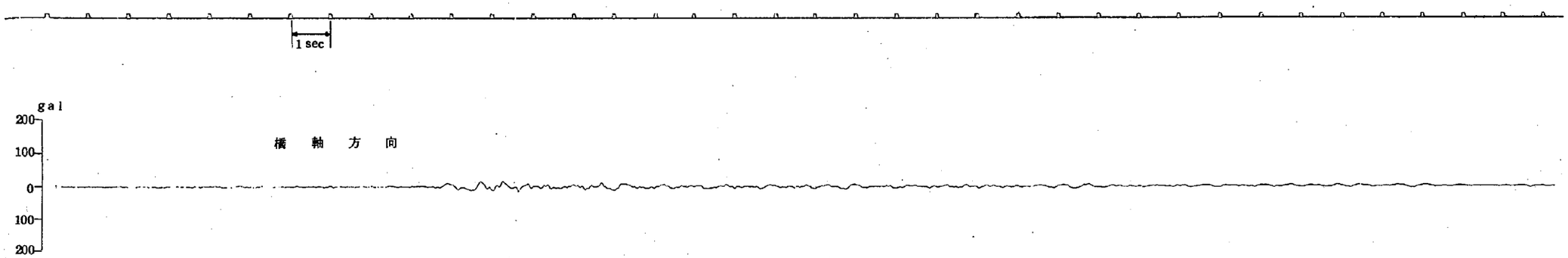
設置場所及び対象	千葉・土木研究所	震源地	房総南東沖
データー No	901-G.L-17	地震の深さ	H＝40Km
型式	SMAC－B2型	観測点付近の震度	東京Ⅲ，銚子Ⅱ
地震発生年月日時分	41.10.8　21：02		

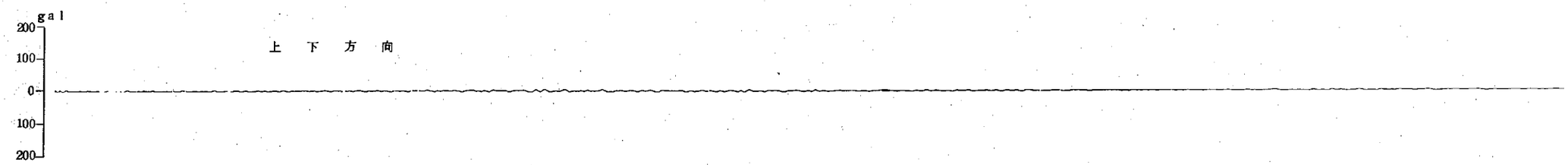


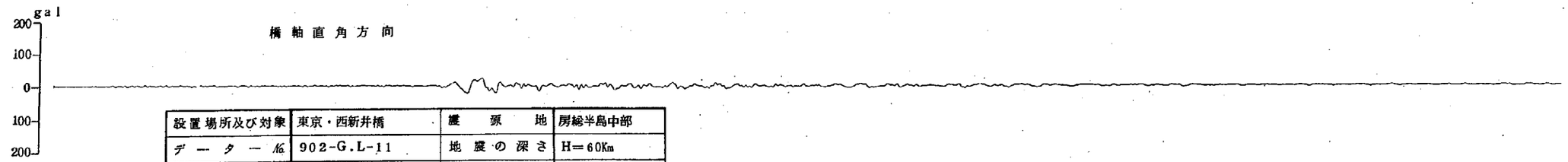




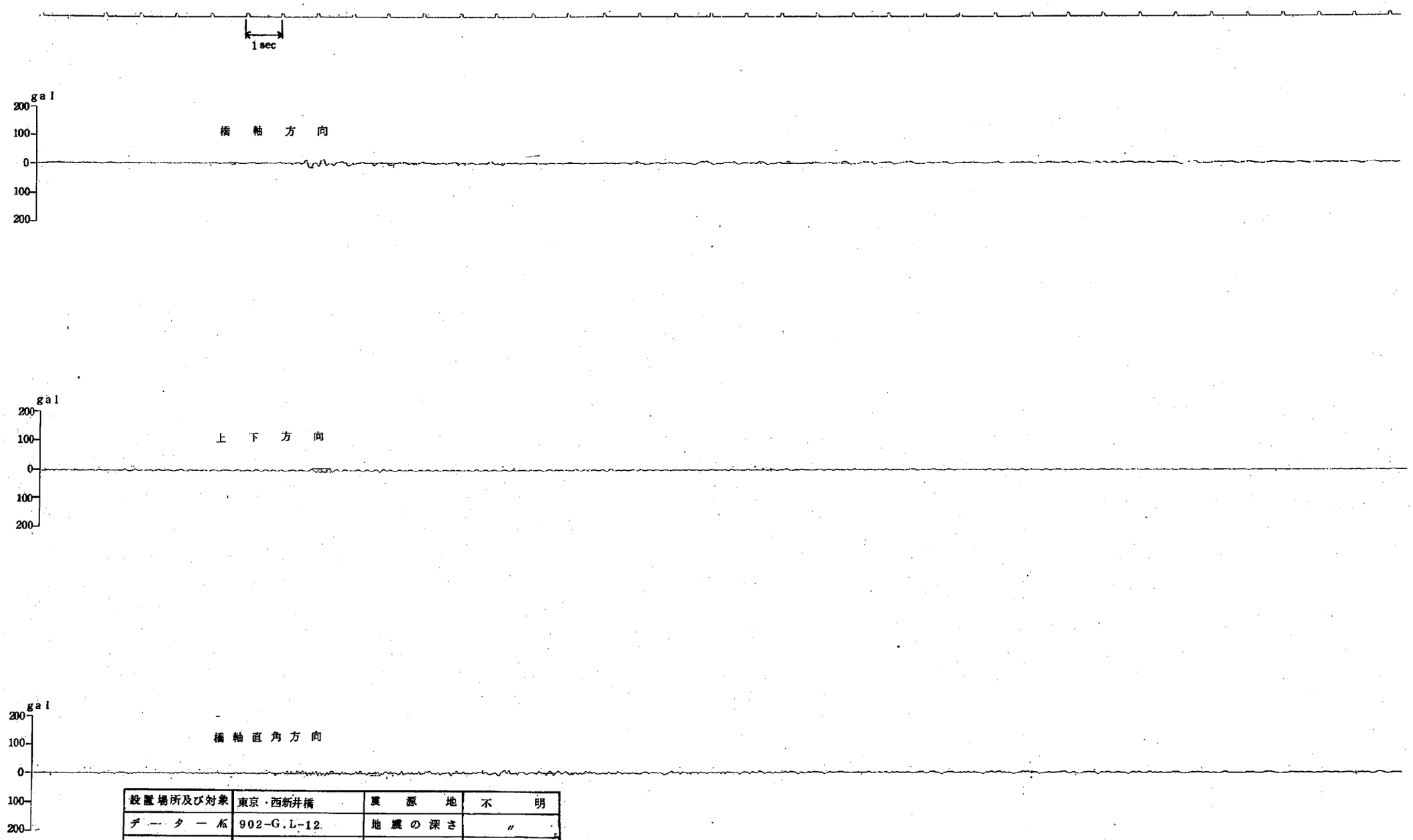
設置場所及び対象	東京・西新井橋	震源地	東経 139°49′ 北緯 36°07′
データー番	902-G.L-7	地震の深さ	H＝60Km
型式	SMAC－B2型	観測点付近の震度	水戸Ⅱ，東京Ⅱ
地震発生年月日時分	39.11.15　9:55	マグニチュード	M＝5.1



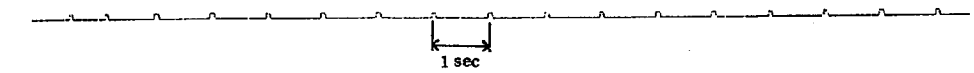


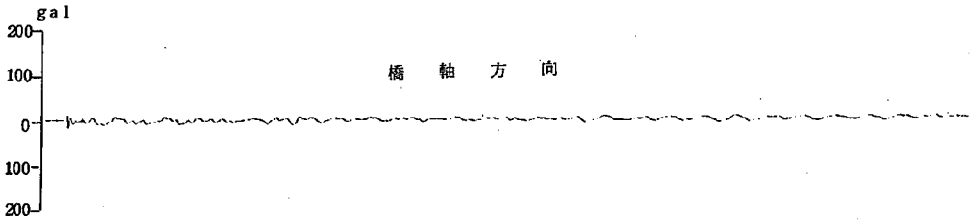


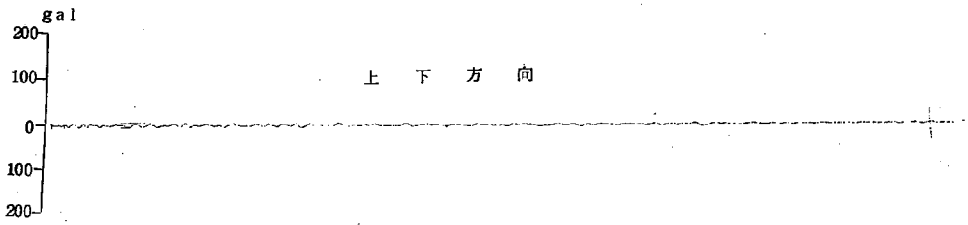
設置場所及び対象	東京・西新井橋	震源地	房総半島中部
データー番	902-G.L-11	地震の深さ	H＝60Km
型式	SMAC－B 2型	観測点付近の震度	水戸Ⅱ，銚子Ⅱ
地震発生年月日時分	40.1.24　6：51	マグニチュード	M＝5.2

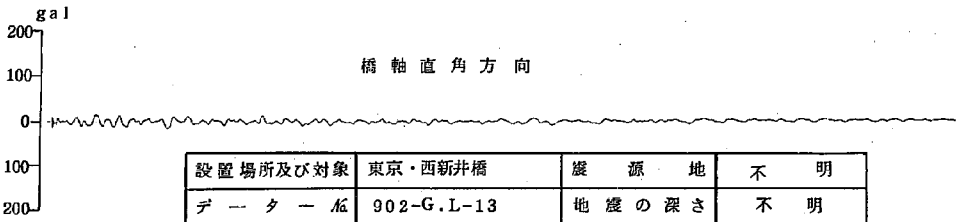


設置場所及び対象	東京・西新井橋	震源地	不明
データーNo.	902-G.L-12	地震の深さ	〃
型式	SMAC-B2型	観測点付近の震度	〃
地震発生年月日時分	不明		

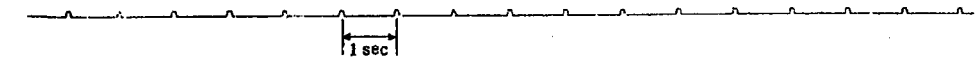


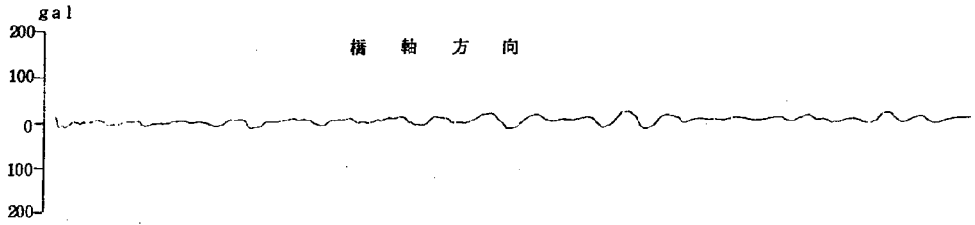


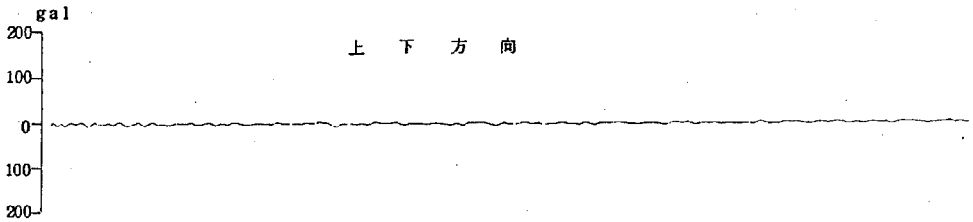


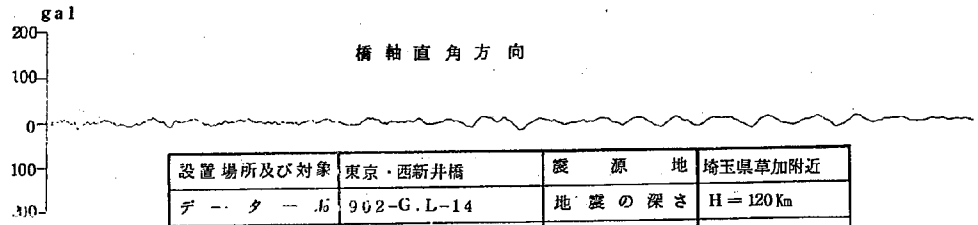


設置場所及び対象	東京・西新井橋	震源地	不明
データー№	902-G.L-13	地震の深さ	不明
型式	SMAC－B2型	観測点付近の震度	不明
地震発生年月日時分	不明		

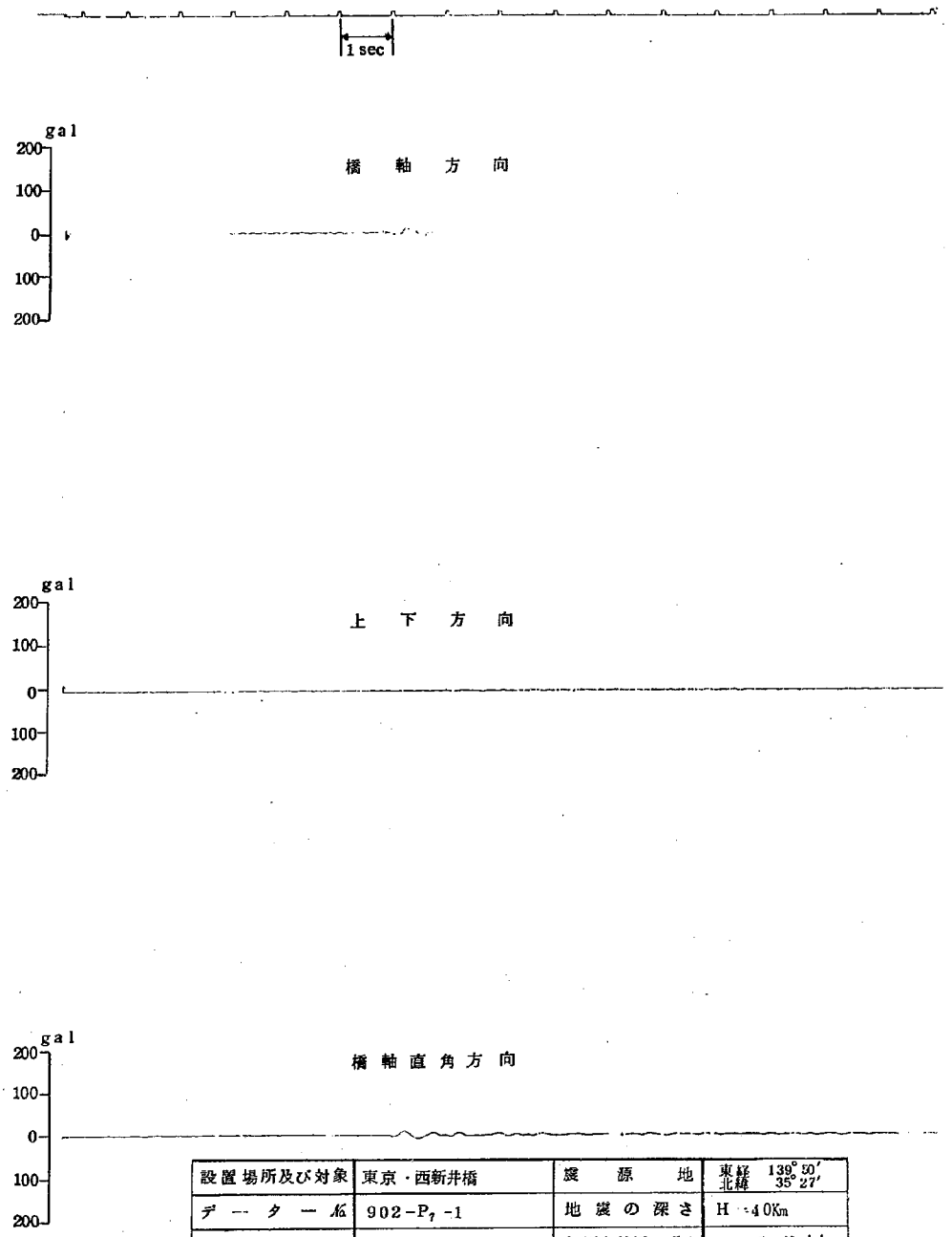




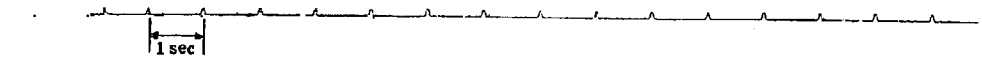


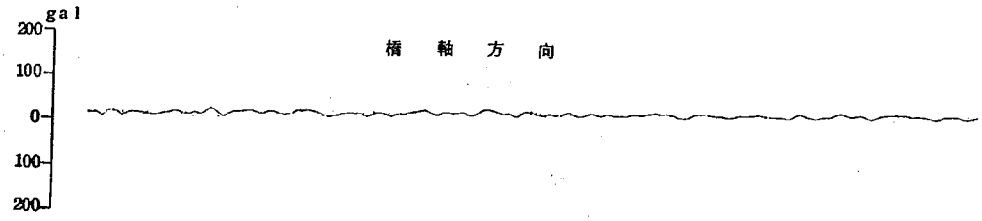


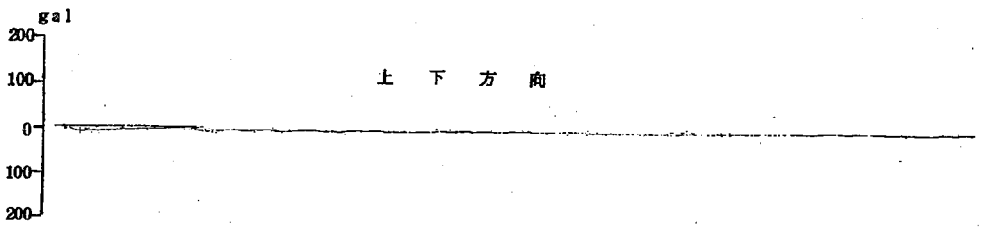
設置場所及び対象	東京・西新井橋	震源地	埼玉県草加附近
データー No	962-G.L-14	地震の深さ	H＝120Km
型式	SMAC－B2型	観測点付近の震度	東京Ⅲ，銚子Ⅱ
地震発生年月日時分	40.5.31　17:38		

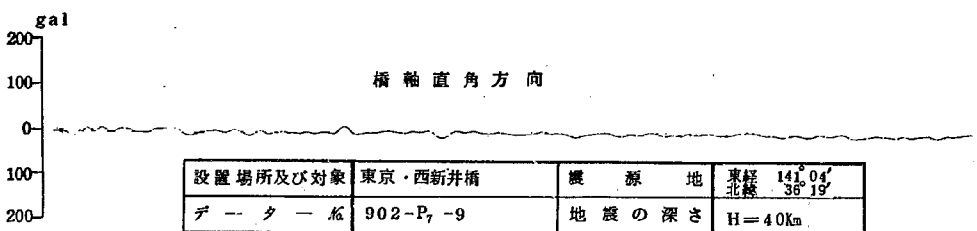


設置場所及び対象	東京・西新井橋	震源地	東経 139° 50′ 北緯 35° 27′
データー名	902-P_7-1	地震の深さ	H ≒40Km
型式	SMAC-B2型	観測点付近の震度	東京Ⅱ 銚子Ⅰ
地震発生年月日時分	37.9.24 18:23	マグニチュード	M≒4.9

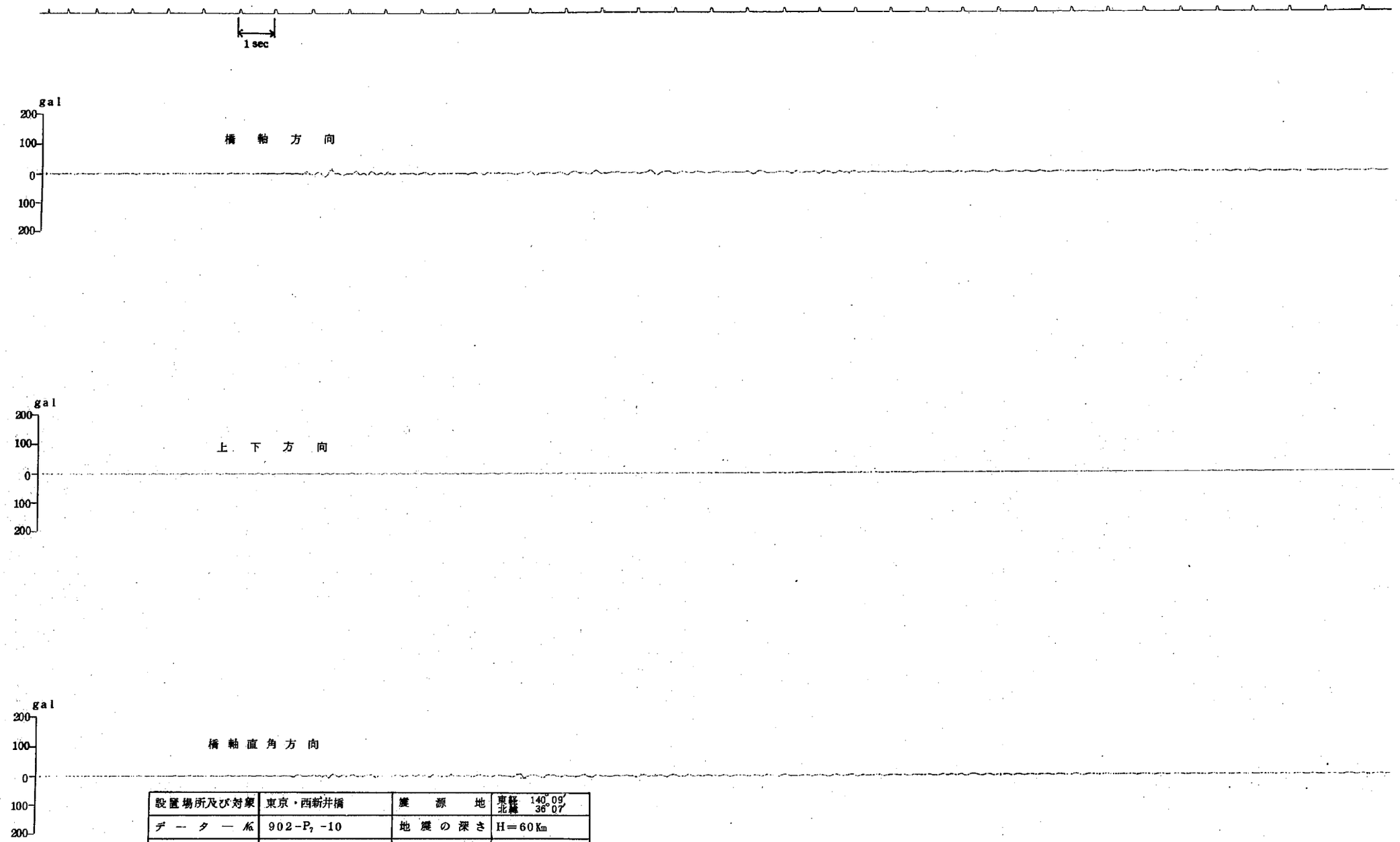




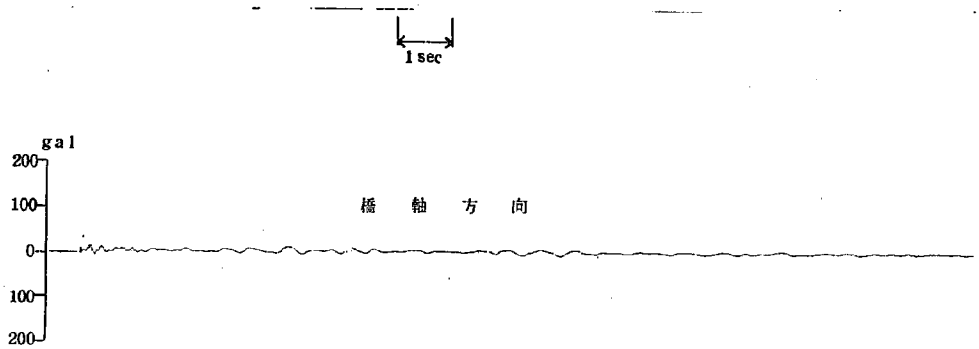


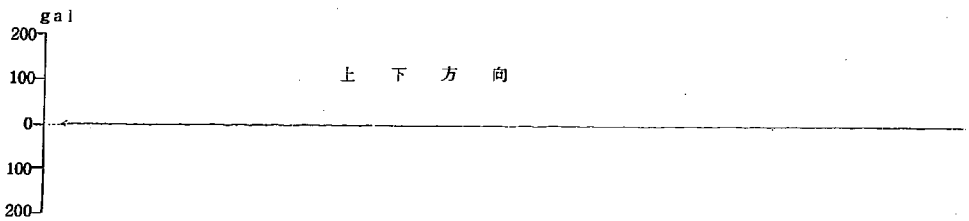


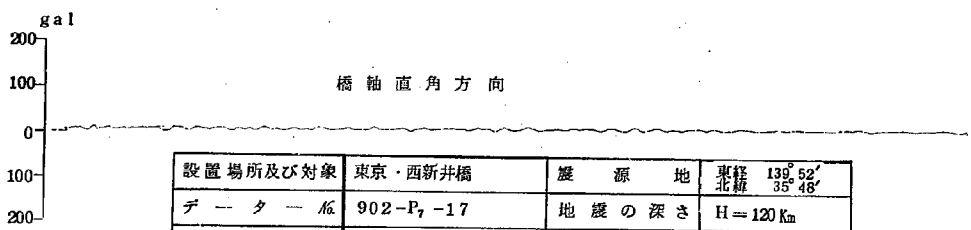
設置場所及び対象	東京・西新井橋	震源地	東経 141°04′ 北緯 36°19′
データー名	902-P_7-9	地震の深さ	H＝40Km
型式	SMAC－B2型	観測点付近の震度	東京Ⅱ，銚子Ⅱ
地震発生年月日時分	39.3.25　11：43	マグニチュード	M＝5.3



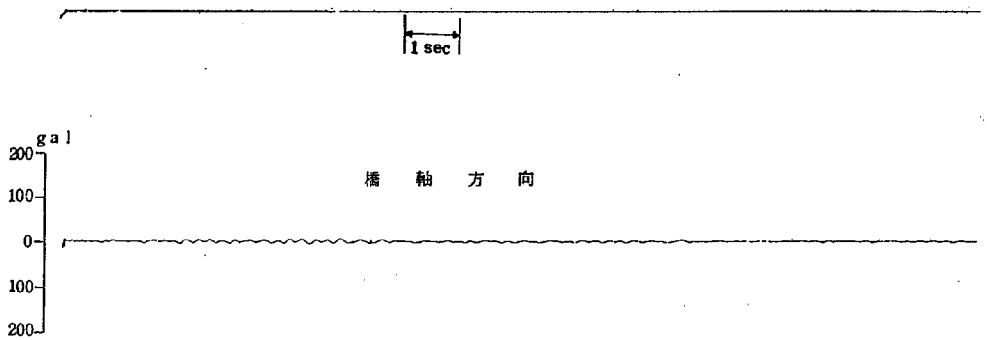
設置場所及び対象	東京・西新井橋	震源地	東経 140°09′ 北緯 36°07′
データ No.	902-P_7-10	地震の深さ	H=60Km
型式	SMAC-B2型	観測点付近の震度	東京 II，銚子 I
地震発生年月日時分	39.4.5 10:45	マグニチュード	M=4.9

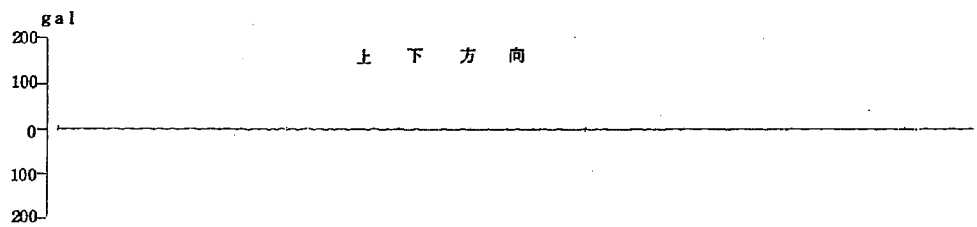


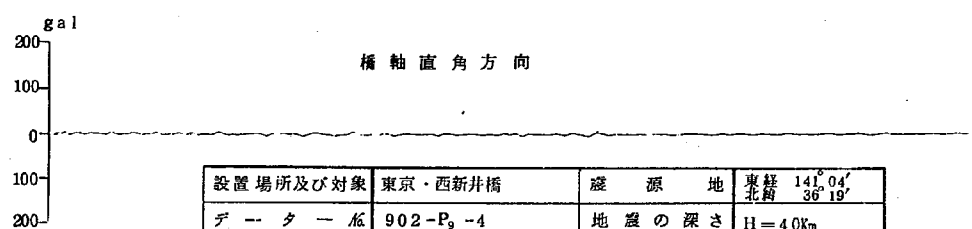




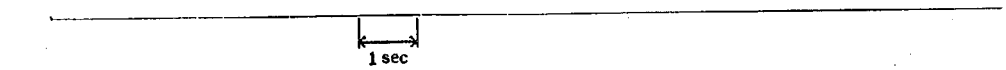
設置場所及び対象	東京・西新井橋	震源地	東経 139° 52′ 北緯 35° 48′
データ番号	902-P_7-17	地震の深さ	H＝120 Km
型式	SMAC-B 2型	観測点付近の震度	東京Ⅲ，銚子Ⅱ
地震発生年月日時分	40.5.31 17:38		

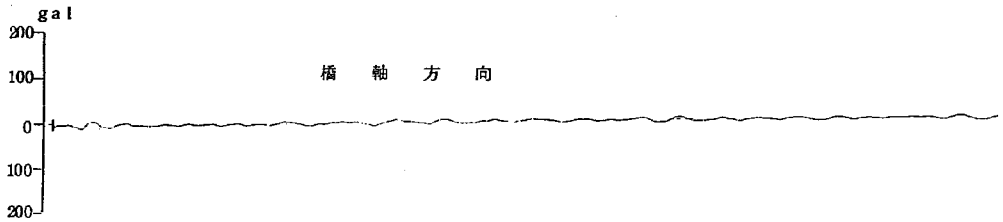


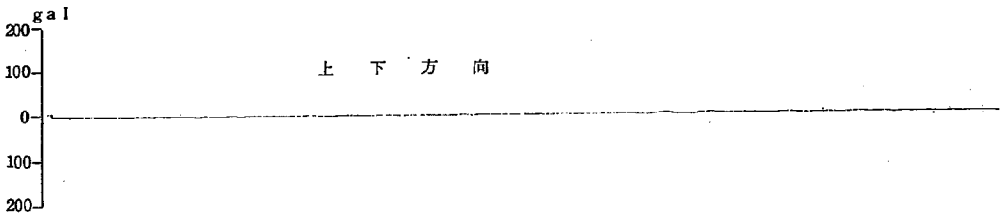


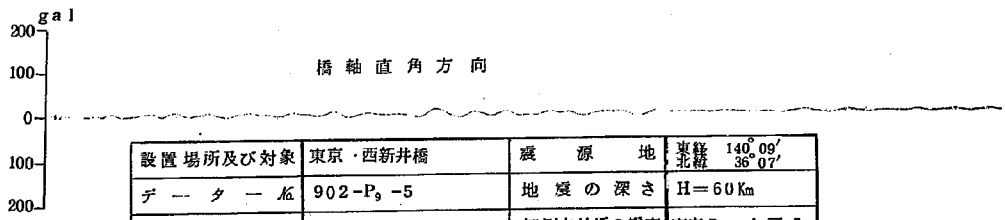


設置場所及び対象	東京・西新井橋	震源地	東経 141°04′ 北緯 36°19′
データー番	902-P_9-4	地震の深さ	H＝40Km
型式	SMAC－B2型	観測点付近の震度	東京Ⅱ 銚子Ⅱ
地震発生年月日時分	39.3.25 11：43	マグニチュード	M＝5.3

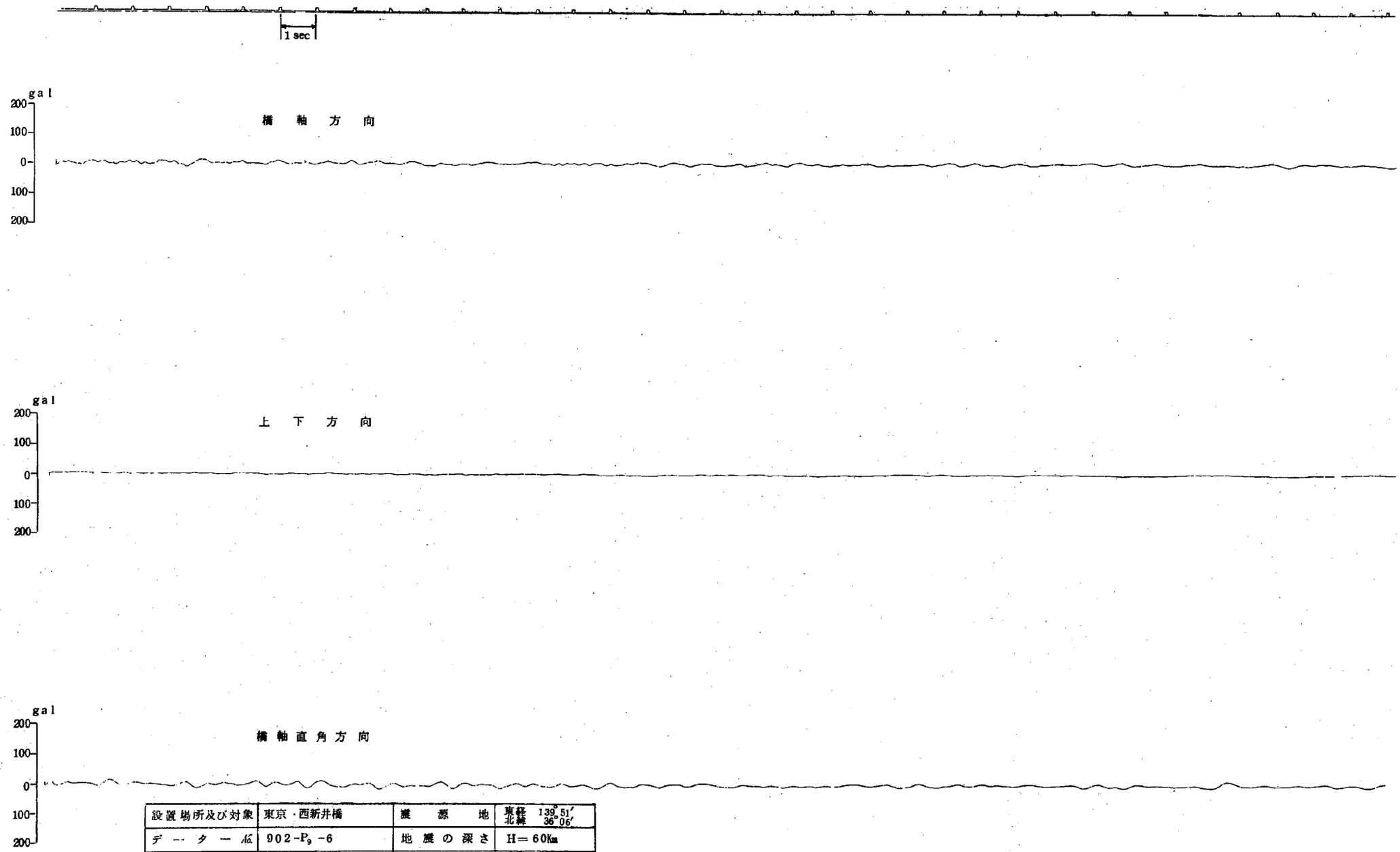




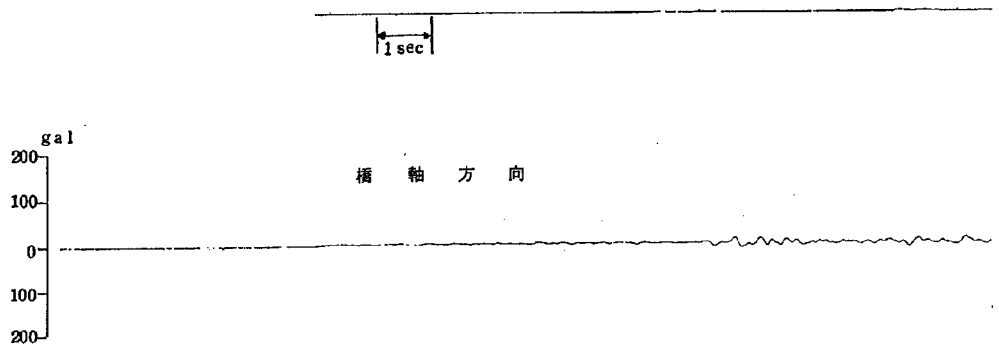


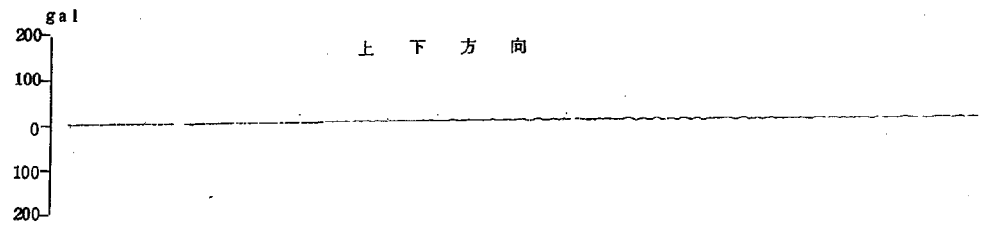


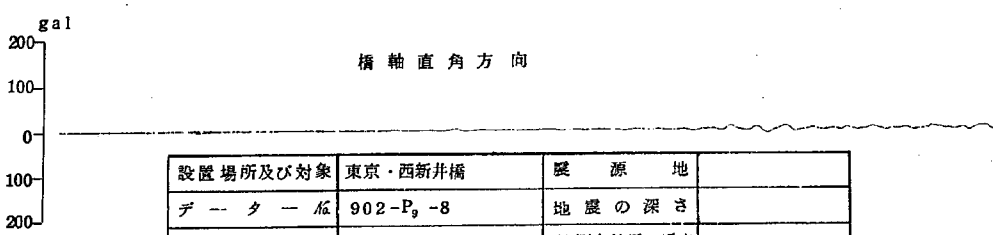
設置場所及び対象	東京・西新井橋	震源地	東経 140°09′ 北緯 36°07′
データー名	902-P_9-5	地震の深さ	H＝60Km
型式	SMAC－B2型	観測点付近の震度	東京Ⅲ　水戸Ⅱ
地震発生年月日時分	39.4.5　10：45	マグニチュード	M＝4.9



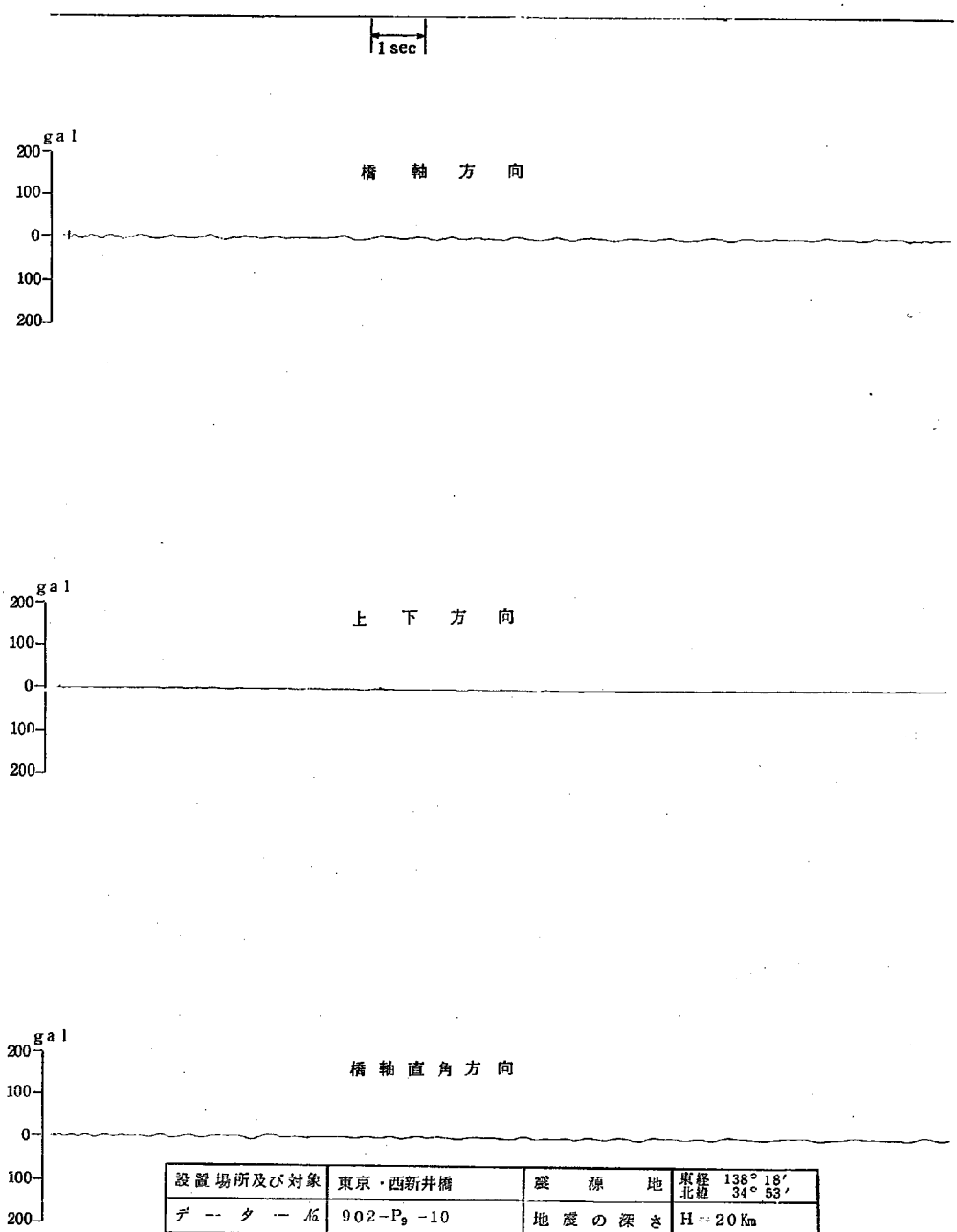
設置場所及び対象	東京・西新井橋	震源地	東経 139°51′ 北緯 36°06′
データー番	902-P_9-6	地震の深さ	H＝60Km
型式	SMAC-B2型	観測点付近の震度	東京Ⅲ 銚子Ⅲ
地震発生年月日時分	39.10.1 4：14	マグニチュード	M＝4.9



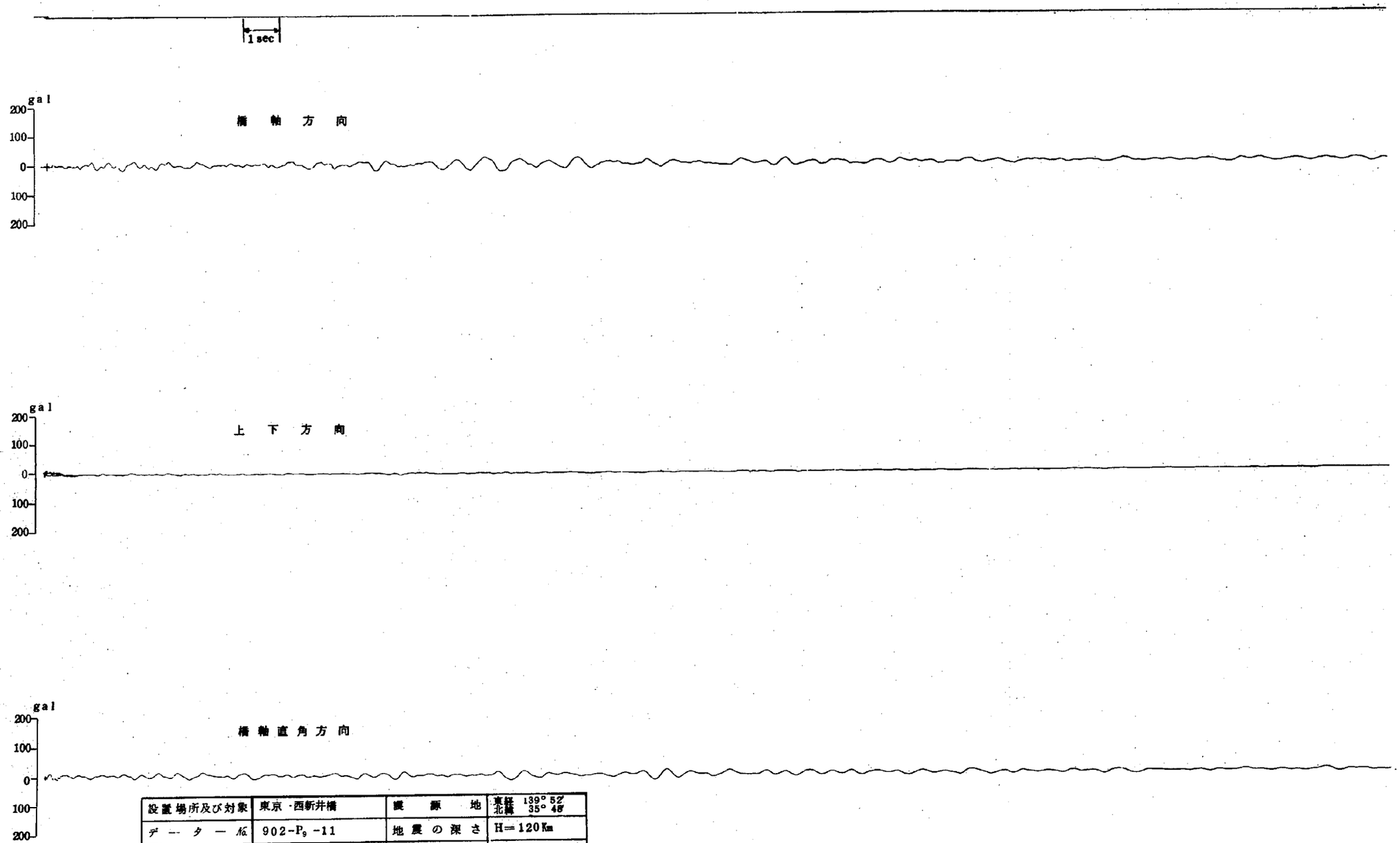




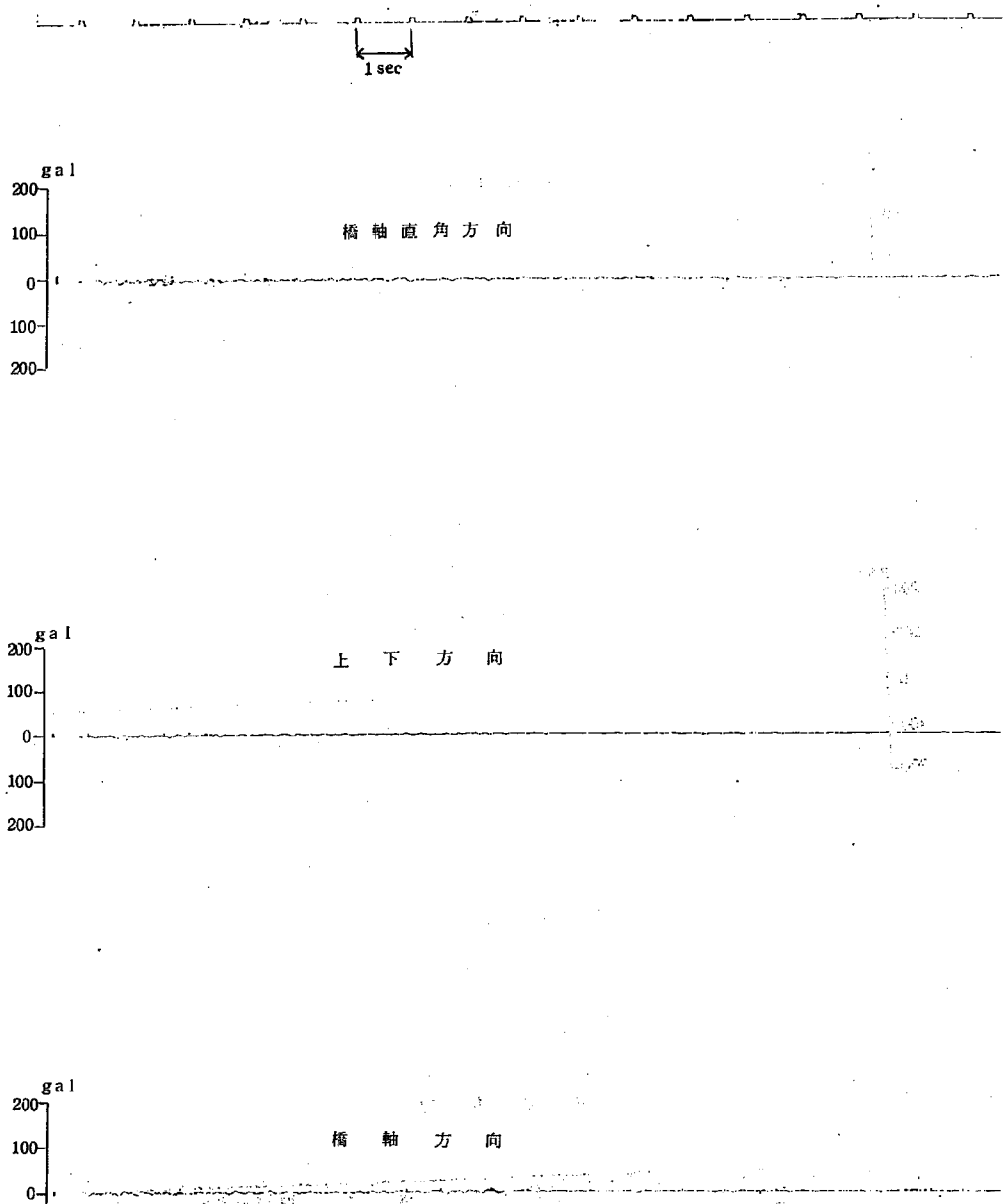
設置場所及び対象	東京・西新井橋	震源地	
データー番	902-P_9-8	地震の深さ	
型式	SMAC-B2型	観測点付近の震度	
地震発生年月日時分	不明		



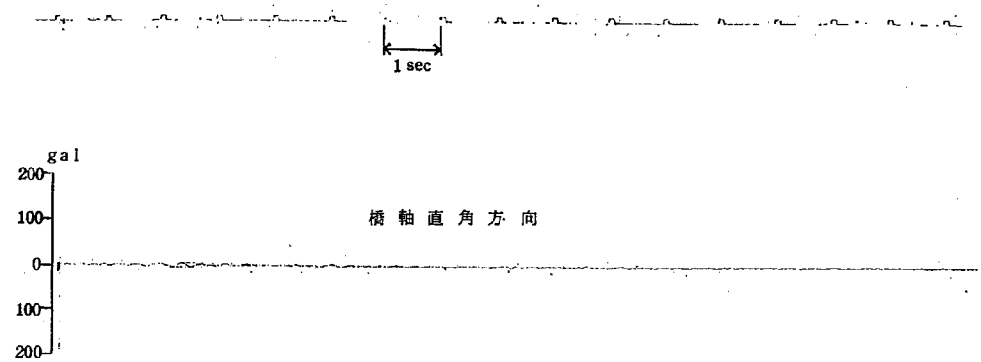
設置場所及び対象	東京・西新井橋	震源地	東経 138° 18′ 北緯 34° 53′
データー名	902-P_9-10	地震の深さ	H=20Km
型式	SMAC-B2型	観測点付近の震度	東京Ⅲ 浜松Ⅳ
地震発生年月日時分	40.4.20 8:41	マグニチュード	M=6.1

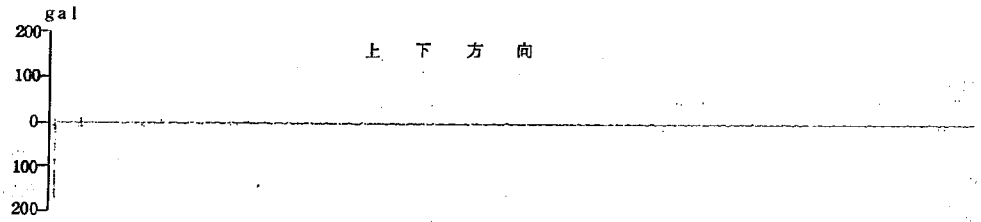


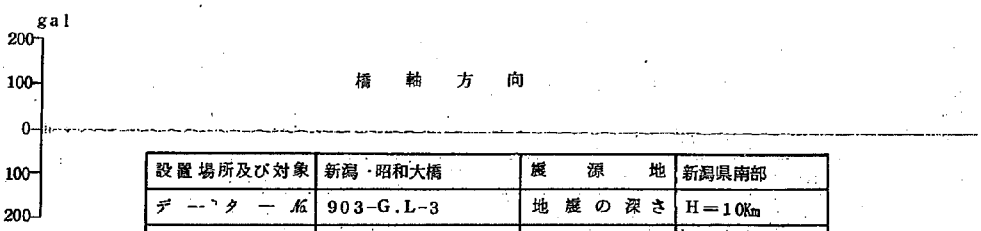
設置場所及び対象	東京・西新井橋	震源地	東経 139° 52′ 北緯 35° 48′
データー No.	902-P_9-11	地震の深さ	H=120Km
型式	SMAC-B2型	観測点付近の震度	東京Ⅱ 銚子Ⅱ
地震発生年月日時分	40.5.31 17:38		



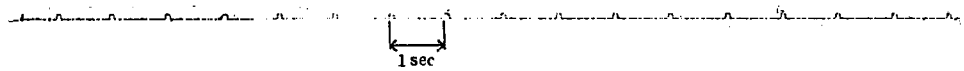
設置場所及び対象	新潟・昭和大橋（橋脚）	震源地	佐渡島付近
データー No.	903-G.L-1	地震の深さ	H＝0
型式	SMAC－B 2型	観測点付近の震度	秋田Ⅳ，新潟Ⅱ
地震発生年月日時分	41.1.20　10：44	マグニチュード	M＝5.3

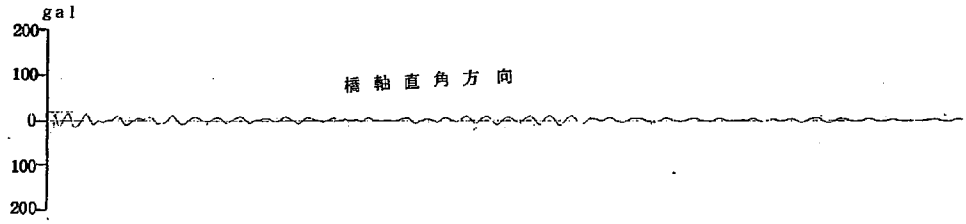


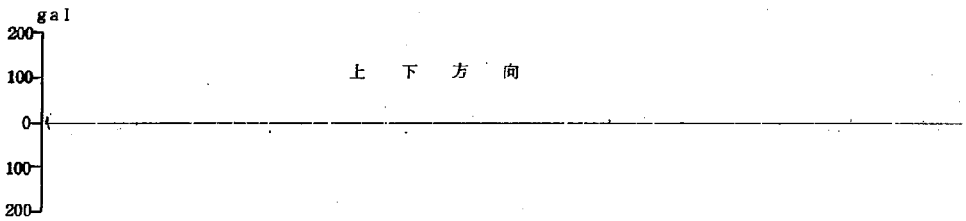


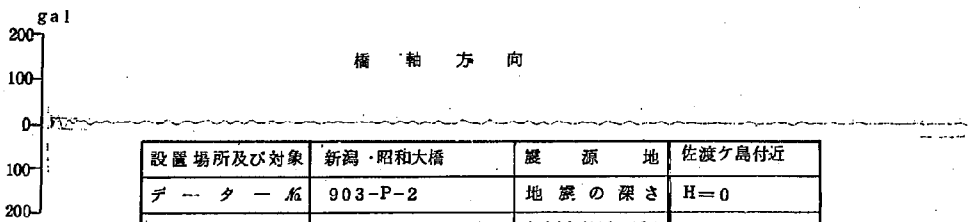


設置場所及び対象	新潟・昭和大橋	震源地	新潟県南部
データー名	903-G.L-3	地震の深さ	H＝10Km
型式	SMAC－B2型	観測点付近の震度	新潟Ⅰ　高田Ⅱ
地震発生年月日時分	41.9.8　1:24		

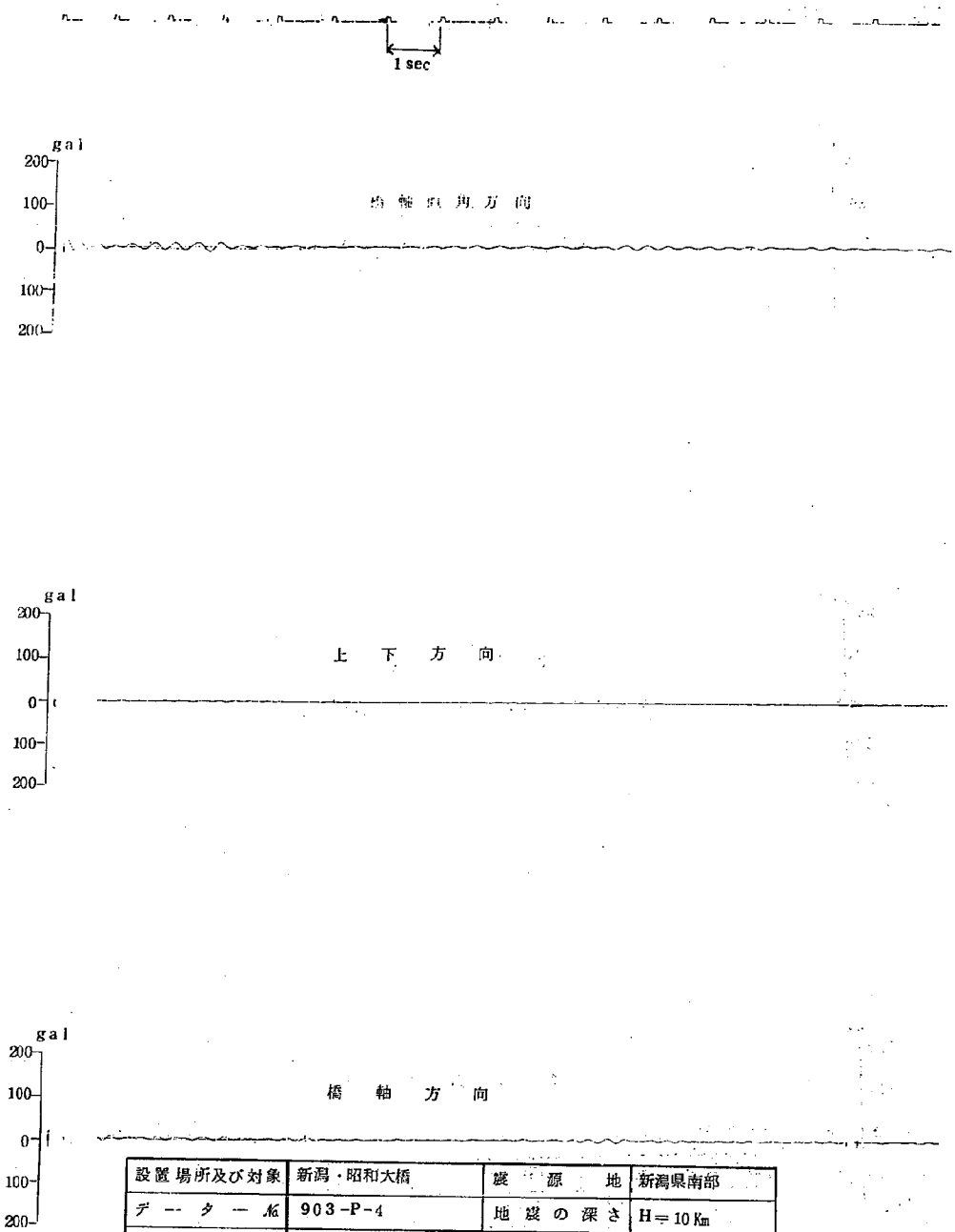




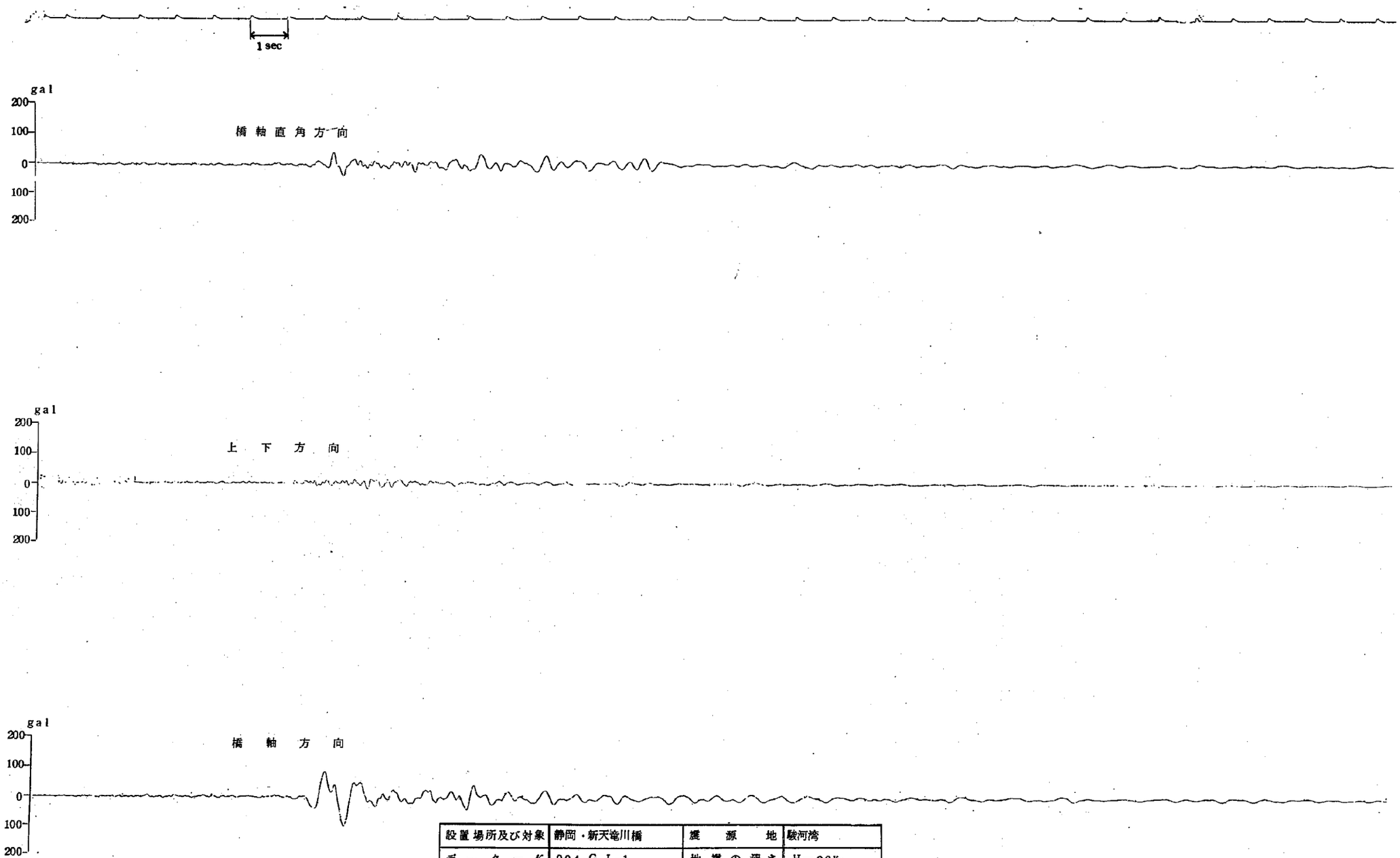




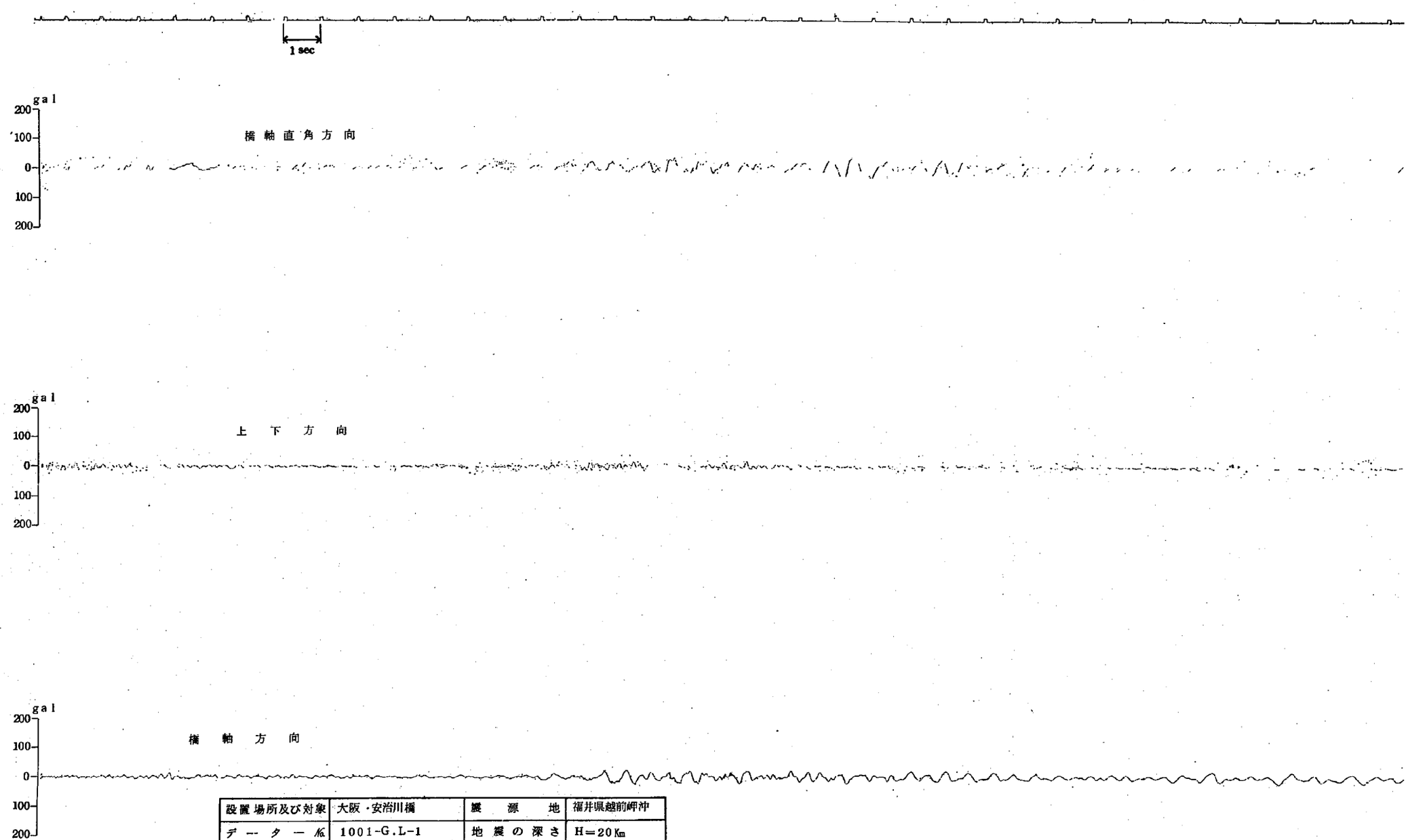
設置場所及び対象	新潟・昭和大橋	震源地	佐渡ケ島付近
データー番	903-P-2	地震の深さ	H＝0
型式	SMAC－B2型	観測点付近の震度	秋田Ⅳ，新潟Ⅱ
地震発生年月日時分	41.1.20　10：44	マグニチュード	M＝5.3



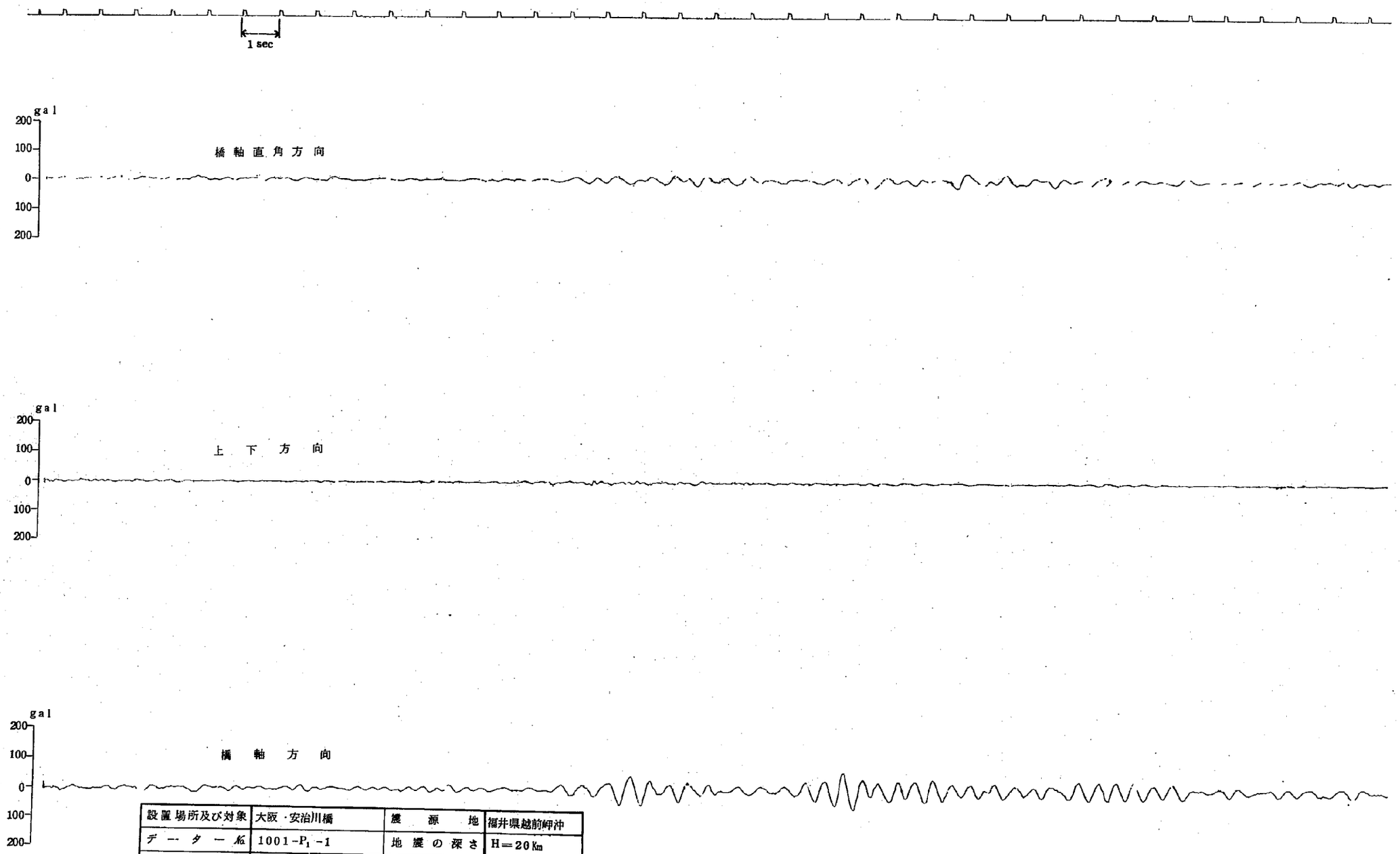
設置場所及び対象	新潟・昭和大橋	震源地	新潟県南部
データー No.	903-P-4	地震の深さ	H≒10 Km
型式	SMAC-B 2型	観測点付近の震度	新潟Ⅰ 高田Ⅱ
地震発生年月日時分	41.9. 8 1:24		



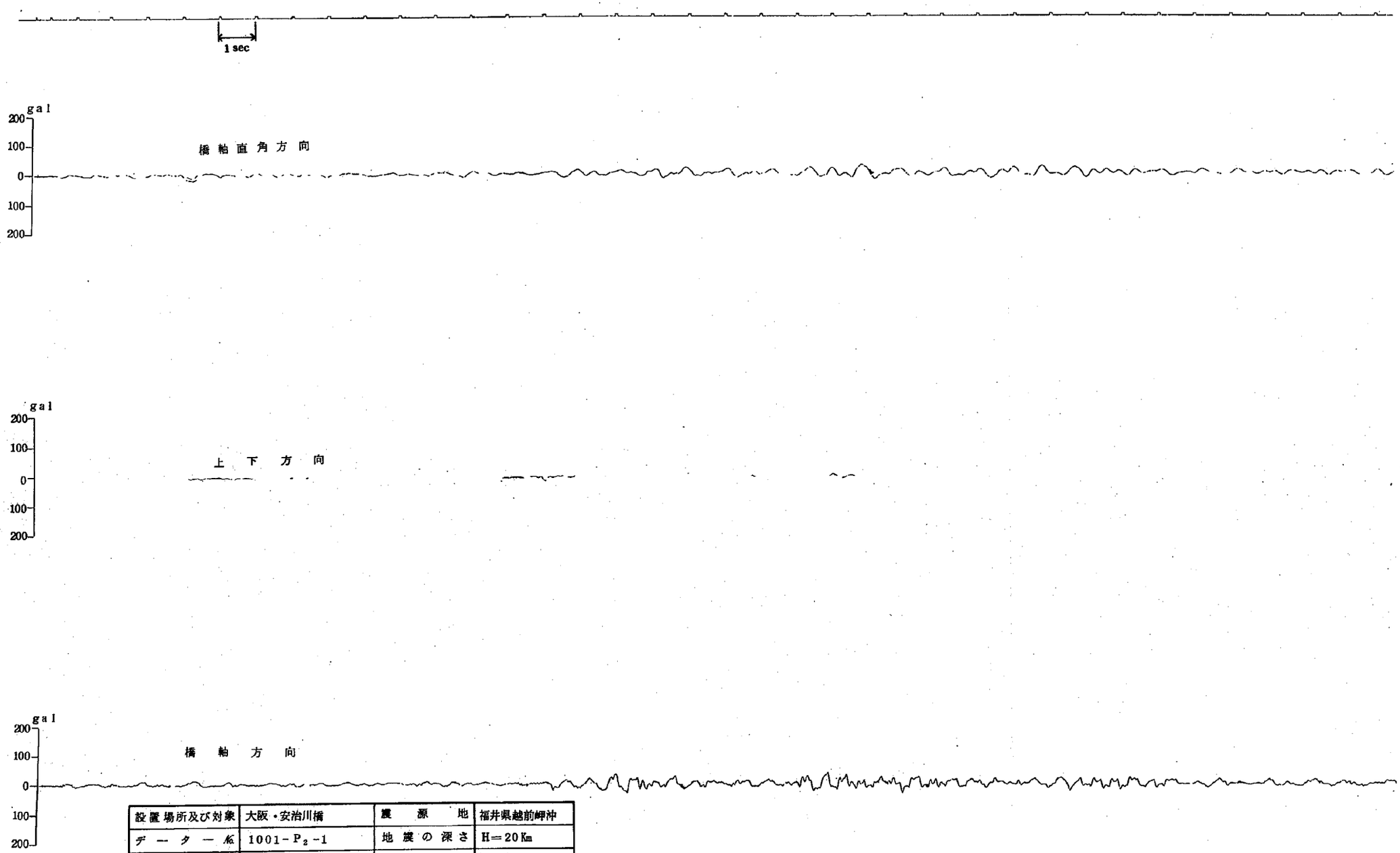
設置場所及び対象	静岡・新天竜川橋	震源地	駿河湾
データー番	904-G.L-1	地震の深さ	H＝20Km
型式	SMAC-B2型	観測点付近の震度	浜松・静岡Ⅳ
地震発生年月日時分	40.4.20　8:41	マグニチュード	M＝6.1



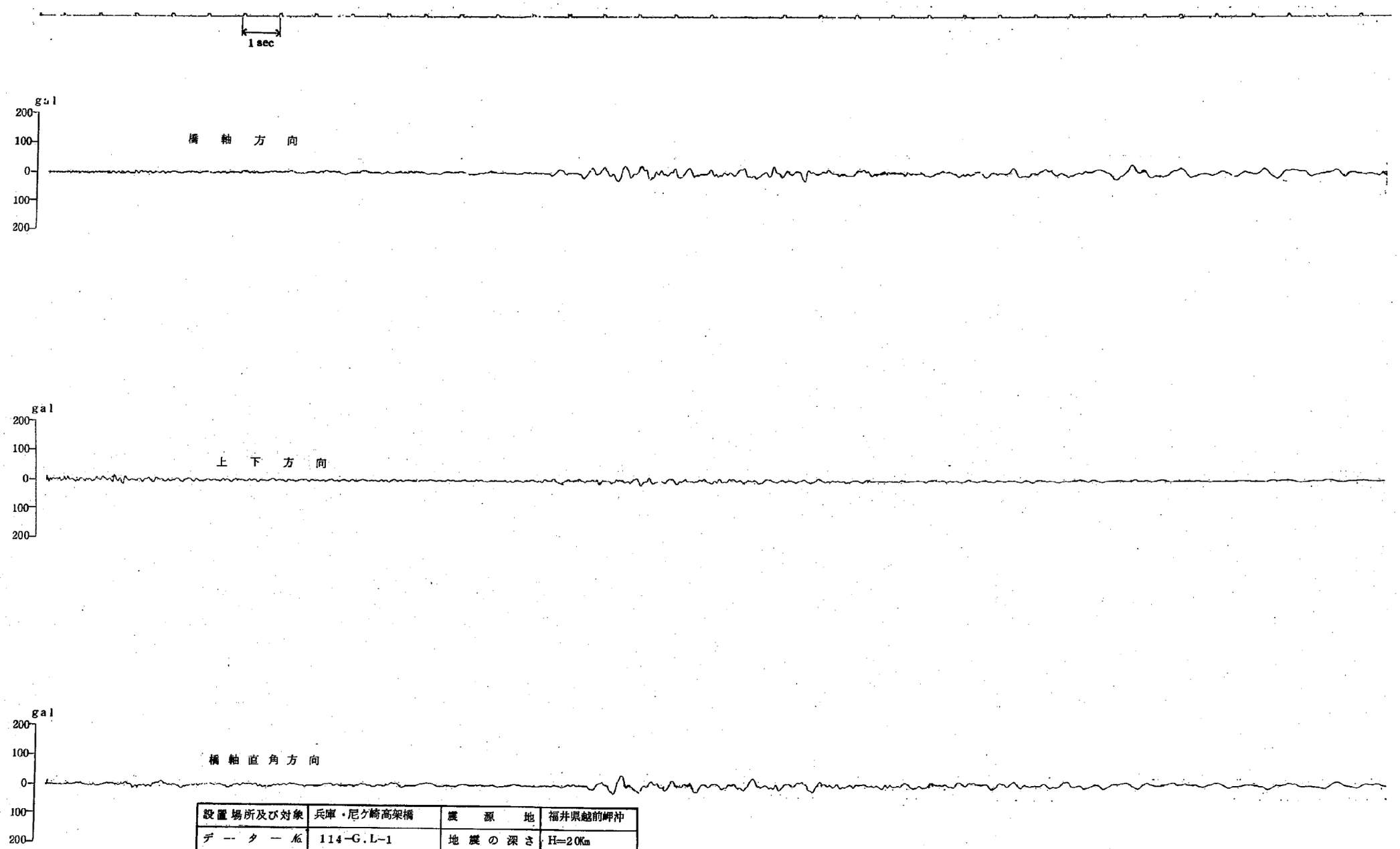
設置場所及び対象	大阪・安治川橋	震源地	福井県越前岬沖
データー№	1001-G.L-1	地震の深さ	H=20Km
型式	SMAC-B2型	観測点付近の震度	舞鶴・大阪Ⅳ
地震発生年月日時分	38.3.27 6:34	マグニチュード	M=6.1



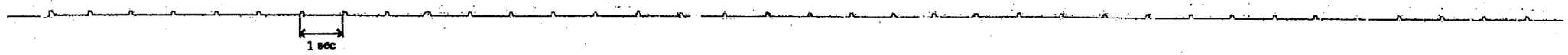
設置場所及び対象	大阪・安治川橋	震源地	福井県越前岬沖
データー名	1001-P_1-1	地震の深さ	H=20Km
型式	SMAC-B2型	観測点付近の震度	舞鶴・大阪Ⅳ
地震発生年月日時分	38.3.27 6:24	マグニチュード	M=6.1

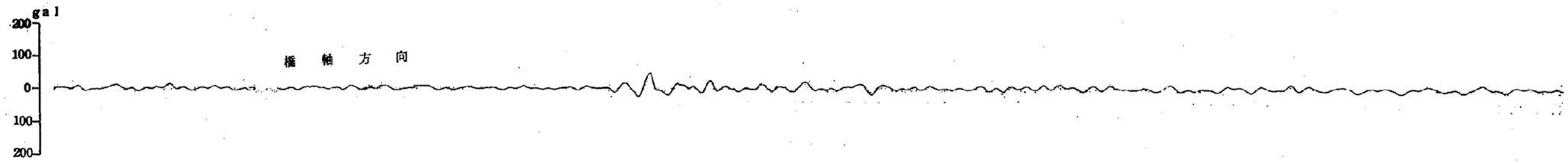


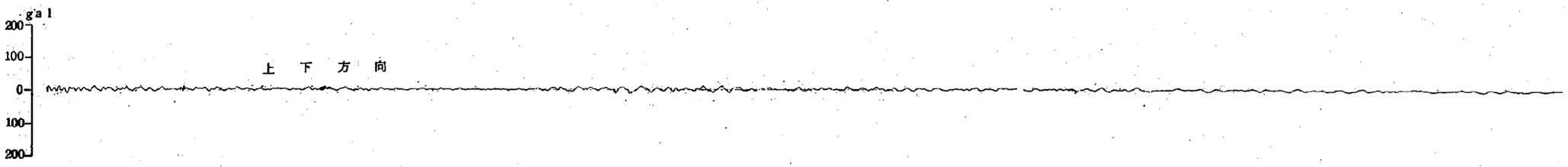
設置場所及び対象	大阪・安治川橋	震源地	福井県越前岬沖
データー番	1001-P_2-1	地震の深さ	H=20Km
型式	SMAC-B2型	観測点付近の震度	舞鶴・大阪Ⅳ
地震発生年月日時分	38.3.27 6:24	マグニチュード	M=6.1

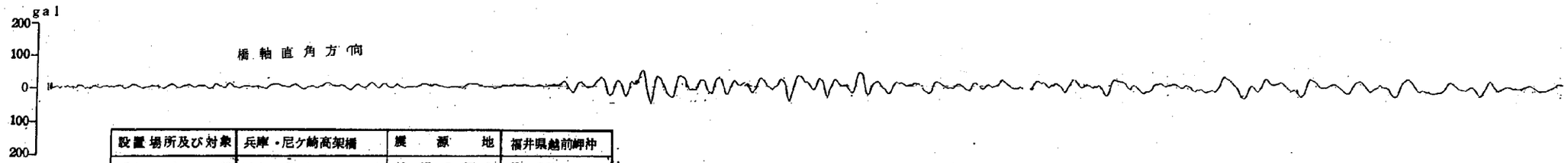


設置場所及び対象	兵庫・尼ケ崎高架橋	震源地	福井県越前岬沖
データー番	114-G.L-1	地震の深さ	H=20Km
型式	SMAC-B2型	観測点付近の震度	舞鶴・大阪Ⅳ
地震発生年月日時分	38.3.27 6:24	マグニチュード	M=6.1

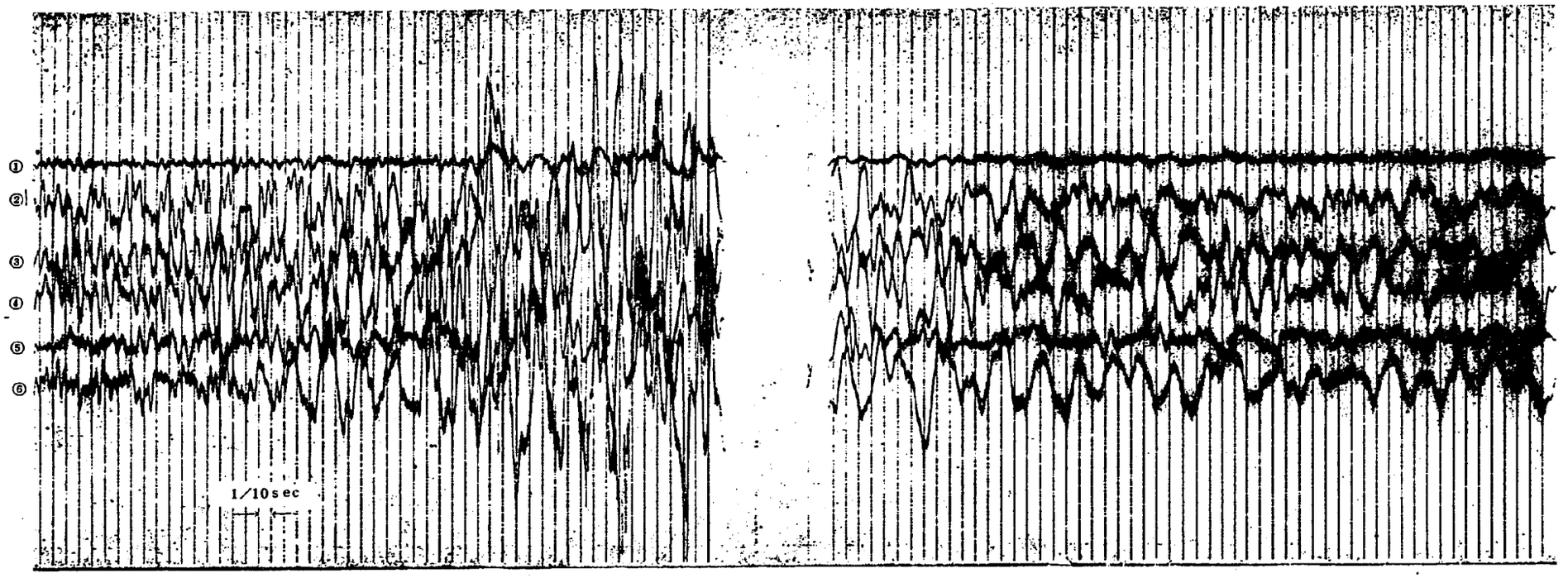








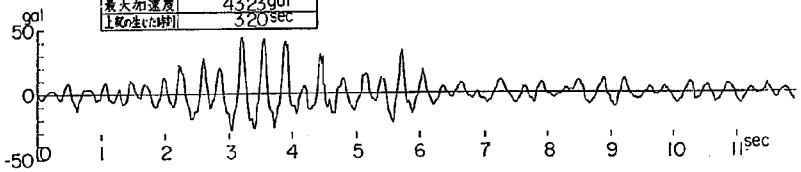
設置場所及び対象	兵庫・尼ケ崎高架橋	震源地	福井県越前岬沖
データー No.	114-P-1	地震の深さ	H=20Km
型式	SMAC-C2型	観測点付近の震度	舞鶴，大阪Ⅳ
地震発生年月日時分	38.3.27 6:29	マグニチュード	M=6.1



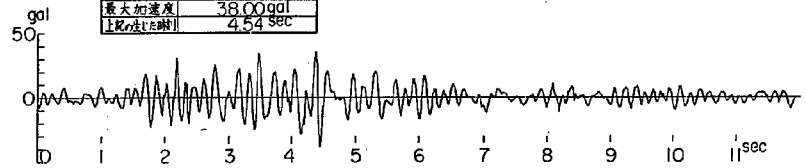
	方向	感度		方向	感度
①	地盤橋軸直角方向	9.63gal/cm	④	P_2 橋脚橋軸方向	9.15gal/cm
②	〃 橋軸方向	11.83gal/cm	⑤	P_3 橋脚橋軸直角方向	8.20gal/cm
③	橋台 〃 方向	9.01gal/cm	⑥	P_3 橋脚橋軸方向	9.63gal/cm

設置場所	静岡県静岡市	震源地	大井川河口
データー番	12−1	地震の深さ	20Km
型式	電磁式地震計	マグニチュード	6.1
地震発生年月日時分	40.4.20 8:42	観測点附近の震度	浜松，静岡IV

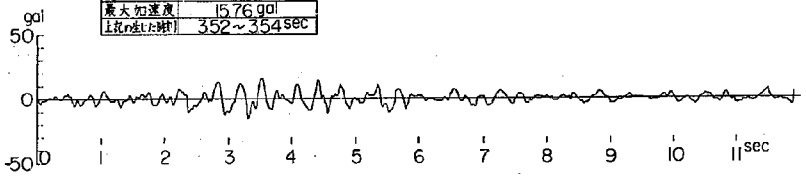
吉田大橋地点における地震加速度	
ELE NO	2
設置対象	井筒橋脚P_2(F)
成分方向	橋軸
地震年月日	1961年8月19日
最大加速度	432.3gal
上記の生じた時刻	3.20sec



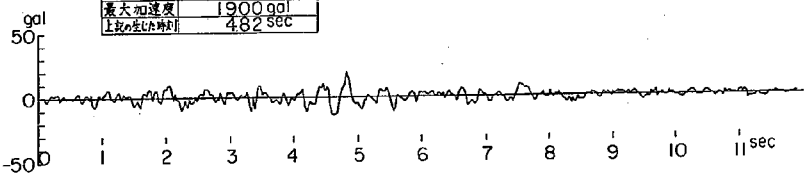
吉田大橋地点における地震加速度	
ELE NO	4
設置対象	井筒橋脚P_1(M)
成分方向	橋軸
地震年月日	1961年8月19日
最大加速度	38.00gal
上記の生じた時刻	4.54sec



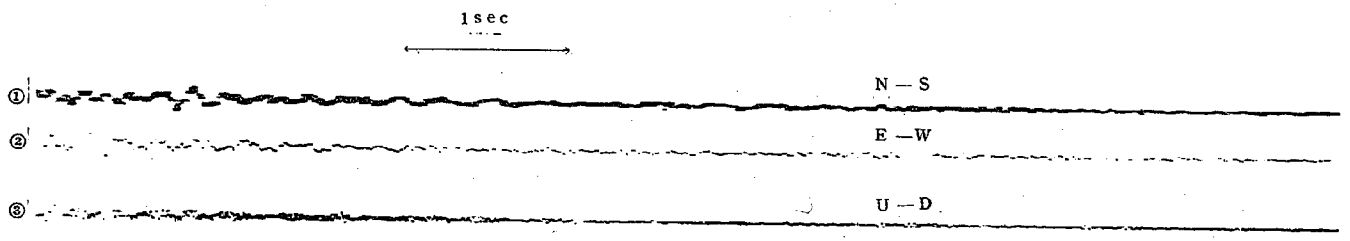
吉田大橋地点における地震加速度	
ELE NO	5
設置対象	地盤(観測建屋内)
成分方向	橋軸
地震年月日	1961年8月19日
最大加速度	15.76gal
上記の生じた時刻	3.52～3.54sec



吉田大橋地点における地震加速度	
ELE NO	6
設置対象	地盤(観測建屋内)
成分方向	橋軸直角
地震年月日	1961年8月19日
最大加速度	19.00gal
上記の生じた時刻	4.82sec

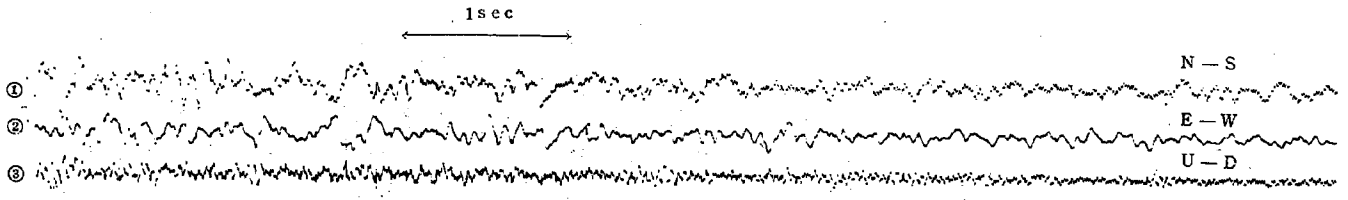


設置場所	愛知県豊橋市	震源地	北美濃
データー番	13—1	地震の深さ	0
型式	電磁式地震計	マグニチュード	7.0
地震発生年月日時分	36.8.19　14：33	観測点附近の震度	福井・名古屋，津Ⅳ　岐阜Ⅲ



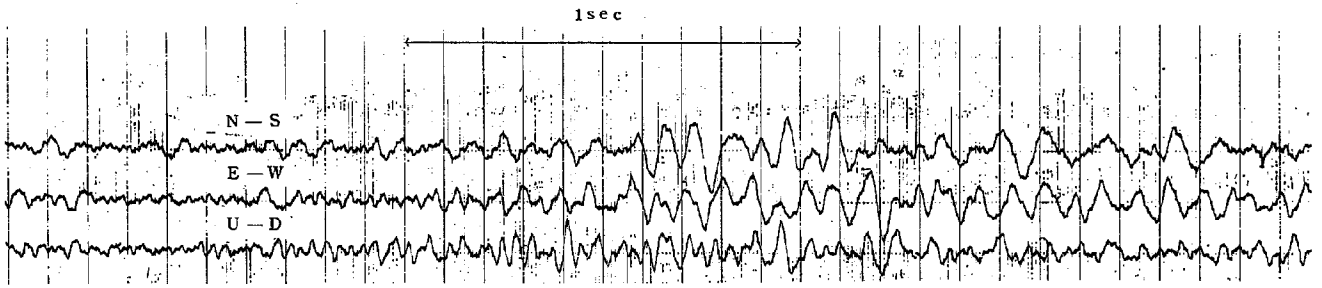
感度 ① N－S 1.46gal/mm
② E－W 1.69gal/mm
③ U－D 1.69gal/mm

設置場所	神戸市垂水	震源地	東経 135°30′ 北緯 34°48′
データー No.	14－G.L－1	地震の深さ	H＝20Km
型式	電磁式地震計	観測点附近の震度	大阪Ⅱ，神戸Ⅱ
地震発生年月日時分	41.6.2 18：28		



感度 ① N－S 0.714gal/mm
② E－W 0.847gal/mm
③ U－D 0.833gal/mm

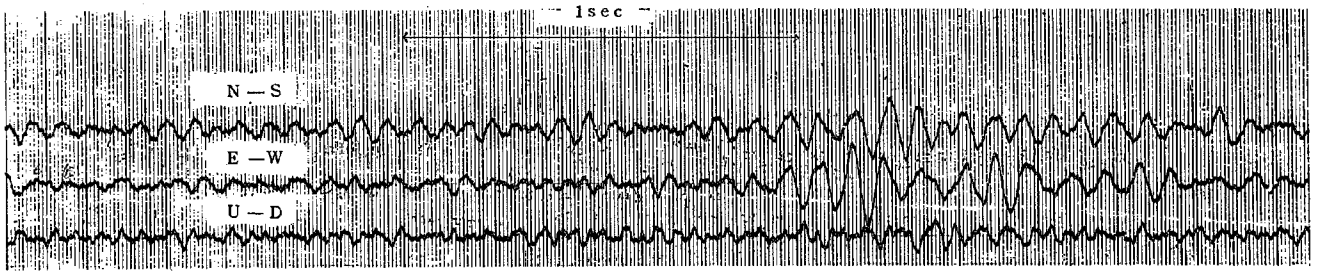
設置場所	神戸市垂水	震源地	－
データー No.	14－G.L－2	地震の深さ	－
型式	電磁式地震計	観測点附近の震度	－
地震発生年月日時分	41.6.29 21：22		



感度

各成分　10.53 gal/cm

設置場所	熊本県大矢野島	震源地	屋人島近海
データーNo.	18－G.L－1	地震の深さ	60Km
型式	電磁式地震計	マグニチュード	M＝5.1
地震発生年月日時分	4 15.16　22：06	観測点附近の震度	枕崎Ⅱ



感度

各成分　10.53 gal/cm

設置場所	熊本県大矢野島	震源地	不明
データーNo.	18－G.L－2	地震の深さ	〃
型式	電磁式地震計	マグニチュード	〃
地震発生年月日時分	不明	観測点附近の震度	〃

あ　と　が　き

昭和３７年度から昭和４１年１２月までの約５年間に得られた強震記録を一括して掲載したため，記録数がかなり多くなり，見にくくなったことをおわびする。

計器の数も多くなった事を考慮して次年度からは，少なくとも年に一回公刊していきたいと考えている。

最後に強震計・地震計の設置を実現させた関係各位ならびに観測作業を担当している現場の方々に深甚の感謝を表すると共に，今後共よろしくお願いする次第である。

尚，現地における観測の指導ならびに莫大な資料の整理は，当所の次の諸君が担当したものである。

構造橋梁部　耐震調査室	研究員	小山田　欣　裕
	建設技官	若　林　　進
	〃	三　牧　　翹
	〃	高　安　栄　寿
	〃	斉　藤　俊　三
	〃	永　井　　隆
	〃	森　山　英　一

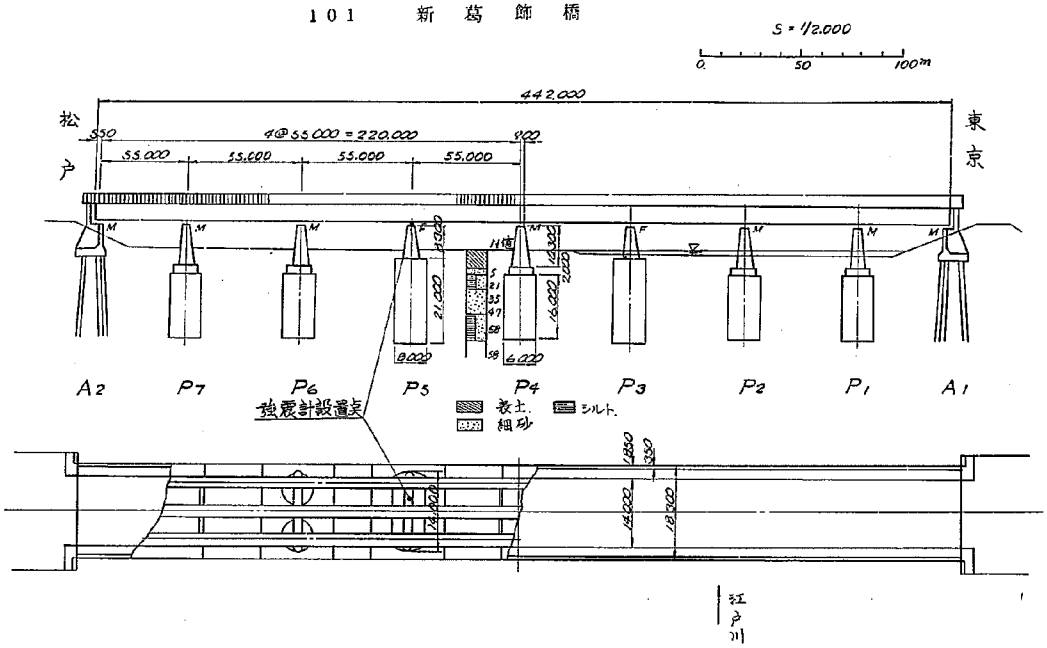
附録　強震計・地震計を設置した構造物の概要

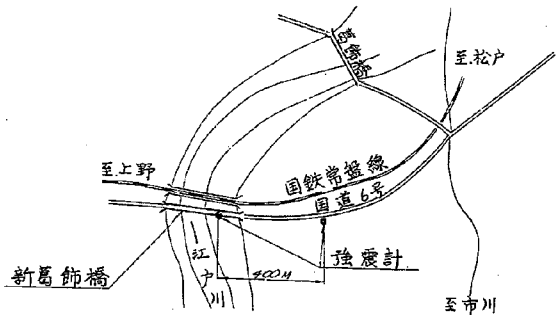
本資料において強震記録を示した観測点について，構造物の概要及び強震計・地震計の設置箇所等をまとめ，観測点詳細図として，次ページ以下に示す。

この図には，構造物の位置図，一般図，諸元表および強震計・地震計の設置箇所が示されている。

尚一部の構造物については，図面が入手できず整理できなかったが，早急に資料を得て整理していきたいと考えている。

101　新葛飾橋

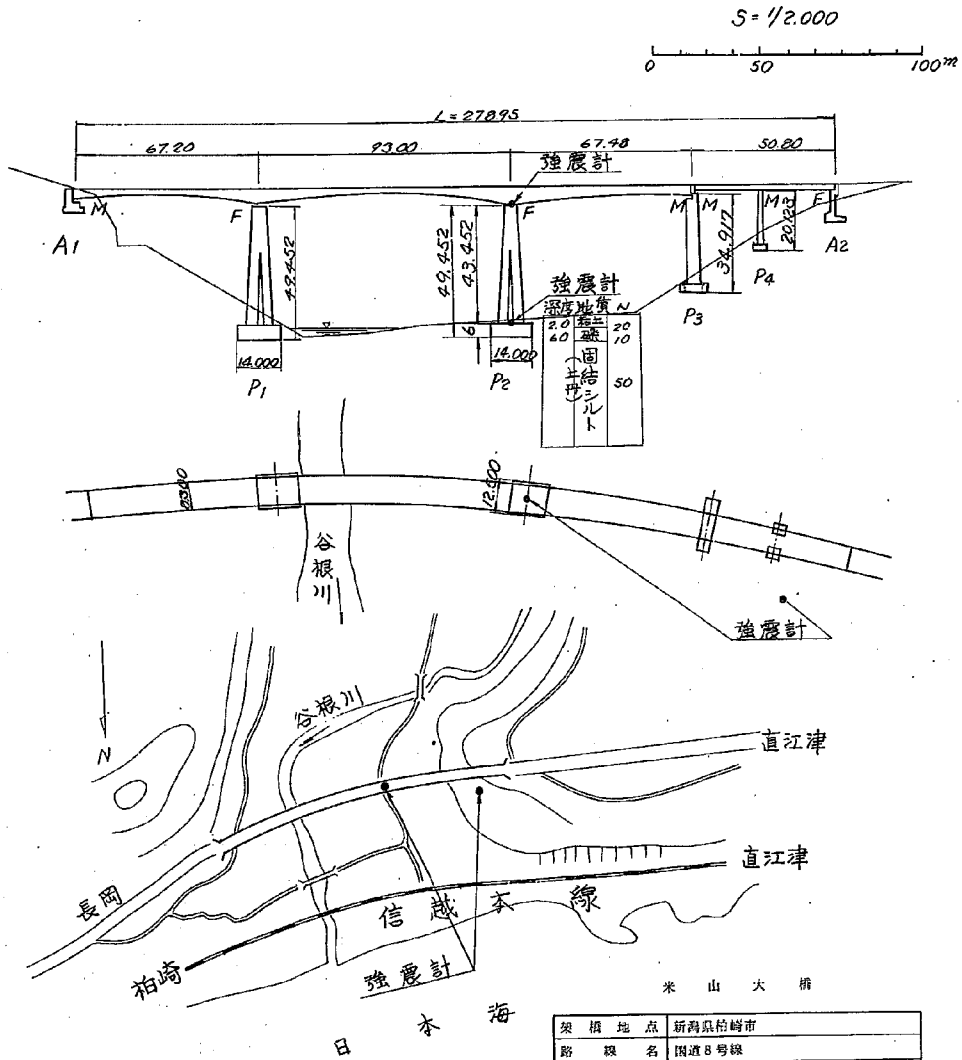




新　葛　飾　橋

架橋地点	千葉県松戸市上矢切
路線名	国道6号線
橋梁及河川名	新葛飾橋，江戸川
橋長及幅員	ℓ = 442m，W = 17.7m
径間割	0.55+4@55+0.9+4@55+0.55
橋種	4径間連続箱桁，2連
橋脚基礎工	井筒
地質の分類	砂質土層
地震計種類	SMAC B−2型
設置ケ所	地盤1台，橋脚1台
設置年月	昭和41年3月
観測者	建設省関東地方建設局首都国道工事事務所

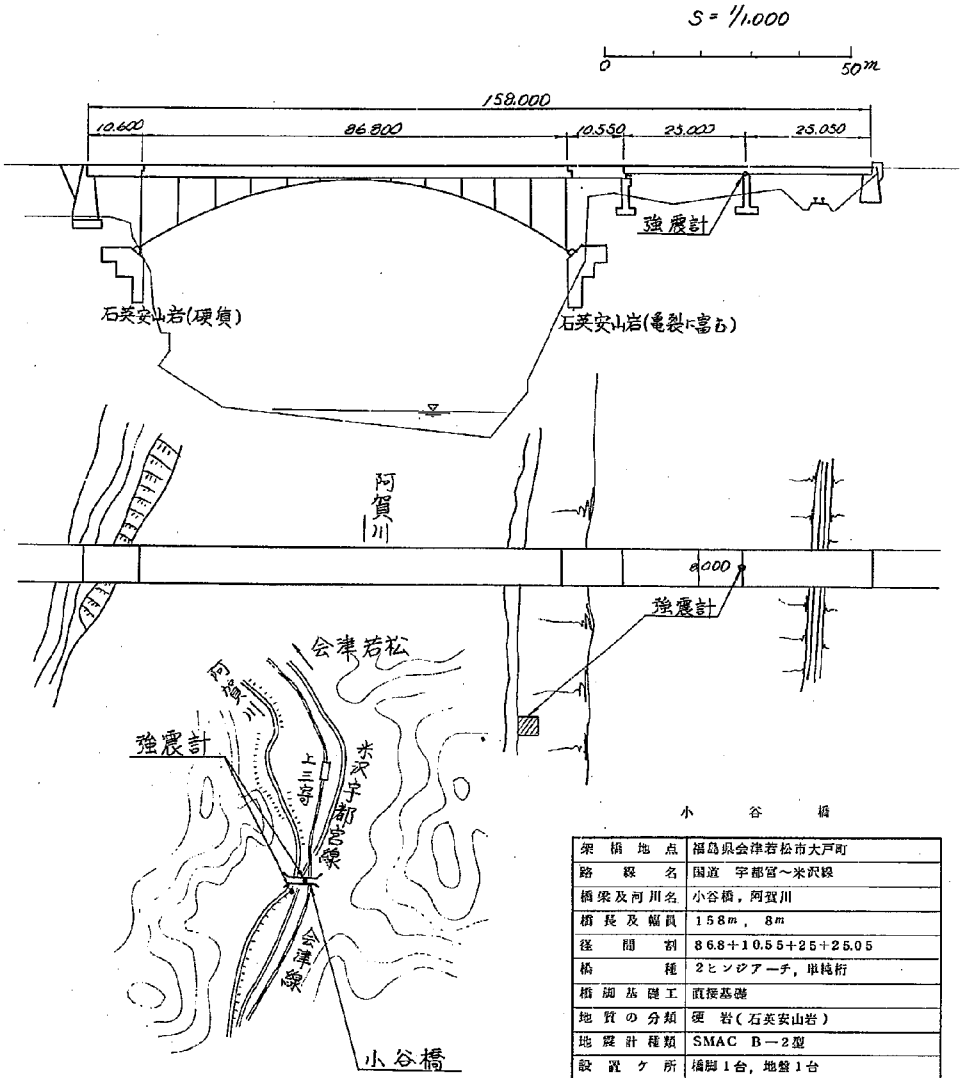
102　米山大橋



米山大橋

架橋地点	新潟県柏崎市
路線名	国道8号線
橋梁及河川名	米山大橋，谷根川
橋長及幅員	278.950m，7.50m
径間割	(67×1+93×1+67×1)+25×2
橋種	3径間連続箱桁＋2径間連続曲線桁
橋脚基礎工	直接基礎
地質の分類	固結シルト（土丹）
地震計種類	SMAC B－2型
設置ケ所	地盤1台，橋脚1台，基礎1台
設置年月	昭和41年2月
観測者	建設省北陸地方建設局長岡工事事務所

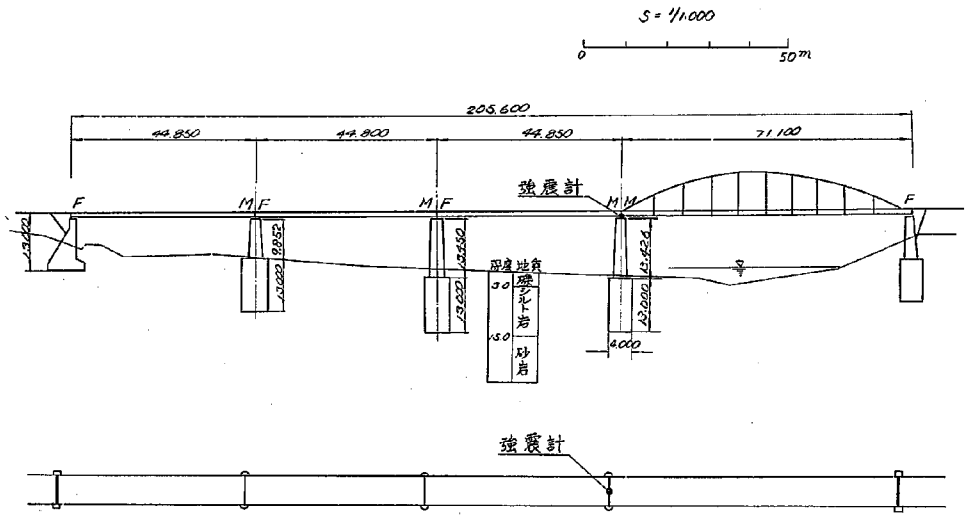
201　小　谷　橋

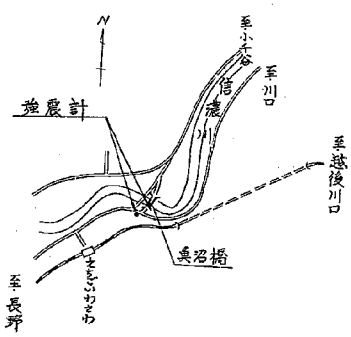


小　谷　橋

架橋地点	福島県会津若松市大戸町
路線名	国道　宇都宮～米沢線
橋梁及河川名	小谷橋，阿賀川
橋長及幅員	158m，8m
径間割	86.8＋10.55＋25＋25.05
橋種	2ヒンジアーチ，単純桁
橋脚基礎工	直接基礎
地質の分類	硬　岩（石英安山岩）
地震計種類	SMAC　B－2型
設置ケ所	橋脚1台，地盤1台
設置年月	昭和39年
観測者	福島県若松土木事務所

202　魚　沼　橋

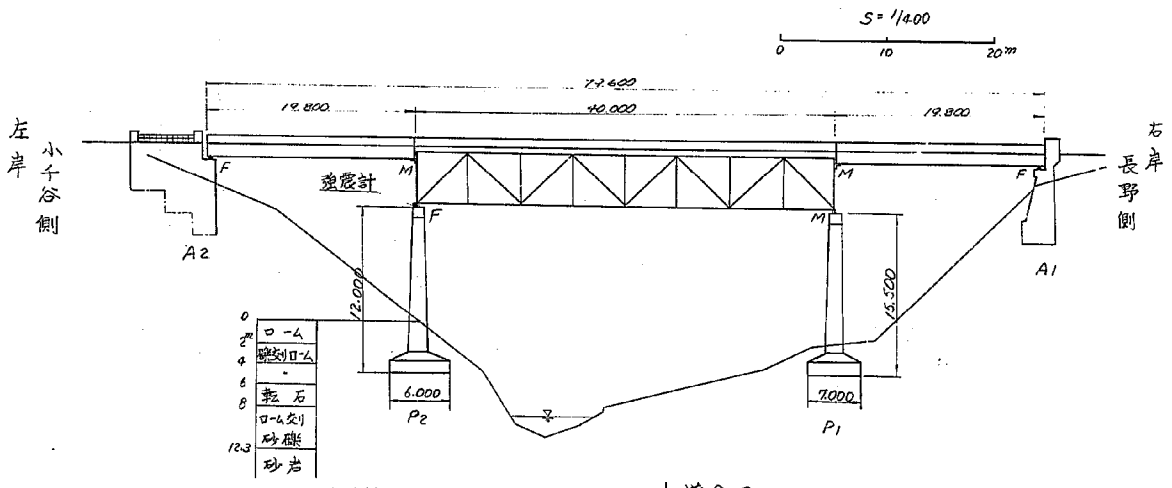




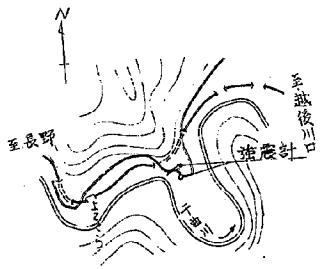
魚　沼　橋

架橋地点	新潟県小千谷市時之島
路線名	国道　小千谷～長野線
橋梁及河川名	魚沼橋，信濃川
橋長及幅員	ℓ＝205.6m，W＝7m
径間割	44.85＋44.80＋44.85＋71.10m
橋種	単純合成桁，ランガー桁
橋脚基礎工	井筒
地質の分類	中間土層
地震計種類	SMAC　B－2型
設置ケ所	地盤1台，橋脚1台
設置年月	昭和40年12月
観測者	新潟県小千谷土木出張所

203　横倉沢橋

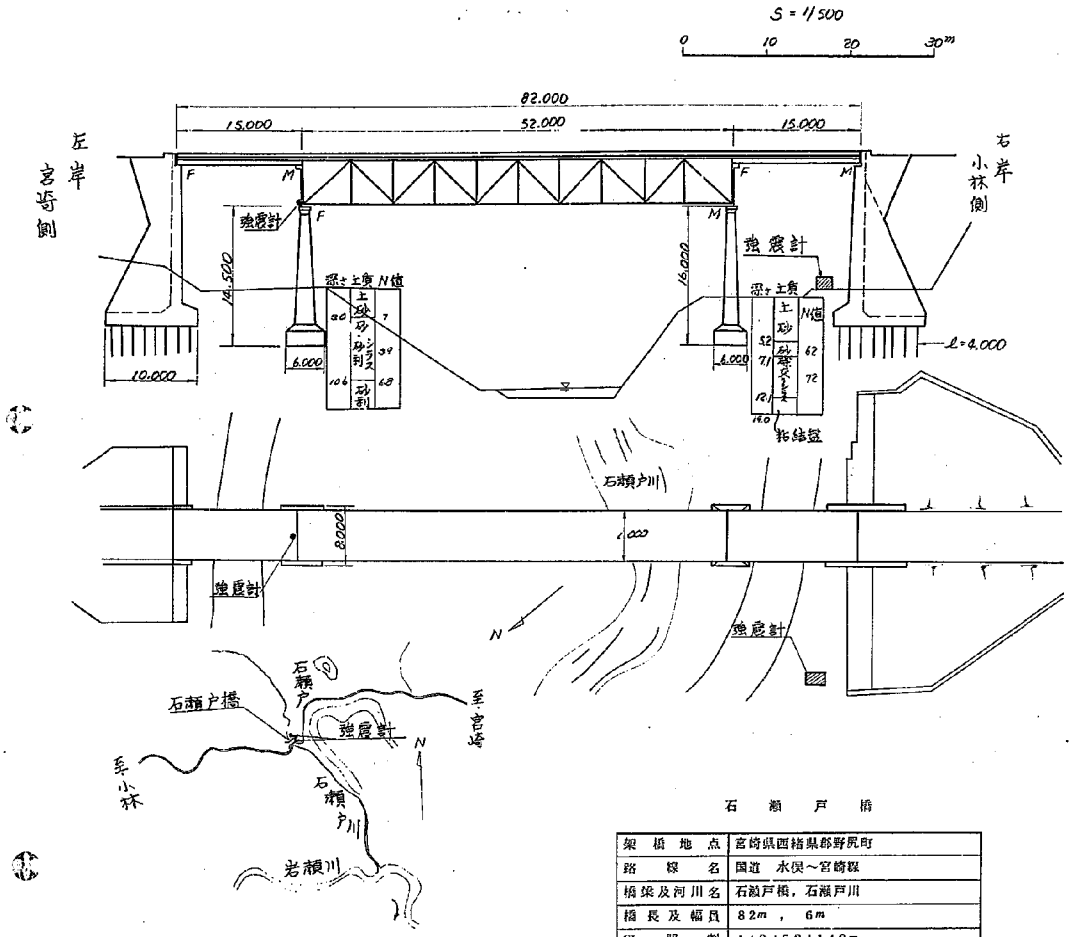


横　倉　沢　橋



架橋地点	長野県下水内郡栄村
路線名	国道　長野～小千谷線
橋梁及河川名	横倉沢橋，千曲川支流
橋長及幅員	79.6m，6m
径間割	19.0＋40＋19.0m
橋種	単純合成桁＋単純トラス桁
橋脚基礎工	直接基礎
地質の分類	軟岩
地震計種類	SMAC　B－2型
設置ケ所	2ケ所（地盤1台，橋脚1台）
設置年月	昭和39年
観測者	長野県飯山建設事務所．

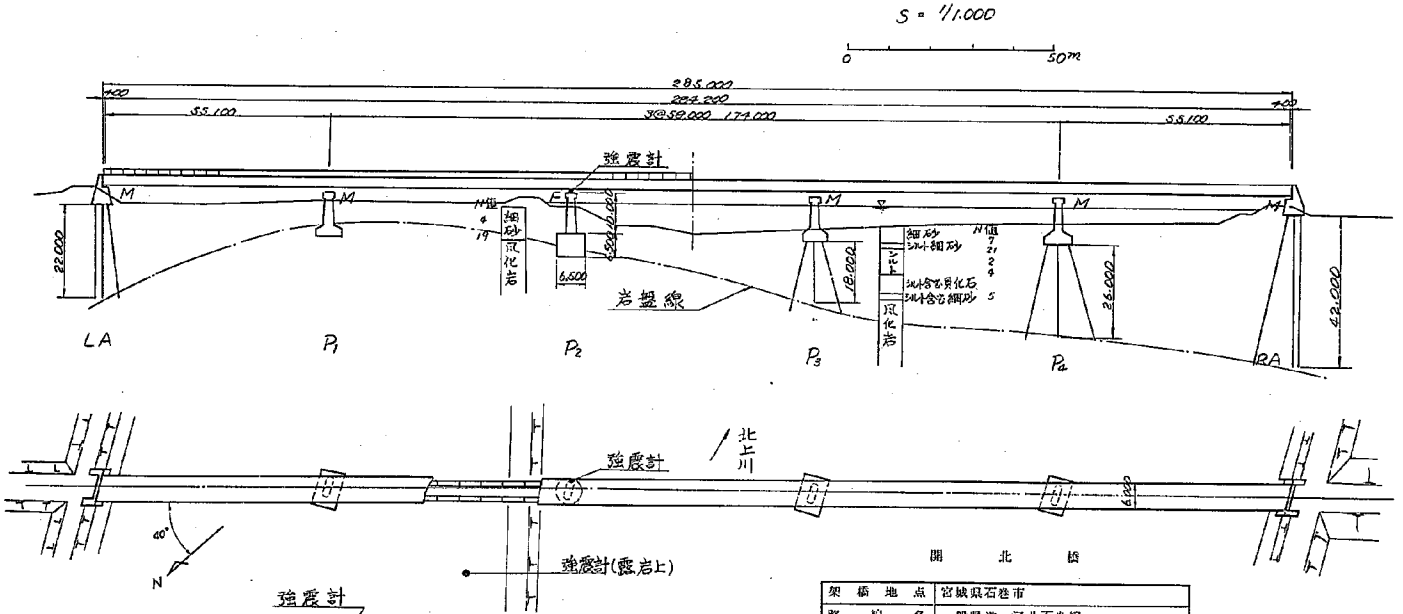
205　石瀬戸橋

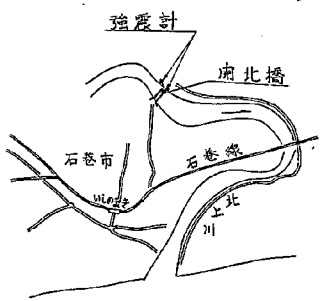


石　瀬　戸　橋

架橋地点	宮崎県西諸県郡野尻町
路線名	国道　水俣～宮崎線
橋梁及河川名	石瀬戸橋，石瀬戸川
橋長及幅員	82m，6m
径間割	14.9＋52＋14.9m
橋種	鉄筋桁(合成)＋単純桁(トラス)＋単純桁(合成)
橋脚基礎工	直接基礎
地質の分類	砂交りシラス
地盤計種類	SMAC　B－2型
設置ヶ所	2台　橋脚1台，地盤1台
設置年月	昭和39年
観測者	宮崎県小林土木事務所

302　開　北　橋



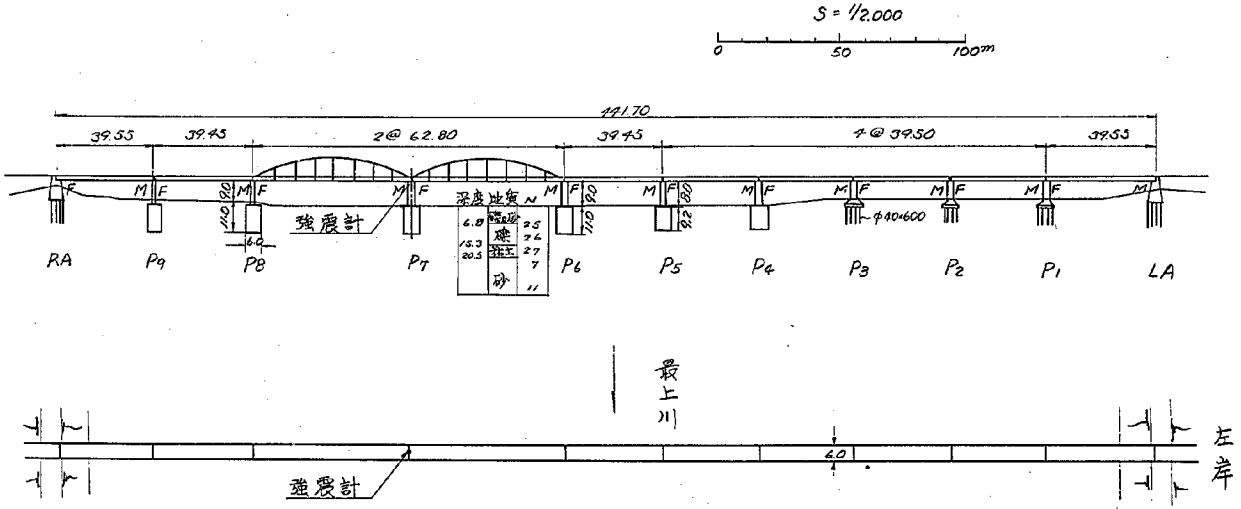


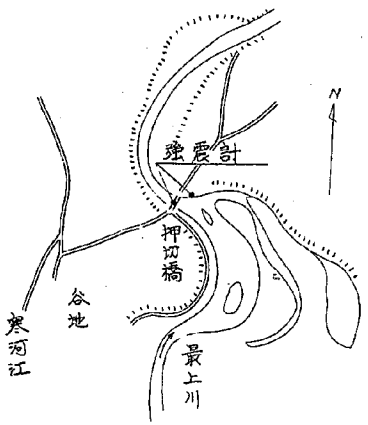
開　北　橋

架橋地点	宮城県石巻市
路線名	一般県道　河北石巻線
橋梁及河川名	開北橋，北上川
橋長及幅員	285m，6m
径間割	51.1＋3@58.0＋55.1
橋種	5径間連続箱桁
橋脚基礎	直接基礎(1)，RC杭基礎(2)，ケーソン基礎(1)
地質の分類	軟岩（左岸），シルト層（右岸）
地震計種類	SMAC　B－2型
設置ケ所	2台，橋脚1台（P_2）地盤1台
設置年月	昭和39年
観測者	宮城県石巻土木事務所

（41年12月現在，上部構未架設）

303　押　切　大　橋

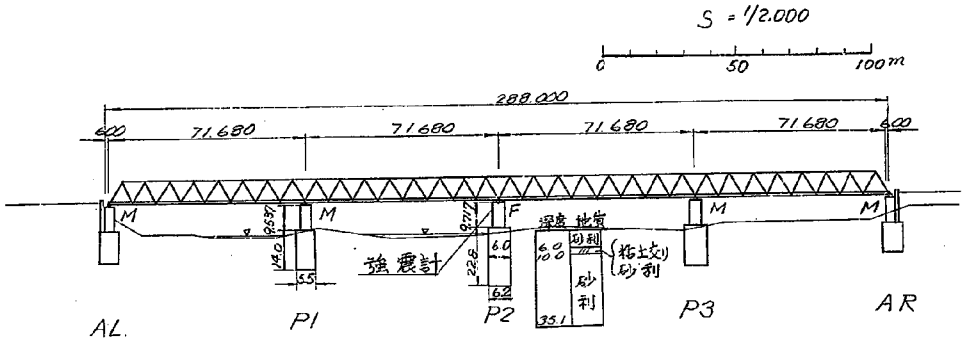


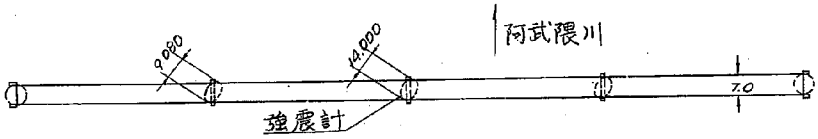


押　切　大　橋

架橋地点	山形県西村山郡河北町
路線名	一般地方道　東根～河北線
橋梁及河川名	押切大橋，最上川
橋長及幅員	441.7m，6m
径間割	39.0×6＋62×2＋39.0×2
橋種	活荷重合成桁，ランガー桁2連
橋脚基礎工	RC杭，井筒（中込砂）
地質の分類	砂礫層
地震計種類	SMAC B－2型
設置ケ所	2台，橋脚1台，地盤1台
設置年月	昭和39年
観測者	山形県寒河江土木事務所

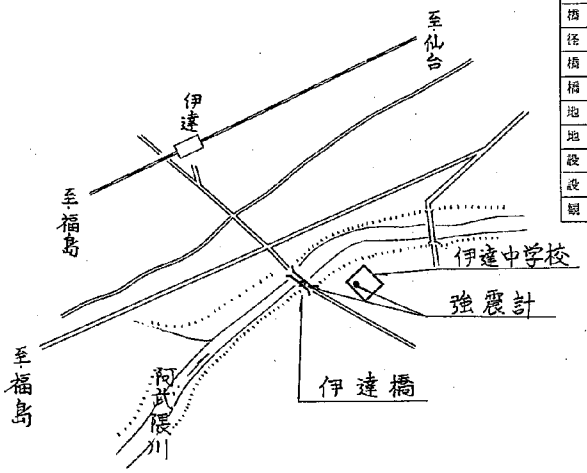
304　伊　達　橋



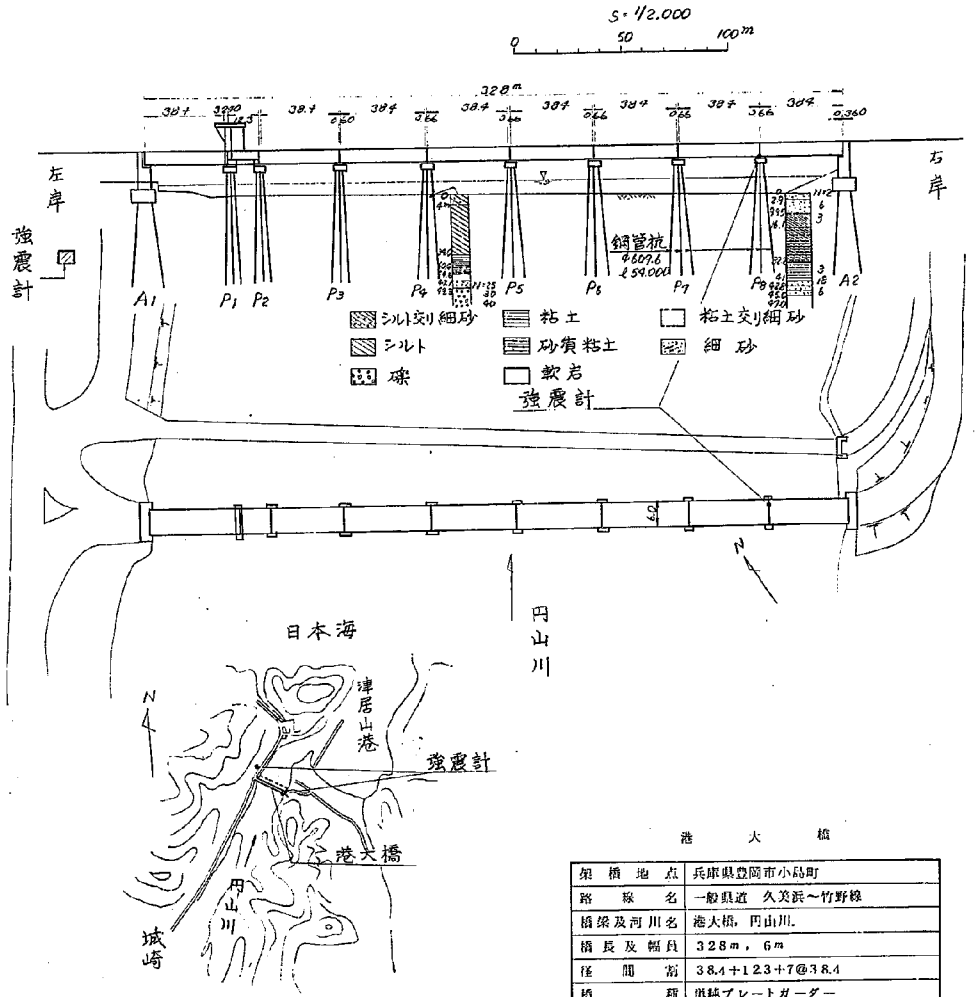


伊　達　橋

架橋地点	福島県伊達郡伊達町
路線名	一般地方道　飯坂～保原線
橋梁及河川名	伊達橋，阿武隈川
橋長及幅員	288m，7m
径間割	4@71.680m
橋種	連続4径間ワーレントラス
橋脚基礎工	井筒
地質の分類	砂利層
地震計種類	SMAC B－2型
設置ケ所	橋脚1台（P_2），地盤1台
設置年月	昭和40年
観測者	福島県保原土木事務所



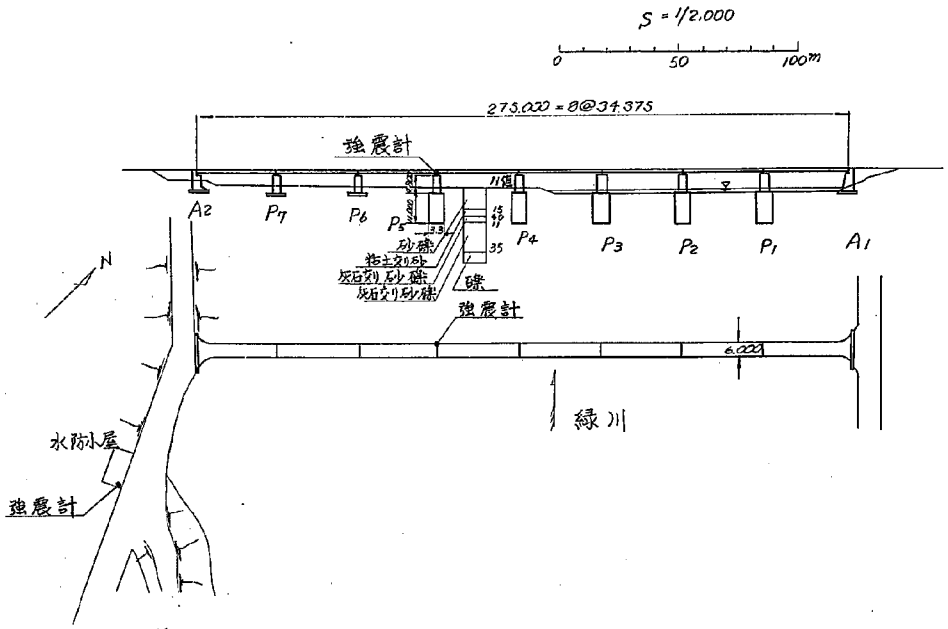
305　港　大　橋

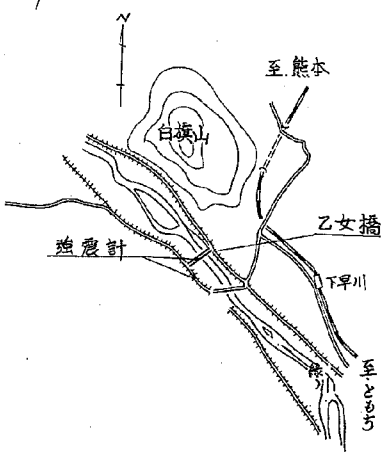


港　大　橋

架橋地点	兵庫県豊岡市小島町
路線名	一般県道　久美浜～竹野線
橋梁及河川名	港大橋，円山川.
橋長及幅員	328m，6m
径間割	38.4＋123＋7@38.4
橋種	単純プレートガーダー
橋脚基礎工	鋼管杭
地質の分類	シルト土層
地震計種類	SMAC B－2型
設置ケ所	2台（左岸地盤1台，橋脚P4 1台）
設置年月	昭和39年
観測者	兵庫県豊岡土木事務所

309　乙　女　橋

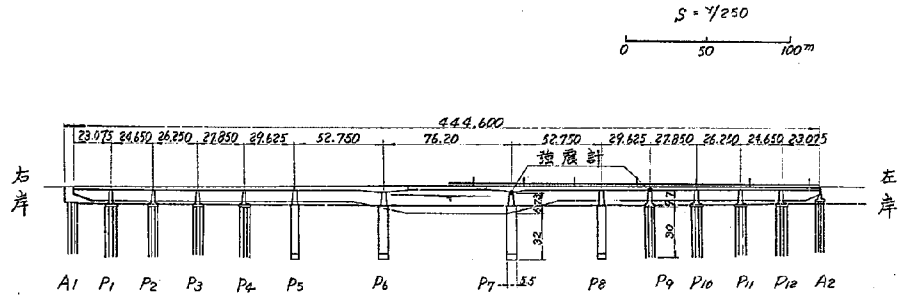


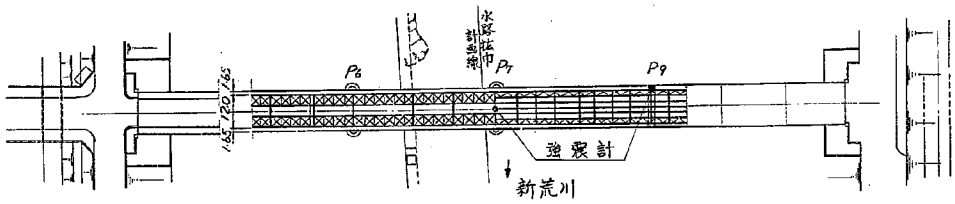


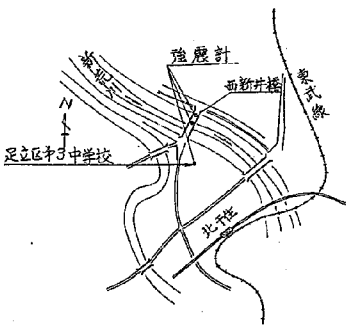
乙　女　橋

架橋地点	熊本県上益城郡御船町
路線名	主要地方道　熊本～甲佐線
橋梁及河川名	乙女橋，　緑川
橋長及幅員	275m，　巾6m
径間割	34.375×8
橋種	単純桁
橋脚基礎工	直接基礎　井筒
地質の分類	砂礫層
地震計種類	SMAC　B－2型
設置ケ所	2台　橋脚1台，地盤1台
設置年月	昭和39年
観測者	熊本県御船土木駐在所

902　西新井橋



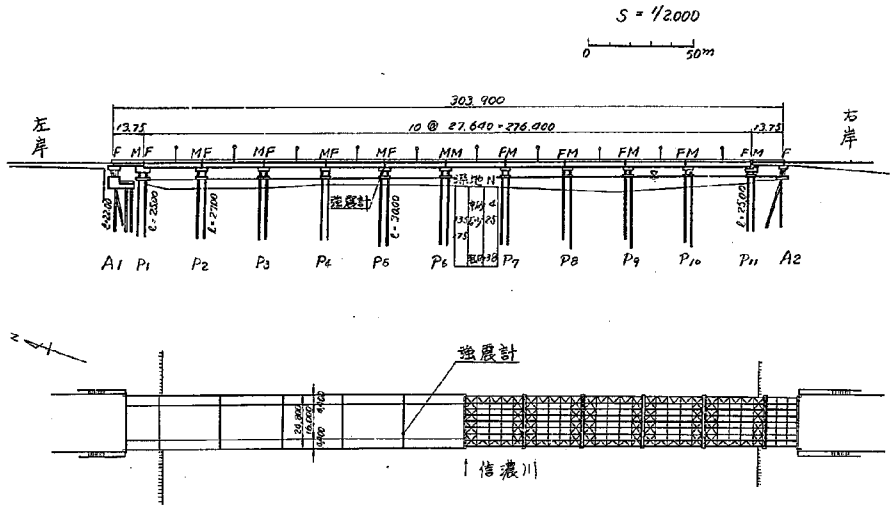


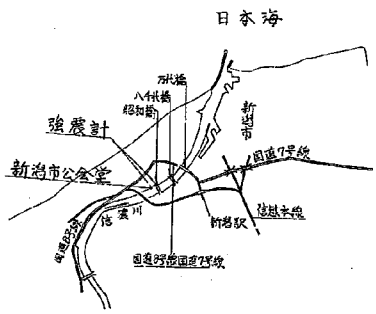


西　新　井　橋

架橋地点	東京都足立区千住町
路線名	主要地方道　上野～西新井線
橋梁及河川名	西新井橋，荒川
橋長及幅員	444.6m，15m
径間割	22.4+24.0+25.6+27.2+28.8+52.5+76.2 +52.5+28.8+27.2+25.6+24.0+22.4
橋種	10径間活荷重合成桁，中央3径間ゲルバー
橋脚基礎工	ケーソン基礎，鋼管杭
地質の分類	砂質
地震計種類	SMAC　B－2型
設置ケ所	3台　橋脚2台{P7, P9　地盤1台
設置年月	昭和37年
観測者	土木研究所

903　昭　和　大　橋

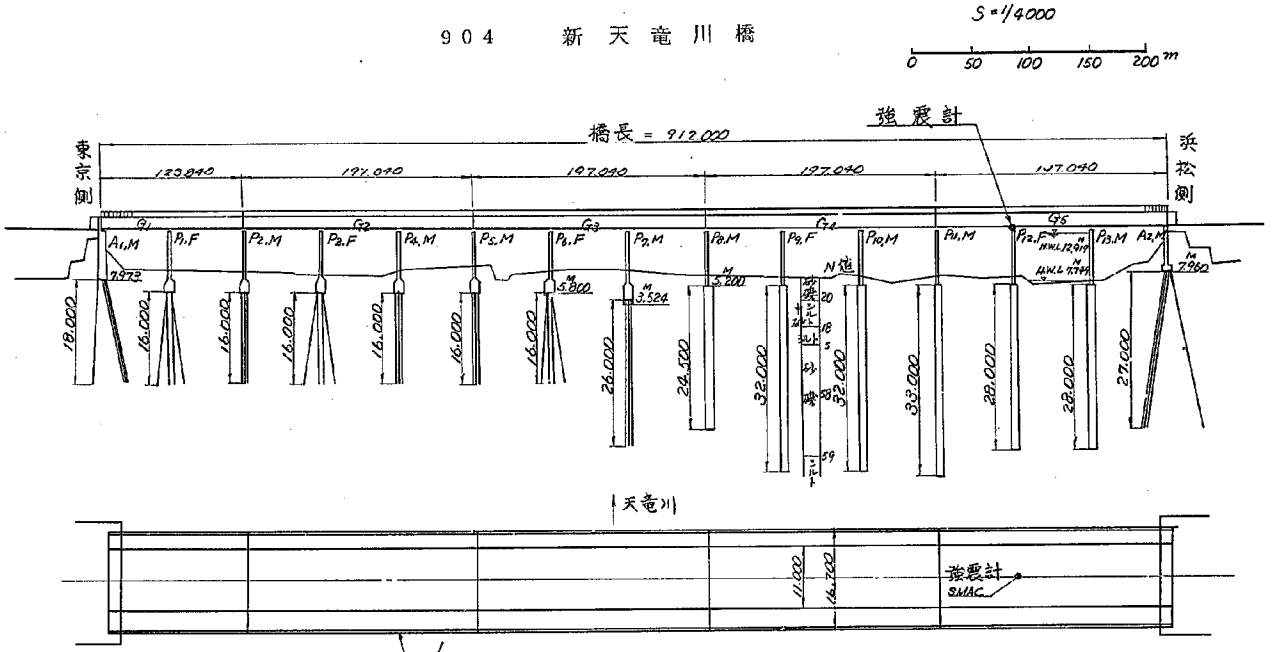




昭　和　大　橋

架橋地点	新潟市
路線名	主要地方道
橋梁及河川名	昭和大橋，信濃川
橋長及幅員	306.4m，巾24m
径間割	15.0+27.64×10+15.0
橋種	単純桁，単純合成桁
橋脚基礎工	鋼杭
地質の分類	砂質土層
地震計種類	SMAC B－2型
設置ケ所	2台（橋脚1台，地盤1台）
設置年月	昭和39年
観測者	新潟県土木部道路建設課橋梁係

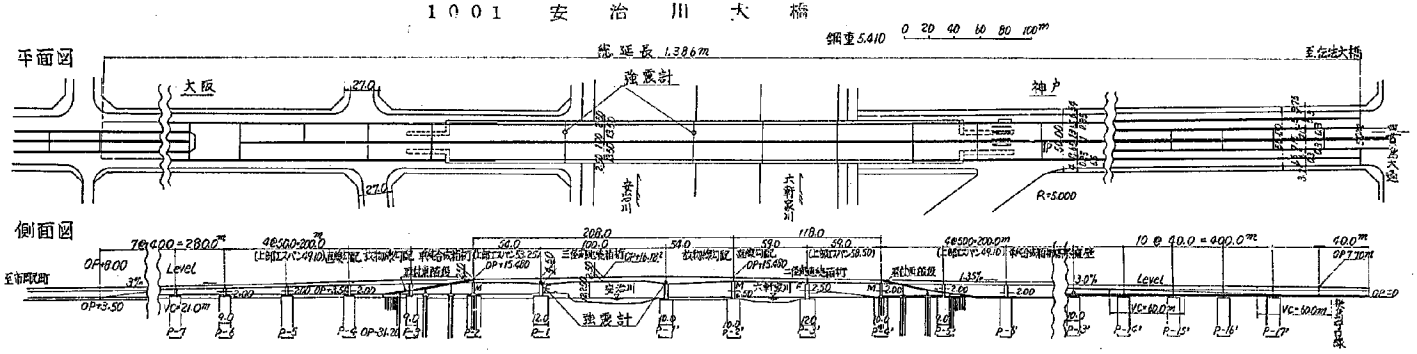
904　新天竜川橋

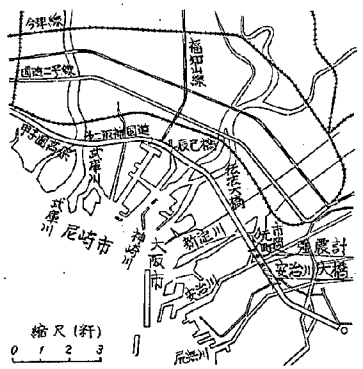


新　天　竜　川　橋

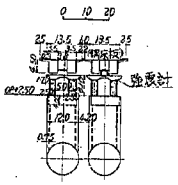
架橋地点	静岡県浜松市中野町
路線名	国道1号線
橋梁及河川名	新天竜川橋，天竜川
橋長及幅員	912m，16m
径間割	58.61＋65.68＋65.68×12
橋種	連続箱桁
橋脚基礎工	杭基礎，井筒
地質の分類	砂質土層，砂利層
地震計種類	SMAC B－2型
設置ケ所	2台（地盤1，橋脚1）
設置年月	昭和39年
観測者	建設省中部地方建設局磐田工事事務所

1001 安治川大橋



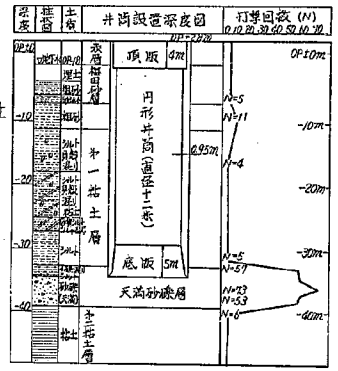


PI橋脚図



設置位置	強震計機種
P-1 橋脚天端	SMAC-B2型強震計
P-1' 〃	〃
春日出中学校内	〃

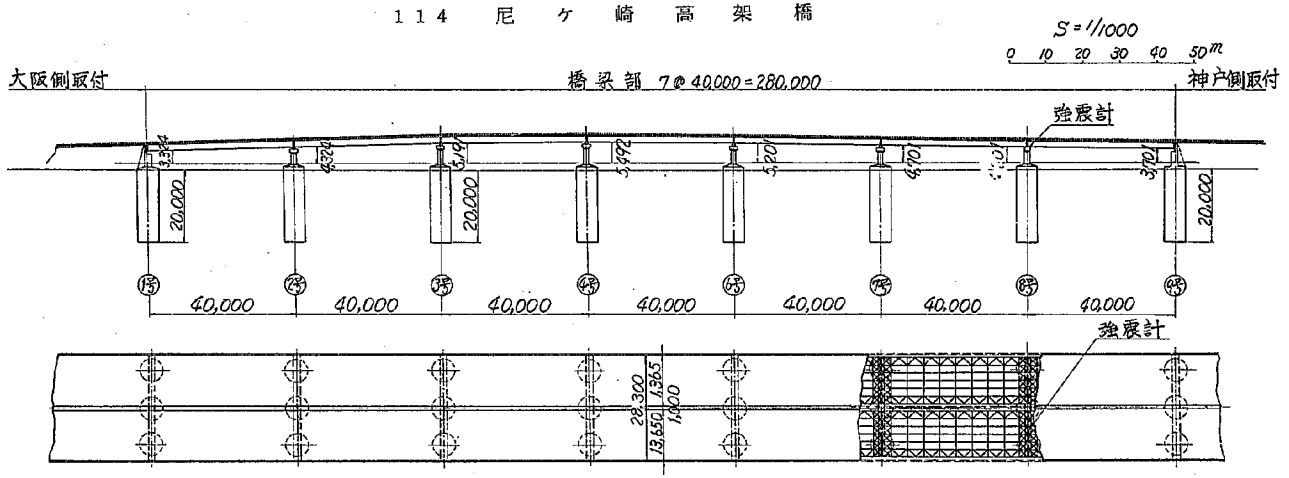
架橋部地質柱状図

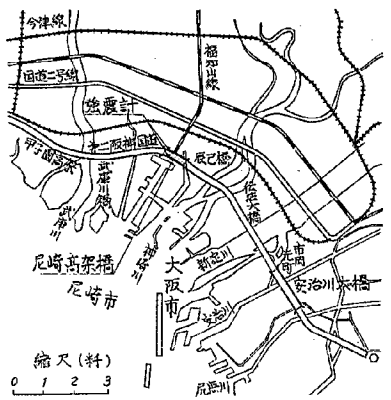


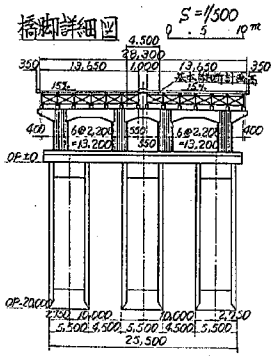
安治川大橋

架橋地点	大阪市此花区春日出町～港区八雲町
路線名	第二阪神国道
橋梁及び河川名	安治大橋　安治川
橋長及び幅員	L＝1,386m　W＝33m
径間割	3@40＋4@50＋54×100＋54m ＋2@59＋4@50×5@40
橋種	連続箱桁，単純箱桁
橋脚基礎	井筒
地質分類	ミルト
地震計種類	SMAC B2型
設置ケ所	3台，橋脚2，地盤1
設置年月	38年3月
管理，観測	道路公団，安治川大橋管理事務所

114 尼ケ崎高架橋





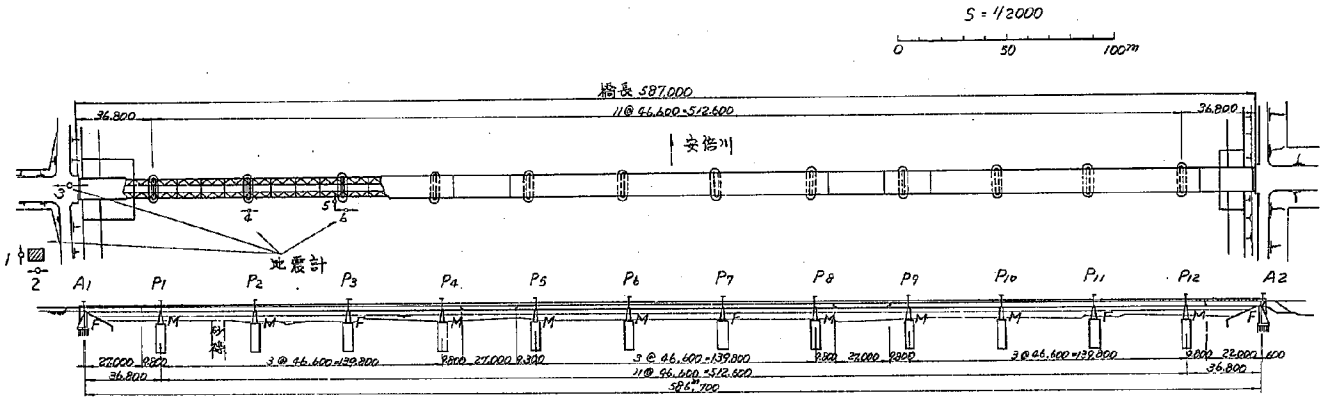


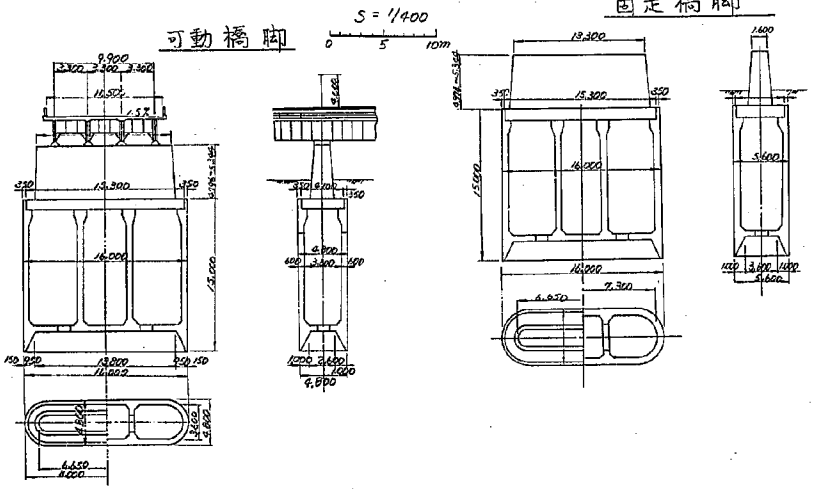
設置位置	強震計機種
8号橋脚天端	SMAC-C2
城内小学校校庭	SMAC-B2

尼ケ崎高架橋

架橋地点	大阪市西成区四条～神戸市灘区岩屋南町
路線名	第二阪神国道
橋梁名	尼ケ崎高架橋
橋長及び幅員	L＝280m　W＝28.3m
径間割	7@40m
橋種	鋼鈑桁
橋脚基礎	井筒
地質分類	沖積層
地震計種類	SMAC B2型，SMAC C2型
設置ケ所	地盤1台（B2），橋脚1台（C2）
設置年月	38年3月
管理，観測	建設省，第二阪神国道工事事務所

12　駿河大橋

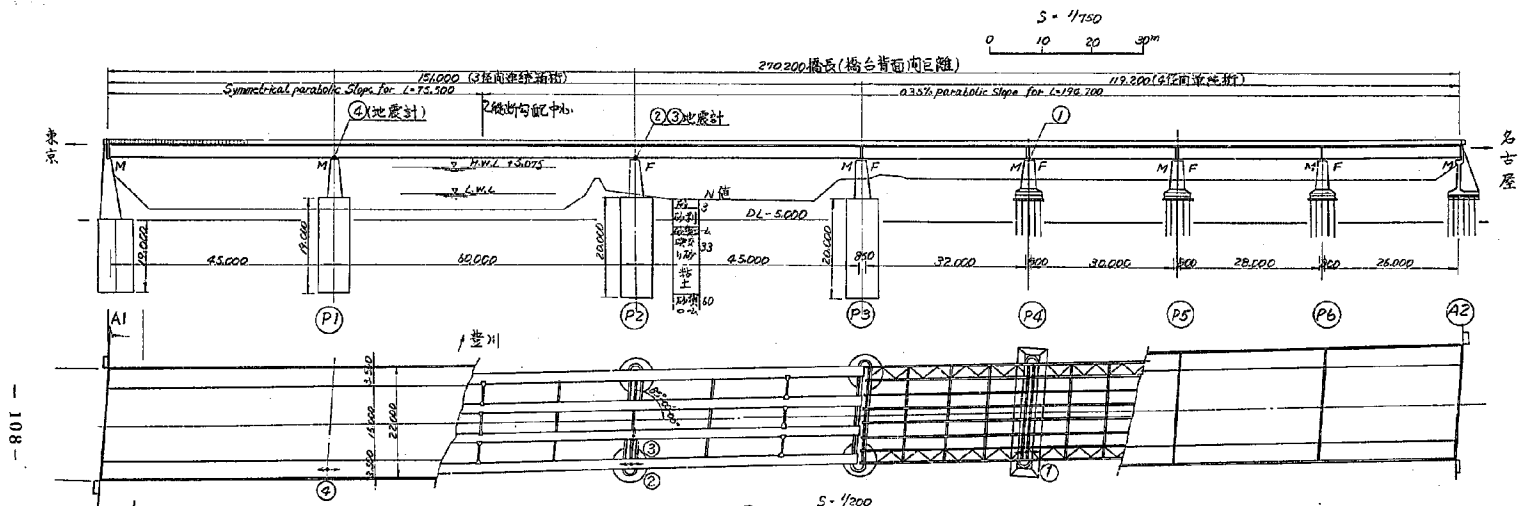




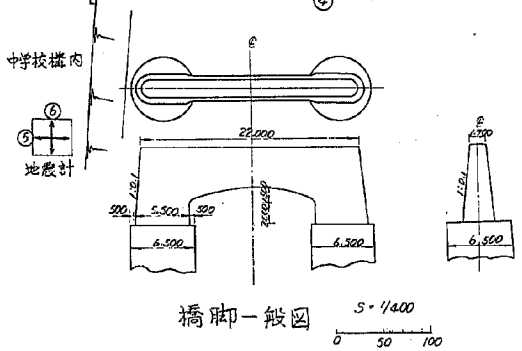
駿　河　大　橋

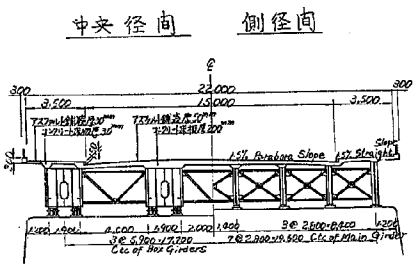
架橋地点	静岡県静岡市
路線名	国道1号線
橋梁及河川名	駿河大橋，安倍川
橋長及幅員	ℓ＝587m，W＝11.5m
径間割	36.8＋46.6×11＋36.8
橋種	連続鋼鈑桁
橋脚基礎工	ニューマチックケーソン
地質の分類	砂質土層
地震計種類	電磁式地震計
設置ケ所	地盤（2成分），橋脚（3成分），橋台（1成分）
設置年月	昭和34年
観測者	建設省中部地方建設局静岡工事事務所

13 吉田大橋



断面図 S = 1/200





吉田大橋

架橋地点	愛知県豊橋市関屋町
路線名	国道1号線
橋梁及河川名	吉田大橋，豊川
橋長及幅員	ℓ＝270.2m，W＝22m
径間割	45＋60＋45＋32＋30＋28＋26
橋種	3径間連続鋼桁，4径間単純鈑桁
橋脚基礎工	井筒，RC杭
地質の分類	砂質土層
地震計種類	電磁式地震計
設置ケ所	地盤（2成分），橋脚（4成分）
設置年月	昭和34年
観測者	建設省中部地方建設局，名古屋国道工事事務所